

5年－Unit 1

単元名 Hello, everyone.

アルファベット・自己紹介

1. 単元目標

- ・好きなもの、欲しいものなどを聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の大文字を識別し、読む(発音する)ことができる。(知識及び技能)
- ・自己紹介を聞いて分かったり、好きなものや欲しいものなどを伝え合ったりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、簡単な自己紹介をしようとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料 (下線は新出表現)

- Hello, I'm (Saki). Nice to meet you. My name is (Kosei). How do you spell your name? K-o-s-e-i. I [like / don't like] (blue). What (sport) do you like? I like (soccer) very much. I want (a new ball).
 - nice, to, meet, spell, your, new, very, much, class, everyone, badminton, chocolate, lettuce, name, animal, shoes, T-shirt, think, ant
- [既出] 挨拶・自己紹介, 活字体 (大文字, 小文字), 色, 飲食物, 果物・野菜, 動物, 数, スポーツ

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。
読むこと	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
話すこと (発表)	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆好きなものを聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>○Small Talk : 自己紹介</p> <p>○歌 Hello Song (4年 Unit 2)</p> <p>○挨拶をし合おう。</p> <p>・教室内を歩いて回り、ペアになり名前を言って挨拶をする。</p> <p>○外国語科の学習について知る。</p> <p>【Let's Listen 1】 p.4</p> <p>・登場人物の自己紹介を聞いて、登場人物とイラストを線で結ぶ。</p> <p>【Let's Play 1】 p.4</p> <p>・指導者の好きなものを予想して、What ~ do you like? と指導者に尋ね、自分の予想が当たっているかを確認する。</p> <p>○自己紹介をしよう。</p> <p>・ペアで挨拶をし、名前、好きなもの言い合う。</p> <p>○チャンツ What do you like? (3年 Unit 5) (オプション)</p>	◎好きなものを聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
2	<p>◆何が好きかを尋ねたり答えたりできる。</p> <p>○Small Talk : 名前のスペル</p> <p>○歌 ABC (abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <p>○自分の名前の文字を確かめよう。</p> <p>○ミッシング・ゲーム(文字)</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.2, 3 後半</p> <p>・映像を視聴し分かったことを発表する。</p>	

	<p>○チャンツ What do you like? (3年 Unit 5) (オプション)</p> <p>【Let's Listen 2】 p.5</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きなものについての対話を聞いて、誰が何を好きかを聞き取り、□に誰が何を好きかを記入する。 <p>【Let's Play 2】 p.4</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアになり、相手に好きなものが何かを尋ね、枠内に記入する。 	<p>◎好きなものを聞き取っている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎何が好きかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆何が好きかを尋ねたり答えたりできる。</p> <p>○Small Talk : 好きな食べ物</p> <p>【Let's Play 3】 p.5</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達に好きな色, 食べ物, TV 番組などについて尋ね, クラスで1 番人気の色, 食べ物, TV 番組などを予想する。 <p>○歌 ABC (abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> 大文字を読む。(名称) <p>○ラッキー・カード・ゲーム</p>	<p>◎何が好きかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・記述分析〉</p> <p>◎何が欲しいかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆何が欲しいかを尋ねたり答えたりできる。</p> <p>○Small Talk : 好きなスポーツ</p> <p>【Let's Listen 3】 p.6</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の好きなものや欲しいものについての会話を聞いて、聞き取ったことを枠に記入する。 <p>【Let's Watch and Think 1】 p.2, 3 前半</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像を視聴して分かったことを発表する。 <p>○歌 ABC (abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <p>○名札を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達とやり取りして、名札に必要な文字カードを集める。 <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に集めた大文字カードを参考に、自分の名前を書き、読む。 	<p>◎欲しいものを聞き取っている。〈行動観察・誌面分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎何が欲しいかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆何が欲しいかを尋ねたり答えたりできる。活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音できる。</p> <p>○何が欲しいか、持っているものについての質問に答える。</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.7</p> <ul style="list-style-type: none"> 2人の会話を聞いて、登場人物の好きなこと, 欲しいものなど, 分かったことを枠の中に書く。 <p>【Let's Play 4】 p.6</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達に欲しいものを尋ね, 誌面の表に記入する。 <p>○歌 ABC (abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を活用したアルファベットクイズに答える。 <p>○自分の名前を清書しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート4線に自分の名前をローマ字で清書し, 発音する。 <p>【STORY TIME】 p.9 ①</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本の読み聞かせを聞く。 	<p>◎何が欲しいかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・誌面分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎活字体で書かれた文字を識別し, 発音している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

6	<p>◆会話を聞いて、欲しいものや好きなものなどを聞き取ることができる。活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音できる。</p> <p>○Small Talk : 欲しいもの 【Let's Watch and Think 2】 p.7 ・前時の活動に続けて、2人の会話を聞いて、もう1人の好きなこと、欲しいもの、持っているものなど、分かったことを枠の中を書く。</p> <p>○歌 ABC (abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <p>○Sounds and Letters ・デジタル教材を活用したアルファベットクイズに答える。</p> <p>○ワークシートの持ち主を見つけよう。 ・やり取りをして、相手が持っているワークシートが誰のものかを当てる。</p> <p>【Activity】 p.8 ・自己紹介の際に伝えたいことや尋ねたいことを考える。</p> <p>【STORY TIME】 p.9 ② ・読み聞かせを聞く。</p>	<p>◎欲しいものや好きなものなどを聞き取っている。〈行動観察・誌面分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎活字体で書かれた文字を識別し、発音している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆自己紹介を聞いてその内容が分かったり、好きなものや、欲しいものなどを伝え合ったりする。</p> <p>○指導者のスピーチを聞く。</p> <p>【Activity】 p.8 ・ペアで自己紹介をし合い、好きなもの、持っているもの、欲しいものについて尋ねたり答えたりする。また、次時の自己紹介に向けて、アドバイスをし合う。</p> <p>○歌 ABC (abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <p>○身の回りの大文字探し</p> <p>○Sounds and Letters ・ANZ ゲームをする。</p> <p>【STORY TIME】 p.9 ③ ・読み聞かせを聞く。</p>	<p>◎自己紹介を聞いて、好きなものや欲しいものなどが分かっている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎好きなものや欲しいものなどを伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆他者に配慮しながら、自分の名前や好きなもの、持っているもの、欲しいものなどを含めて簡単な自己紹介をしようとする。</p> <p>【Activity】 p.8 ・みんなの前で発表する。</p> <p>○Sounds and Letters ・I spy ゲームをする。</p> <p>【STORY TIME】 p.9 ④ ・読み聞かせを聞く。</p>	<p>◎他者に配慮しながら自己紹介している。〈発表観察・振り返りカード点検〉</p>

◎文字と音については単元を通して適宜評価する。大文字(活字体)とその名称が分かる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉

5年 Unit 1—Lesson 1 単元名 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介 1/8時間

目 標 好きなものを聞いたり言ったりすることができる。

準 備 自己紹介に必要な具体物や写真など (Small Talk 用), デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
15分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。 初めての外国語科の授業にあたり, 好きなものやこと, 嫌いなものやことなどを含めて短い自己紹介をする。その際に, 一方的に話さず, 質問をしながら自己紹介を進め, 児童を自己紹介に巻き込むようにする。 	自己紹介に必要な具体物や写真など
<p>Small Talk の例</p> <p>Hello, everyone. My name is Tanaka Yumi. I live in Sakura-cho. I like badminton very much. Do you like badminton? I have a cat. Her name is Taiga. She is very cute. I like cats very much. Do you like cats?</p>			
	<p>○歌 Hello Song (4年 Unit 2)</p> <p>○挨拶をし合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教室を歩いて回り, 出会った友達とペアになり名前を言って挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童と一緒に歌う。 児童と一緒に活動をする。相手が見つけにくい児童がないように配慮する。 	デジタル教材
10分	<p>○外国語科の学習について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本活動で, テキストの登場人物と出会う。この活動に入る前に, 彼らが子供たちと同じ5年生であり, テキストでこの子供たちとともに英語の学習をすることを伝え, 彼らが出てくるページを探させたり, 彼らがテキストでどのようなことをするのか想像させたりして, 外国語の授業への意欲をもたせるようにしたい。 	児童用テキスト
<p>「We Can!」というタイトルについて</p> <p>3年生から外国語活動で外国語を使ってコミュニケーションを体験してきた児童が, 高学年において外国語科を年間70単位時間, 2年間経験することで, 「英語を使って, 自分の気持ちや考えを表現できるようになる」ことから, 本教材のタイトルを We Can!としている。また, この We には, 児童だけでなく, 小学校教員もこの教材を活用し外国語科の指導に自信を持ってもらいたいという思いを込めている。</p>			
	<p>【Let's Listen 1】 p.4</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の自己紹介を聞いて, 誌面にある登場人物とイラストを線で結ぶ。 誌面の登場人物の名前の文字を指導者と一緒に発音したり, 指導者の質問に答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童はすでに2年間, 計70時間の外国語活動を経験しており, 簡単な自己紹介を聞き取ることに難しさを感じることはないと思われるが, 児童の実態に合わせて途中で音声を止めて, 自己紹介の内容を確認したりするとよい。 音声では, 自己紹介で名前のスペルを紹介している。4人の登場人物の自己紹介を聞き取った後, 誌面で4人の名前を見ながら, 児童と文字の読み方を確認しながら読んだり, 文字について以下のような質問をしたりするとよい。 <p>Look at your name cards. Do you have 'K'?</p> <p>How many 'K's do you have?</p>	デジタル教材

<p>1 Hi, I'm Takada Kosei. K-O-S-E-I. Kosei. Nice to meet you. I like hamburger steaks. They are yummy. Do you like hamburger steaks? I don't like lettuce. I like basketball!</p> <p>2 Hello, I'm Yamamoto Saki. S-A-K-I. Saki. Nice to meet you. I like chocolate and bananas. They are good! I don't like carrots. Do you like carrots?</p> <p>3 Hello, I'm Yoshida Satoshi. S-A-T-O-S-H-I. I'm Satoshi. Nice to meet you. I like blue. I like <i>shogi</i>. It's fun. I don't like green peppers.</p> <p>4 Hi, my name is Kimura Aoi. A-O-I. I'm Aoi. Nice to meet you. I like cats. Do you like badminton? I like badminton very much. I don't like onions.</p>			
5分	<p>【Let's Play 1】 p.4</p> <p>・ What [colors / foods / sports / TV programs] do you like? と指導者に尋ね、誰の予想が当たっているかを確認める。</p>	<p>・最初に指導者の好きなものをカテゴリーごとに予想し書き込むように指示する。</p> <p>・それぞれのカテゴリーについて、全員で一斉に指導者に質問するように促す。</p> <p>・答えを言い、予想が当たったかどうかを確認する。</p>	児童用テキスト
10分	<p>○自己紹介をしよう。</p> <p>・隣、前後、斜めなどでペアで挨拶をし、名前、好きなものを言い合う。</p>	<p>・前活動を受けて、児童に4つのカテゴリーについて好きなものを尋ね、この活動につなげる。</p> <p>◎好きなものを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用テキスト
3分	<p>○チャンツ What do you like? (3年 Unit 5)</p>	<p>・チャンツを通して、慣れ親しんだ表現を思い出せるようにする。</p>	デジタル教材
2分	<p>・本時の振り返りをする。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 1—Lesson 2 単元名 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介 2/8時間

目 標 何が好きかを尋ねたり答えたりできる。

準 備 教師用カード (大文字), デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 名前のスペル</p> <p>Small Talk の例 Hello, everyone. This is my name. (黒板にローマ字で名前を書きながら) T-A-N-A-K-A Y-U-M-I. My name is Tanaka Yumi. T-A-N-A-K-A, Tanaka is my family name. Y-U-M-I, Yumi is my first name. Look, this is Hana. H-A-N-A, Hana <i>san</i>. Look, this is Aoi. A-O-I, Aoi <i>san</i>. How do you spell your name?</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 自身の名前をローマ字で黒板に書き, 文字を読む。その際に, 児童も一緒に読むように促す。代表児童数名の名前も同様に一緒に読み, 歌につなげる。 	
	○歌 ABC (abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)	<ul style="list-style-type: none"> 児童と一緒に歌う。 	デジタル教材
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の名前の文字を確かめよう。 再度聞き, 自身の名札を見ながらスペルを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時に行った Let's Listen 1 (p.4) の誌面を見ながら登場人物の名前とその文字を確認する。その際, デジタル教材を活用してもよい。 代表児童数名の名前の文字を提示し, みんなで一緒に読み, 次の活動につなげる。 	児童用テキスト デジタル教材
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ミッシング・ゲーム (文字) なくなったカードの文字を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動に入る前に, 文字カードを見せながら, Do you have ~? とやり取りをしながら, カードを黒板に掲示するとよい。 黒板に教師用カード (大文字) 5~8種類を掲示し, 児童とその読み方を確認する。取り上げる文字は, 1回目は, 児童の名前に多い文字, 2回目は, 児童の名前に少ない文字とするなど工夫をする。 児童に目を閉じさせ, その間に1, 2枚カードを隠す。児童になくなったカードの文字が何かを尋ねる。実態に応じて隠すカードを増やす。 	教師用カード (大文字)
10分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.2, 3 後半(指導書スクリプト⑥~⑫)</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像を視聴し分かったことを発表する。 身の回りで外国語が使われている場面を想起する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童と映像資料を視聴しながら聞き取れたことや繰り返し出てきた表現などについて確認する。 児童が教科として外国語を学ぶ意味を考え, 今後の学習への見通しをもてるようにする。 児童の実態に応じて, 何度か止めて内容を確認するとよい。 	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>⑥ 客 : How much? 店員 : It's 760 yen. 客 : Here you are. 店員 : Thank you very much. Here's your change. Have a nice day.</p>		

	<p>(前頁の続き)</p> <p>⑦ 児童 1 : Hi, Ken. 児童 2 : Hello, Juan. Hi, Maria. 児童 3 : Good morning. Let's go to the ground and play dodgeball. 児童 1・2 : OK. Let's go.</p> <p>⑧ 駅 員 : Please go to platform number 3. Take the yellow train. Midori Station is the third stop from here. 観光客 : Thanks.</p> <p>⑨ 先 生 : Good morning, class. 生 徒 : Good morning. 先 生 : How are you today? Let's start our English class. First, let's chant.</p> <p>⑩ 観光ガイド : Please look at the tower in front of us. It's Tokyo Skytree. It was built in 2012 and it's 634 meters high. 観光客 : Uh-huh. (写真を撮っている)</p> <p>⑪ 司会 : Good morning, ladies and gentlemen. Please take a look at your handout. Any questions?</p> <p>⑫ タクシーの運転手 : Where would you like to go? Asakusa? All right. It takes about 15 minutes from here.</p>		
3分	○チャンツ What do you like? (3年 Unit 5)	・児童と一緒に言う。	デジタル教材
5分	<p>【Let's Listen 2】 p.5</p> <p>・音声聞いて、登場人物の名前とイラストを結び付け、□に誰が何を好きかを記入する。</p>	<p>・本活動では、前時 Let's Listen 1 で出会った子供以外の登場人物が出てくる。そこで、前時と同様に、新しい登場人物であること、誌面の3人の名前を見て、何という名前か考えさせたり、他のどのページに出てくるかなどを確認したりして、3人の自己紹介を聞いてみたいという意欲をもたせるようにするとよい。</p> <p>・まず、1度全体を聞いて聞き取れたことを全員で確認する。最初は名前と人物を結び付け、次に好きなものをまずは1つでよいので聞き取れるように、などと指示を与え、段階を踏むことで無理のない聞き取り活動にする。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>1 クリスティーナ : Hello, my name is Christina Garcia. I'm Christina. 先生 : Hi, Christina. How do you spell your name? クリスティーナ : C-H-R-I-S-T-I-N-A. Christina. 先生 : Thank you, Christina. What do you like? クリスティーナ : I like sports. I like volleyball very much. I like yellow. I like flowers.</p> <p>2 ジョン : Hi, my name is John. John Wilson. Nice to meet you. 先生 : John, how do you spell your name? ジョン : J-O-H-N. John. 先生 : Thank you, John. What do you like? ジョン : I like <i>kendama</i> very much. I like pizza and <i>sushi</i>. Japanese food is good! I like green.</p> <p>3 けんた : Hi, I'm Kenta. Nice to meet you. 先生 : Kenta, how do you spell your name? けんた : K-E-N-T-A. Kenta. 先生 : Thank you, Kenta. What do you like? けんた : I like dogs. I like baseball very much. I like brown.</p>		
		◎好きなものを聞き取っている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	

5分	<p>【Let's Play 2】 p.4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つのカテゴリーに自分の答えを書き込む。 ・ペアになり，相手に好きなものが何かを尋ね，枠内に記入する。 ・隣の児童とペア，あるいはクラス全体で交互に質問をし，相手の答えを書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言いよんでいる児童がいれば，そばに行き一緒に尋ねたり答えたりして支援する。 ◎何が好きかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>S1: Hello! What color do you like? S2: I like blue. What color do you like? S1: I like blue, too.</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト
2分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

Unit 1—Lesson 3 単元名 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介 3/8時間
目 標 何が好きかを尋ねたり答えたりできる。
準 備 好きな食べ物やその写真など (Small Talk 用), 教師用カード (大文字), 児童用カード (大文字), デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
23分	・挨拶をする。 ○Small Talk : 好きな食べ物	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・好きな食べ物について話す。 ・一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにし、次の活動につなげる。	好きな食べ物やその写真など
<p>Small Talk の例</p> <p>Hello. What food do you like? I like curry and rice very much. (写真を見せながら) Do you like curry and rice? (手をあげてみせ、挙手させる) I cook curry. I am good at cooking it. My chicken curry is very special. What do you have in your curry? I have onions, carrots, potatoes and chicken. (黒板に食材の絵を描いたり、写真を見せたりしながら) I have tomatoes and apples, too. It's delicious. Do you like chicken curry?</p>			
	<p>【Let's Play 3】 p.5</p> <p>・友達に好きな色, 食べ物, TV 番組などについて尋ねる。 ・その結果からクラスで1番人気の色や食べ物, TV 番組などを予想する。</p>	<p>・まず, 指導者が数名の代表児童に色や食べ物, TV 番組などについての好みを尋ね, 児童に尋ね方や答え方を想起させる。代表児童に指導者と一緒に尋ねよう促してもよい。 ◎何が好きかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・記述分析〉</p>	児童用テキスト
2分	○歌 ABC (abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)	・黒板に教師用カード (大文字) を掲示しながら, 児童と一緒に歌う。	デジタル教材 教師用カード (大文字)
5分	○Let's Read and Write ・大文字を読む。(名称)	<p>・前活動で使った教師用カードを順不同に並べ替え, 児童と一緒に文字を発音する。 ・その際に, Do you have ~ in your name? How many ~s do you have? のように, 児童に児童自身の名前の文字と関連した質問をすることで, 後の自己紹介で自身の名前のスペルを言うことにつながるようにする。</p>	教師用カード (大文字)
10分	○ラッキー・カード・ゲーム ・グループでゲームをする。	・1グループと例を示して, 進め方を理解させる。	教師用カード (大文字) 児童用カード (大文字)
<p>ラッキー・カード・ゲームの進め方</p> <p>・4~6人1グループで円になり, 各自が児童用カード (アルファベット大文字) を自分の前に並べる。 ・順番を決め, 1番目の児童が右隣 (2番目) の児童に What do you want? と尋ねる。 ・右隣 (2番目) の児童は, 1番目の児童の前にある文字カードの中から, I want ~, please. と言って欲しい文字カード1枚をもらい, 自分の前の文字カードとともに並べる。 ・2番目の児童は, 自分の右隣 (3番目) の児童に What do you want? と尋ね, 同様のことを繰り返す。指導者の合図があるまで繰り返す。 ・時間になったら, 指導者は Please stop. と言ってゲームを止め, あらかじめ決めていたラッキー文字を発表する。その時点でラッキー文字のカードを持っている児童が勝ちとなる。</p>			
		◎何が欲しいかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	・本時の振り返りをする。 ・挨拶をする。	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 1—Lesson 4 単元名 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介 4/8 時間

目 標 何が欲しいかを尋ねたり答えたりできる。

準 備 好きなスポーツに関する写真や実物など (Small Talk 用), 児童用カード (大文字), ワークシート (Unit 1-1), デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<p>・挨拶をする。</p> <p>○Small Talk : 好きなスポーツ</p> <p>・指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。</p>	<p>・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・指導者が欲しいものについて話す。</p> <p>・一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。</p>	好きなスポーツに関する写真や実物など
	<p>Small Talk の例</p> <p>Hello. What sport do you like? I like tennis very much. I like Nishikori Kei. (写真を見せながら) I like baseball, too. (野球が好きだと思われる児童を指名し) Do you like baseball? Who likes soccer? (手を挙げてみせ, 児童にも挙手させる) I watch tennis tournaments on TV. I watch baseball games on TV, too. Hanshin Tigers is my favorite team. I sometimes play baseball (野球をするジェスチャーを見せながら) on weekends.</p>		
	<p>【Let's Listen 3】 p.6</p> <p>・登場人物の好きなものや欲しいものについての会話を聞いて, 聞き取ったことを記入する。</p>	◎欲しいものを聞き取っている。<行動観察・誌面分析・振り返りカード点検>	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>① 先生 : Kenta, what do you want? けんた : I want a new ball. 先生 : A new ball? けんた : Yes. I like baseball. 先生 : Oh, I see. That's nice. けんた : I want a brown cap, too. 先生 : I see.</p>	<p>② 先生 : Aoi, what do you want? あおい : Ummm, I want a new racket. 先生 : A racket? Do you want a tennis racket? あおい : No, no. I want a new badminton racket. 先生 : I see. あおい : I like badminton. I like cats, too. 先生 : Oh, do you like cats? あおい : Yes. I want a white cat.</p>	
	<p>③ 先生 : Kosei, what do you want? こうせい : I want shoes and a T-shirt! 先生 : Oh, really? こうせい : Yes. I like basketball. I want new basketball shoes. I like blue. I want a blue T-shirt. 先生 : OK, thank you.</p>		
8分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.2, 3 前半 (指導書スクリプト①~⑤)</p> <p>・映像を視聴して分かったことを発表する。</p>	<p>・1人ずつの映像を見せ, どのような語が聞こえたか, それは誰かなど児童に発表させる。再度見せて内容を確認する。1通り見せた後, もう1度全体を通して視聴させる。</p> <p>・本活動のねらいは, 映像資料で扱っている英語をすべて理解させることではない。今は, すべて分からなくても, これから2年間の外国語科で学習を重ねることで, これらの英語がすべて理解できるようになるというゴールを見せ, 学習意欲をもたせることである。よって, 聞き取れた語を発表させるに留める。</p>	デジタル教材 児童用テキスト

	<p>① Dr. Yamanaka Shinya is a professor at Kyoto University. He received the Nobel Prize in 2012. He studies about iPS cells.</p> <p>② Kawasumi Nahomi is a pro-soccer player. She won the World Cup and she also got a silver medal in the Olympic Games as a member of Nadeshiko Japan. Now she is playing for Seattle Reign FC in America.</p> <p>③ Tani Mami is a triathlete now. She is a paralympian. She lost her right leg when she was nineteen. Then she went to the Paralympic Games in Athens, Beijing and London. She was a long jumper.</p> <p>④ Ishikawa Kasumi is a table tennis player. She won a bronze medal in the Rio de Janeiro Olympics. Her father, mother and younger sister play table tennis, too.</p> <p>⑤ Nagatomo Yuto is a pro-soccer player. He is from Ehime. He played for FC Tokyo from 2007 to 2011. Now he plays in a foreign country. He is very popular in and outside Japan.</p>		
15分	<p>○歌 ABC (abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <p>○名札を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各児童は事前に、児童用カード(大文字)を切り離しておく。(裏面に記名する。) 友達とやり取りして、名札に必要な文字カードを集める。 誰も持っていない場合は、指導者とやり取りをして文字カードをもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童と一緒に歌う。 学級をAとBの2グループに分ける。Aグループは大文字カードを持つ。Bグループは、Aグループのところに自由に行き、児童同士で、What do you want? I want "A" card, please.とやり取りをして、自分の名札を作るのに必要な文字カードを集める。 必要な文字カードが集まったかを確認する。 AとBで役割を交替させる。 <p>◎何が欲しいかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	<p>デジタル教材</p> <p>児童用カード(大文字)</p>
10分	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に集めた大文字カードやローマ字表を参考に自分の名前をワークシートに書いて読む。 ペアになり、How do you spell your name?と尋ね、自分の名前の文字を読む。 書き終わったら、大文字カードを持ち主に返す。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを配布し、前時に集めた大文字カードや児童用テキスト p.81 のローマ字表を参照しながら、丁寧に自分の名前を4線に書くように指示する。 日本語では知っている友達の名前を英語で書くようになるのか、という興味を高めながら活動を始める。 最初は指導者が“How do you spell your name?”という問いかけを適宜行い、数名の児童とのやり取りを見せた後に、児童にペアになり自分の名前を見せながら友達にそのスペルも伝えるよう指示する。 	<p>ワークシート (Unit 1-1)</p> <p>児童用テキスト</p> <p>児童用カード(大文字)</p>
2分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p>

5年 Unit 1—Lesson 5 単元名 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介 5/8時間

目 標 何が欲しいかを尋ねたり答えたりできる。活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音できる。

準 備 ワークシート（4線）、教師用カード（大文字）、デジタル教材、児童用テキスト、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○何が欲しいか、持っているものについての質問に答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者からの質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 次の活動につなげるために、まず指導者が誕生日に欲しいもの、どんなものを持っているかを紹介し、What do you want for your birthday? Do you have ~? 等と児童に尋ね、次の活動につなげる。 	
	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.7</p> <ul style="list-style-type: none"> 2人の会話を聞いて、1人の好きなこと、欲しいものなど、分かったことを枠の中に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、会話形式で好きなこと、持っているもの、欲しいものを尋ねたり答えたりする映像を視聴させる。 児童の様子を見ながら、聞き取りにくそうな場合には繰り返し聞かせるなどする。 ここでは動詞の like, have, want が混在するが、その意味の違いの理解を早急に求めない。まず具体的なものの情報を聞き取り、場面からの気付きを促す。答え合わせの際には、答えの確認だけでなく、音声に続けて指導者と一緒に言わせるようにする。 次時にも再び視聴するので、ここでは2人のやり取りの中で一方だけ聞き取れればよいと指示をする。 	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>① さとし：I like blue. What color do you like, John? ジョン：I like green. I want a new green <i>kendama</i>. Satoshi, do you have a <i>kendama</i>? さとし：Yes, I do. I have a blue <i>kendama</i>. ジョン：That's nice.</p>	<p>② さき：Hi, Laksh. I like soccer. Do you like soccer? ラクシュ：Yes, I do. I like soccer very much. I want a new soccer ball. さき：A new soccer ball? ラクシュ：Yes. Do you have a soccer ball, Saki? さき：No, I don't. I want a soccer ball, too.</p>	
	<p>③ こうせい：Hi, Christina. クリスティーナ：Hi, Kosei. Wow, your blue bag is nice. Do you like blue? こうせい：Yes, I do. How about you? クリスティーナ：I like yellow very much. I want a yellow bag. I want a new volleyball, too. こうせい：Do you like volleyball? クリスティーナ：Yes, I do. How about you? こうせい：No, not really. I like basketball. I want a basketball.</p>		
15分	<p>【Let's Play 4】 p.6</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達に欲しいものを尋ね、誌面の表に記入する。 自分が今1番欲しいものを考え、答える。 	<ul style="list-style-type: none"> どういった状況なら自分の欲しいものを伝え合う気持ちになるか、児童の実態に合った場面を想像させるとよい。（誕生日、今実際に必要としている身の回りの物など） インタビューする人数を競うのではなく、相手の思いを受け止めることが大切であることを伝える。 インタビューで分かったことを全員で共有する。 <p>◎何が欲しいかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・誌面分析・振り返りカード分析〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト

5分	<p>○歌 ABC (abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <p>○Sounds and Letters</p> <p>・デジタル教材を活用した大文字クイズに答える。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・デジタル教材で、隠された大文字を当てる活動を行い、文字の読み方(名称)もいくつか仲間があることに気付かせる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「ツール」→「Hi, friends! Plus」→「クイズ2～6」</p>	<p>デジタル教材</p> <p>教師用カード(大文字)</p> <p>デジタル教材</p>
10分	<p>○自分の名前を清書しよう。</p> <p>・前時の経験を生かして、ワークシート(4線)に自分の名前をローマ字で清書して発音する。</p>	<p>・各自ワークシートに名前をローマ字で清書させる。</p> <p>◎活字体で書かれた文字を識別し、発音している。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート(4線)
3分	<p>【STORY TIME】 p.9 ①</p> <p>・絵本の読み聞かせを聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Hi, my name is Kazu. I like cats and dogs. I like soccer and baseball.</p> </div>	<p>・絵本を読み聞かせる際には、一方的に絵本の台詞を読むのではなく、児童と各ページにあるさまざまなイラストや話の展開についてやり取りしながら読むようにする。そうすることで、話の筋についての理解を助けるとともに、児童を絵本の世界に引き込むことができる。</p> <p>・高学年で扱っている絵本のページに記されている台詞は、やがて児童が読み聞かせを聞きながら絵本の台詞を指で追って聞いたり、自分で読むことに挑戦したりすることを想定し、短く単純なものにしている。よって、指導者が台詞以外の言葉を加えながらやり取りを行い、児童の想像を膨らませることが大切である。</p> <p>・指導者は、ジェスチャーを付け、表情豊かに読む。こういったことも児童にとっては、話の筋を理解する上で大切な情報源となる。デジタル教材を使って読み聞かせをしてもよい。</p>	<p>児童用テキスト</p> <p>デジタル教材</p>
2分	<p>・本時の振り返りをする。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 1—Lesson 6 単元名 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介 6/8 時間
目 標 会話を聞いて、欲しいものや好きなものなどを聞き取ることができる。活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音できる。
準 備 欲しいものの写真や実物など (Small Talk 用), 児童用カード (大文字), ワークシート (前時に記名したもの), デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 欲しいもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 欲しいものについて話す。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	欲しいものの写真や実物など
<p>Small Talk の例</p> <p>Hello. My birthday is April 20th. (黒板に 4/20 と書きながら) I want a new bicycle for my next birthday.</p> <p>I have a bicycle now, and it's old. I want a new sport type bicycle.</p> <p>Here! (自転車のカタログを見せながら) I like blue, so I want a blue bicycle.</p>			
5分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.7</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の活動に続けて、2人の会話を聞いて、もう1人の好きなこと、欲しいもの、持っているものなど、分かったことを枠の中に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時に聞き取れたことを、指導者に続いて言うように促す。John likes? <p>※ここで likes と言っているが、児童に3人称単数現在の理解を求めているわけではないことに留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 答え合わせの際には、答えの確認だけでなく、音声に続けて指導者と一緒に言わせるようにする。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>① さとし : I like blue. What color do you like, John? ジョン : I like green. I want a new green <i>kendama</i>. Satoshi, do you have a <i>kendama</i>? さとし : Yes, I do. I have a blue <i>kendama</i>. ジョン : That's nice.</p>		<p>② さき : Hi, Laksh. I like soccer. Do you like soccer? ラクシュ : Yes, I do. I like soccer very much. I want a new soccer ball. さき : A new soccer ball? ラクシュ : Yes. Do you have a soccer ball, Saki? さき : No, I don't. I want a soccer ball, too.</p>	
<p>③ こうせい : Hi, Christina. クリスティーナ : Hi, Kosei. Wow, your blue bag is nice. Do you like blue? こうせい : Yes, I do. How about you? クリスティーナ : I like yellow very much. I want a yellow bag. I want a new volleyball, too. こうせい : Do you like volleyball? クリスティーナ : Yes, I do. How about you? こうせい : No, not really. I like basketball. I want a basketball.</p>		◎欲しいものや好きなものなどを聞き取っている。<行動観察・誌面分析・振り返りカード点検>	
12分	<p>○歌 ABC (abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童用カード (大文字) を見ながら、同じ色の文字の時だけ、手をたたいて歌わない。 そのあと、同じ色のカードの文字だけをデジタル教材で確認しな 	<ul style="list-style-type: none"> 児童と一緒に文字をさしながら歌う。文字の色に注意して歌うように言う。 児童用カード (大文字) の青色 (BCDEGPTVZ) が、同じ音 (/i:/) を含むことに気付かせることがね 	デジタル教材 児童用テキスト 児童用カード (大文字)

	<p>がら言ってみる。(大文字カード 青色: BCDEGPTVZ) ○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を活用してアルファベットクイズに答える。 	<p>らいである。</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を使ってアルファベットクイズを出す。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">デジタル教材: 「教材どうぐばこ」 → 「ツール」 → 「Hi, friends! Plus」 → 「クイズ2～6」</p>	デジタル教材
10分	<p>○ワークシートの持ち主を見つけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と次のようなやり取りをして、自分のワークシートを見つける。 配られたワークシートに書かれている名前を1文字ずつ読んで確認する。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">S1: How do you spell your name? S2: F-U-J-I-T-A H-A-N-A. S1: This is for you. Here you are. / Sorry. S2: Thank you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 無作為にワークシートを配布する。 やり取りをしてワークシートの持ち主を見つけるように言う。 <p>◎活字体で書かれた文字を識別し、発音している。 〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (前時に記名したもの)
8分	<p>【Activity】 p.8</p> <ul style="list-style-type: none"> Let's Watch and Think 2 で聞き取ったことを参考に、自分の名前のスペルや好きなもの、欲しいものなどについて、自己紹介の際に伝えたいこと、尋ねたいことを考える。 自分の名前のアルファベットや好きなもの、欲しいものなどについてのメモをもとに、指導者の質問に答えたりペアとやり取りをしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の伝えたいことについて考えをまとめさせる。 さらに情報を追加したい場合は、次時までには考えてくるように伝える。 誌面に書いたメモを頼りに児童が答えられるような質問をする。 <p>What's your name? How do you spell it? What ___ do you like? What do you want?</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで、誌面をもとにやり取りをさせる。 	児童用テキスト デジタル教材 児童用カード (大文字)
2分	<p>【STORY TIME】 p.9 ②</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせを聞く。 文字を指で追って聞く。 一緒に台詞を言う。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">Hi, my name is Kazu. I like cats and dogs. I like soccer and baseball.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導者自身が読むか、デジタル教材を使って絵本の読み聞かせをする。 2回目は、誌面の文字を指で追うよう指示する。 3回目は、一緒に絵本の台詞を言うよう促す。 	児童用テキスト デジタル教材
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 1—Lesson 7 単元名 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介 7/8時間

目 標 自己紹介を聞いてその内容が分かったり、好きなものや、欲しいものなどを伝え合ったりする。

準 備 自己紹介に必要な実物や写真など (Small Talk 用), デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード (大文字), 児童用カード (大文字), 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○指導者のスピーチを聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の自己紹介を、自分の発表のイメージと重ねながらしっかり聞く。 <p>指導者の自己紹介の例 Hello! My name is Tanaka Yumi. I like tennis. I like curry and rice. It's yummy. I like dogs. I have a dog, Koro. I want a new blue tennis racket. Thank you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 今までの Small Talk をまとめた内容で行う。 児童が発表のイメージをもてるように、自分の情報を自己紹介という形で伝える。 <p>◎自己紹介を聞いて、好きなものや欲しいものなどが分かっている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	自己紹介に必要な実物や写真など
15分	<p>【Activity】 p.8</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで自己紹介をし合い、好きなもの、持っているもの、欲しいものについて尋ねたり答えたりする。 次の自己紹介に向けて、ペアでアドバイスし合う。 <p>Hello. My name is _____. _____ (名前のスペル)</p> <p>I like _____.</p> <p>I want _____. Thank you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 他者意識をもって自分のことを伝える場合、どんな点に注意すればよいかを全員で考えさせる。 指導者がいくつか異なった形での自己紹介の例を示し、良かった点や改善すべき点を児童に考えさせてもよい。 その後、ペアで自己紹介をし、アドバイスをし合うよう伝える。 <p>◎好きなものや欲しいものなどを伝えている。〈行動観察・振り返りカード〉</p>	
5分	<p>○歌 ABC (abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字の順を逆にしたり、順不同にしてアルファベットソングを歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 黒板に並べたカードを見ながら歌を歌う。 慣れてきたら、いくつかのカードを裏返して行う。また、順番を逆にしたり順不同に並べたりして行う。 	デジタル教材 教師用カード (大文字)
5分	<p>○身の回りの大文字探し</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとに、身の回りにある英語の略語を考える。 各グループで集めた略語を紹介し合い、全員で読み上げる。 <p>(例) DVD TV BS AM など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各グループで、児童がアルファベットの名称を言いながらカードを並べているかを確認しながら、適宜補助する。 各グループで集めた身の回りの略語を黒板に書いて全員で共有する。 	児童用カード (大文字)
5分	<p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ANZ ゲームをする。 <p>ANZ ゲームの進め方 (カードゲーム「7並べ」の要領で)</p> <ul style="list-style-type: none"> 3～4人のグループで、1セットの児童用アルファベットカードを使う。 机の上にA, N, Zのカードの間隔を空けて並べ、それ以外のカードは均等に配る。 手持ちの中から、順に1枚ずつアルファベットの名称を言いながらカードを出し、机上のカードの隣に並べる。 手持ちのカードで出せるもの(隣接するアルファベット)がなければパスをする。 早くカードがなくなった者が勝ちとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 代表児童2人とゲームの進め方の例を示す。 	児童用カード (大文字)
2分	<p>【STORY TIME】 p.9 ③</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせを聞く。 <p>Hi, my name is Kazu. I like cats and dogs. I like soccer and baseball.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導者自身が読むか、デジタル教材を使って絵本の読み聞かせをする。 	児童用テキスト デジタル教材
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 1—Lesson 8 単元名 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介 8/8 時間
目 標 他者に配慮しながら、自分の名前や好きなもの、持っているもの、欲しいものなどを含めて簡単な自己紹介をしようとする。
準 備 自己紹介に必要な実物や写真など（児童各自で準備）、デジタル教材、児童用テキスト、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
27分	【Activity】 p.8 ・全員の前で自己紹介をする。(名前、好きな色、食べ物など、持っているものやアルファベットの文字など) ・聞いている人は、良かった点や感想を発表できるように、しっかり聞く。	・評価の視点や、目指すべき姿を共有し、聞く姿勢も大切だということを指導する。 ・中間評価をして、良い自己紹介の具体的なポイントについて児童と共通理解し、後半の自己紹介を行う。 ・クラスの実態に合わせて、グループ内での自己紹介に1人ずつ立って順番にしてもよい。 ◎他者に配慮しながら、自己紹介している。<発表観察・振り返りカード点検>	自己紹介に必要な実物や写真など（児童各自で準備）
8分	○Sounds and Letters ・ポインティング・ゲームをする。		デジタル教材 児童用テキスト
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ポインティング・ゲームの進め方 ・児童はペアで1冊の児童用テキストを、p.80を開いた状態で置く。 ・指導者（またはデジタル音声）はアルファベットの文字の名称を言い、児童はその大文字を指さす（2人で協力して行う）。 ・最初は1文字ずつから始め、次第に1度に2文字（“B,D”）、3文字（“R,M,S”）と増やしていく。 ・次に、同じように児童のペア同士で、役割を交替しながら行う。 ・児童の様子を机間指導しながら、必要に応じて一緒に文字を探すなどの個別支援をする。 </div>		
2分	【STORY TIME】 p.9 ④ ・読み聞かせを聞く。 ・指導者と一緒に読む。	・指導者自身が読むか、デジタル教材を使って絵本の読み聞かせをする。	児童用テキスト デジタル教材
5分	・本時の活動及び本単元を振り返る。 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

5年－Unit 2

単元名 When is your birthday?

行事・誕生日

1. 単元目標

- ・誕生日について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の大文字を書くことができる。(知識及び技能)
- ・祭りや行事に関するまとまりのある話を聞いて分かったり、誕生日や欲しいもの、好きなものなどを伝え合ったりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、好みや欲しいもの、誕生日について伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- When is your birthday? My birthday is (August 19th). What (sport) do you like? Do you like (soccer)? Yes, I do. / No, I don't. I [like / don't like] (soccer). Do you want (new soccer shoes)?, What do you want for your birthday? I want (a dog). This is for you. Thank you. You're welcome. Happy birthday.
 - when, birthday, year, 月 (January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December), 季節 (spring, summer, autumn/fall, winter), 序数 (1st～31st), 日本の行事 (New Year's Day / Eve, Children's Day, Dolls' Festival), donut
- [既出] 活字体 (大文字, 小文字), スポーツ, 身の回りの物など

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

4. 単元計画 (7時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆月の言い方が分かる。</p> <p>○Small Talk : 誕生日と誕生日プレゼント 【Let's Watch and Think 1】 p.10, 11 ・デジタル教材を視聴し、どんな季節で、何月かを聞き取って発表する。 【Let's Play 1】ポインティング・ゲーム(月・季節) p.10, 11 【Let's Chant 1】 Twelve Months (オプション) p. 13 【Let's Listen 1】 p.12 ・誌面にある行事は何月かを予想し、音声教材を聞いて、答えを確かめる。</p> <p>○ミッシング・ゲーム ○Let's Read and Write ・バースデーカードの To の後に自分の名前を書く。 ○Sounds and Letters (A, H, I, M) ・大文字を書く。</p>	◎月の言い方が分かっている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉
2	<p>◆月名を聞いたり言ったりできるとともに、日付の言い方を知る。</p> <p>○Small Talk : 好きな季節や月 【Let's Chant 1】 Twelve Months (オプション) p.13 【Let's Listen 2】 p.13 ・英語での日付の尋ね方や答え方を聞く。</p>	◎月名を聞いて、線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉

	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の行事名と、それが開催される月日、またそれがどのような行事かの説明を聞く。 <p>【Let's Chant 2】 When is your birthday? p.13</p> <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の誕生月の単語を児童用カードから、日をワークシート序数一覧表から選び、バースデーカードに貼る。 <p>○Sounds and Letters (Y, V, X, W, T)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字を書く。 	<p>◎月名を言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆誕生日や好きなものなどを聞き取る。</p> <p>【Let's Chant 2】 When is your birthday? p.13</p> <p>【Let's Listen 3】 p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、登場人物のイラストと誕生日を線で結ぶ。 <p>【Let's Watch and Think 3】 p.14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物がどんなものが好きと言っているのかを聞き取り、線で結ぶ。一緒に言う。 <p>【Activity 1】 p.14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで好きな色やスポーツなどを尋ねたり答えたりし、記入する。 <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアのバースデーカード To の後に、贈る相手の名前をへボン式で書く。 <p>○Sounds and Letters (F, N, L, K, E)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字を書く。 	<p>◎誕生日を聞き取り、線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎好きなものを聞き取り、線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆誕生日や、欲しいもの、好きなものを尋ねたり答えたりできる。</p> <p>【Let's Chant 2】 When is your birthday? p.13</p> <p>○Buzz Game</p> <p>○Small Talk：誕生日プレゼント</p> <p>【Let's Watch and Think 3】 p.14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人の会話から、それぞれの好きなものを聞く。 <p>○メモリー・ゲーム</p> <p>【Activity 1】 p.14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューをする。ペアで誕生日に欲しいものを尋ねたり答えたりして記入する。 <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バースデーカードの所定の位置に大文字の H と B を書く。 <p>○Sounds and Letters (Z, G, D, B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字を書く。 	<p>◎誕生日や、欲しいもの、好きなものを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・作品分析・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆誕生日や、好きなもの、欲しいものを伝え合う。活字体の大文字を書くことができる。</p> <p>【Let's Chant 2】 When is your birthday? p.13</p> <p>【Let's Watch and Think 4】 p.15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴して、分かったことを書く。 <p>○メモリー・ゲーム</p> <p>【Activity 2】 p.16</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼントしたいものの絵を描いてバースデーカードを完成させる。 <p>○カードを作ろう。</p> <p>【Let's Watch and Think 5】 p.15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴して、分かったことを書く。 	<p>◎誕生日や、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・作品分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎誕生日や欲しいもの、好きなものなどを聞いて分かっている。〈行動観察・記述</p>

	<p>・指導者の質問に対して、誕生日や欲しいものなどを答えたりする。</p> <p>○有名人になりきって、誕生日を尋ねたり答えたりしよう。</p> <p>○Sounds and Letters (O, J, C, P)</p> <p>・アルファベットの大きい文字を書く。</p>	<p>分析・振り返りカード点検</p> <p>◎活字体の大きい文字の書き方が分かり、書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード分析〉</p>
6	<p>◆誕生日や、好きなもの、欲しいものを伝え合う。活字体の大きい文字を書くことができる。</p> <p>○Small Talk : 好きな季節・行事</p> <p>【Let's Chant 2】 p.13 When is your birthday?</p> <p>【Let's Watch and Think 6】 p.16</p> <p>・カードについてのやり取りを聞いて、どのようなことが書かれているのかを推測し、記入する。</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>・カードに書いた Happy Birthday! などの慣れ親しんだ表現を推測しながら読む。</p> <p>【Activity 2】 p.16</p> <p>・ペアでバースデーカードをもとに好きなものや欲しいものについて会話をします。</p> <p>【STORY TIME】① p.17</p> <p>・絵本の読み聞かせを聞く。</p> <p>○Sounds and Letters (S, Q, U, R)</p> <p>・大きい文字を書く。</p>	<p>◎誕生日や、欲しいもの、好きなものなどを尋ねたり答えたりして、伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎活字体の大きい文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード分析〉</p>
7	<p>◆他者に配慮しながら、好みや欲しいもの、誕生日を尋ねたり答えたりして伝え合おうとする。</p> <p>【Let's Chant 2】 When is your birthday? p.13</p> <p>【Activity 2】 p.16</p> <p>・バースデーカードの相手を探し、他者に配慮しながらカードに書かれていることについてやり取りする。</p> <p>【STORY TIME】② p.17</p> <p>・絵本の読み聞かせを聞く。</p>	<p>◎他者に配慮しながら誕生日や欲しいものなどを尋ねたり答えたりし、伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

Unit 2—Lesson 1	単元名	When is your birthday?	行事・誕生日	1/7 時間
目標	月の言い方が分かる。			
準備	バースデーカード (Small Talk 用), 教師用カード (月, 日, 季節), 児童用テキスト, 児童用カード(月, 季節), ワークシート(バースデーカード台紙, Unit 2-5), デジタル教材, 振り返りカード			

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
7分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。指導者の調子を聞く。 <p>○Small Talk : 誕生日と誕生日プレゼント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を聞いて、本単元の見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・指導者の誕生日を紹介し、同じ誕生月生まれの児童に挙手を促したり、1月生まれから順に誕生月を聞いたりする活動を通して、自然なやり取りの中で児童が月の言い方や誕生日の尋ね方に出会えるようにする。 ・あらかじめ指導者自身宛てのバースデーカードを作成しておく。それを、校内の先生や友達からもらったと紹介する。そのカードには、自身の欲しいものや好きなもののイラストが描かれており、それらをさし示しながら、欲しいものや好きなものを紹介する。 	教師用カード (月) バースデーカード (あらかじめ作成しておく)
	<p>Small Talk の例</p> <p>T : My birthday. My birthday is January 2nd. It's during <i>oshogatsu</i>. (1月のカードを黒板に掲示し、カード横に2と書く) When is your birthday? January? February? March? When is your birthday, S1? (月のカードを見せながら)</p> <p>S1: 5月19日。</p> <p>T : I see. May 19th. (5月のカードを黒板に掲示し、カード横に19と書きながら) Your birthday is May 19th. Good. How about you, S2? (月のカードを見せながら)</p> <p>S2: 12月22日。</p> <p>T : December 22nd. (12月のカードを見せながら) Your birthday is December 22nd. (12月のカードを黒板に掲示し、カード横に22と書きながら) It's during the Christmas season. Nice. What do you want for your birthday? As a birthday present. Me? I want a new watch. How about you, S2?</p> <p>S2: I want a computer.</p> <p>T : I see. You want a computer. Nice. Look. Look at this. (バースデーカードを見せながら) This is my birthday card. My friend gave it to me. Look, this is a nice watch. (カードに描かれた時計をさしながら) I want a new watch. This is a cat. (カードに描かれた猫をさしながら) I like cats very much. I'm happy. My birthday card is nice. My friend is so nice!</p>		
		<ul style="list-style-type: none"> ・本単元で、友達にインタビューをしてこのようなバースデーカードを作り、届けることを告げ、単元の見通しをもたせるようにする。 	
10分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.10, 11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で、世界の様々な行事や祭りの様子を視聴し、世界には様々な行事や祭りがあること、月や季節の言い方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴する前に、ここでの英語がすべて分からなくてもよいこと、どんな単語が聞き取れるかにチャレンジすること、複数回視聴しておおよその内容が分かればよいことを伝える。 ・視聴して聞き取れた語を尋ねる。ここでは、聞 	デジタル教材 教師用カード (月)

		き取れた語を頼りに何をしているか、どんな行事や祭りかについておおよそ分かる程度に留める。児童の様子を見ながら、視聴を繰り返す。 ・児童の答えに応じて、月ごとに視聴した後、季節や月名の言い方を英語でもう1度言い、季節や月の言い方を何度も聞かせるようにする。	
	<p>① We celebrate New Year on January 1st in Japan. Many people go to Shinto shrines or temples to make a new year wish. We also eat special food and rice cakes. Children play card games like <i>karuta</i> or <i>hyakunin-issu</i>.</p> <p>② People in Rio de Janeiro in Brazil have a big carnival in February. They parade along the main street dancing in colorful costumes.</p> <p>③ In March in Washington, America, people enjoy cherry blossoms along the Potomac River. The cherry trees were a present from the mayor of Tokyo in Japan over 100 years ago.</p> <p>④ In Thailand the “Songkran Festival” is from April 13th to 15th. It’s a water festival. People splash water on each other on the streets. Many tourists come to the festival and have fun with Thai people.</p> <p>⑤ Do you like cats? People in Belgium have a special cat festival once every three years in May. People wear cat costumes and make-up.</p> <p>⑥ In Peru the “Inti Raymi Festival” is on June 24th. It’s a big festival in South America. People from all over the world come to Cusco and enjoy the festival.</p> <p>⑦ In France they have a very exciting bicycle race in July. It’s the Tour de France. The race started in 1903. The race lasts for 23 days.</p> <p>⑧ The “Nebuta Festival” is a big summer festival in Aomori in Japan. Many people come and see the parade with big lanterns.</p> <p>⑨ The “Aloha Festival” in Hawaii is in September. People sing traditional songs and perform traditional dances.</p> <p>⑩ Halloween is a popular festival in many countries. It’s in October. Children dress in interesting costumes. They go to their neighbors and get candies and cookies, saying “trick-or-treat.”</p> <p>⑪ Thanksgiving is an American holiday. It’s in November. People enjoy time with their family and friends. They eat turkey for dinner.</p> <p>⑫ Christmas is December 25th. In Australia it’s hot and it’s summer. During Christmas many people go to the beach. You can see Santa Claus at the beach.</p>		
5分	<p>【Let’s Play】 p.10, 11 ポインティング・ゲーム(月, 季節)</p> <p>・指導者の言う月(と季節)を聞いて、ペアでその写真(テキスト誌面)や絵カードを指さして繰り返して言う。</p>	<p>・実際に進め方を示す。児童用テキストを活用したり、児童用カードを使用したり、季節の絵カードを追加したりしてもよい。月(と季節)を順不同に言い、児童にその写真や絵カードを指さし、繰り返して言わせる。</p> <p>・本活動のねらいは、月(と季節)の言い方を何度も聞いたり繰り返し言ったりすることであり、テンポよく進めるようにする。</p>	<p>教師用カード(月, 季節)</p> <p>児童用テキスト</p> <p>児童用カード(月, 季節)</p>
4分	<p>【Let’s Chant】 Twelve Months (オブシジョン) p.13</p> <p>・音声に合わせてチャンツを言う。</p>	<p>・児童の様子に応じて、スピードを選ぶ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December.</p> </div>	デジタル教材

7分	<p>【Let's Listen 1】 p.12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面にある行事は何月かを予想し、音声教材を聞いて線で結ぶ。答えを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面にある6種類の写真が何かを児童と確認をした上で、それらがどんな季節で、何月に行われるかを、<i>Kashiwamochi in spring? In summer? In March? In April?</i> と何度も尋ねながら季節や月名を繰り返し聞かせる。 ・あらかじめ予想をしてから聞かせることにより、その答えの確認のために音声を聞くという目的をもたせるようにする。 ・児童の実態に応じて、1つずつ聞かせて答えを確認しながら進めたり、全部聞かせてからまとめて答えを確認したりする。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>No. 1 <i>Kashiwamochi</i>, special rice cakes. We eat <i>kashiwamochi</i> in May. No. 2 <i>Otsukimi</i>, moon viewing parties. We have <i>otsukimi</i> in September. No. 3 <i>Momijigari</i>, autumn leaves viewing. We have <i>momijigari</i> in November. No. 4 <i>Hanami</i>, cherry blossom parties. We have <i>hanami</i> in March and April. No. 5 <i>Yukigassen</i>, snowball fights. We have snowball fights in February. No. 6 <i>Umibiraki</i>, a sea opening ceremony. We have a sea opening ceremony in July.</p>		◎月の言い方が分かっている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
3分	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの相手に贈るバースデーカードの内側にある From の後に、自分の名前をへボン式で書く。(Unit 1 で書いた名前を参照する) 	<ul style="list-style-type: none"> ・バースデーカード台紙を配布し、内側に自分(贈り主)の名前を書くように指示する。 ・Unit 1 で児童が書いた名前を本時まで確認しておく。間違いやすいへボン式ローマ字については、全員で確認してから書かせる。 ・贈るカードであることを踏まえ、丁寧に自分の名前を書くよう告げる。 	ワークシート(バースデーカード台紙)
6分	<p>○Sounds and Letters (A, H, I, M)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A, H, I, M の書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・正しく書けているか、ペアで確認する。 <p>デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「アルファベットの名前・音」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A, H, I, M 文字カードを見せながら、それらの文字が自分の名前にあるか尋ねたり、文字の一部を見せてそれが何という文字か尋ねたりし、4つの文字に興味をもたせた上で、デジタル教材で文字の書き方を確認する。 ・1文字書き終わったら、ペアで4線上の正しい位置に書けているかを確認させる。 	ワークシート (Unit 2-5) デジタル教材
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 2—Lesson 2 単元名 When is your birthday? 行事・誕生日 2/7 時間

目 標 月名を聞いたり言ったりすることができるとともに、日付の言い方を知る。

準 備 教師用カード (月), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 2-1, 2-2, 2-6), バースデーカード (前時に使用したもの), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価く方法	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 OSmall Talk : 誕生日とプレゼント 指導者の話に耳を傾け、反応を示したり質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 誕生日や誕生日プレゼントについて話をする。一方的に話すのではなく、児童に質問をしたり、児童とやり取りしたりしながら進め、誕生日の言い方や尋ね方を何度も聞かせるようにする。 	教師用カード (月)
<p>Small Talk の例</p> <p>T : My birthday is ...? January? February? March? (複数の月のカードを見せながら、前回の Small Talk での話を思い出して誕生月を言うように促す) That's right. My birthday is January 2nd. During <i>Oshogatsu</i> season. When is your birthday, S1? January? February? March? (月のカードをさし示して月名を言いながら児童を指名して)</p> <p>S1: June..., 15 日。</p> <p>T : June 15th. Your birthday is June 15th. (6月のカードを黒板に貼り、カード横に 15 と書いて、自分で言うよう促しながら)</p> <p>S1: My birthday is June 15th.</p> <p>T : Good. How about S2? When is your birthday? (月のカードをさし示し、月名を言いながら児童を指名して)</p> <p>S2: July 10.</p> <p>T : Good. Your birthday is July 10th. (7月のカードを黒板に掲示し、カード横に 10 と書いて、自分で言うよう促しながら)</p> <p>S2: My birthday is July 10th.</p> <p>T : Good. How about S3? When is your birthday? (他の児童も一緒に尋ねるよう促しながら)</p> <p>Ss: When is your birthday?</p> <p>S3: My birthday is October 23.</p> <p>T : Good. Your birthday is October 23rd. (10月のカードを黒板に掲示し、カード横に 23 と書いて、自分で言うよう促しながら)</p> <p>S3: My birthday is October 23rd.</p> <p>T : Good. S3, what do you want for your birthday?</p> <p>S3: I want a bicycle.</p> <p>T : Wow, you want a bicycle. That's good. OK, let's chant.</p>			
2分	<p>[Let's Chant] Twelve Months (オプシオン) p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声に合わせて言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の様子に応じてスピードを選び、一緒に言う。児童の様子に応じて、複数回繰り返す。 <p>January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December.</p>	デジタル教材
5分	<p>[Let's Listen 2] p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> 4つの行事、祭りの日付を聞いて、誌面に記入する。 音声を聞いて、日付の言い方が数字とは異なることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 誌面イラストから、4つの行事、祭りが何かを考えさせる。例えば、New Year's Day など、児童が日付を知っている行事から音声を聞かせ、日付の言い方が数字とは異なることに気付かせるようにする。 答え合わせの際には、単に答えを確かめるのではなく、音声が続いて言わせるようにし、児童が言い慣れるようにする。 1日、3日が first, third であることから、2日はどう表現するかを考えさせる。また、5日は語尾が /θ / になることに気付かせ、次の活動につなげる。 	デジタル教材 児童用テキスト

	<p>① When is New Year's Day? It's January 1st. ② When is Dolls' Festival? It's March 3rd. ③ When is Children's Day? It's May 5th. ④ When is New Year's Eve? It's December 31st.</p>	◎月名を聞いて、線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
6分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.12 ・誌面の3種類の写真を見て、それぞれが何月でどこの国の行事、祭りだったかを思い出して発表する。</p>	<p>・ここでは、前時に視聴している映像のうち、April (タイ), June (ペルー), December (オーストラリア) を取り上げている。 ・視聴前に前時を振り返り、3種類の写真がそれぞれ何月で、どこの国の行事、祭りをか尋ねる。答えを確認するために視聴するという目的をもたせるようにする。 ・ただし、ここは何月だったかを正確に覚えていることを求めているのではなく、この3種類の写真をもとに、When is this festival? In January? February? などと月名を何度も繰り返し聞かせること、児童から自然と月名が発話されるようにすることがねらいである。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>(1) In Thailand the "Songkran Festival" is from April 13th to 15th. It's a water festival. People splash water on each other on the streets. Many tourists come to the festival and have fun with Thai people. (2) Christmas is December 25th. In Australia, it's hot and it's summer. During Christmas, many people go to the beach. You can see Santa Claus at the beach. (3) In Peru the "Inti Raymi Festival" is on June 24th. It's a big festival in South America. People from all over the world come to Cusco and enjoy the festival.</p>			
		◎月名を言っている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
10分	<p>【Let's Chant】 When is your birthday? p.13 ・デジタル教材で、1～12日の日付の言い方を意識して聞く。 ・慣れてきたら、チャンツに合わせて日付を言ってみる。</p>	<p>・デジタル教材で、1度リズムと音を聞かせる。日付の言い方を知ることがねらいである。 ・「ゆっくりバージョン」から始めるとよい。慣れてきたら、児童の実態に合わせてスピードを選ぶとよい。</p>	デジタル教材
<p>When is your birthday? When is your birthday? January first, February second, March third, April fourth, May fifth, June sixth. Tell me, tell me. When is your birthday? My birthday is _____. (Happy Birthday!) When is your birthday? When is your birthday? July seventh, August eighth, September ninth, October tenth, November eleventh, December twelfth. Tell me, tell me. When's your birthday. My birthday is _____. (Happy Birthday!)</p>			
	<p>・誌面で、1st～31stを見ながら日付の言い方を考える。 ・自分の誕生日を言ってみる。</p>	<p>・チャンツで1～12日の日付を、数回聞いたり言ったりしたところで、13日以降はどう言うかを推測させながら、誌面 p.13 Let's Listen 3の周りにある1st～31stに注目させる。 ・児童に自分の誕生日の言い方を確認させ、分からない児童については、学級全体でその日の言い方を確認する。</p>	

10分	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで誕生日を尋ねたり答えたりする。座席の横、前後、斜めなどでペアを作って行う。 ・自分が贈るバースデーカードの所定の位置に、贈る相手（隣のペア）の誕生月をワークシート Unit 2-1（月一覧表）から、日付をワークシート Unit 2-2（序数一覧表）から選び、切り取って貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンツからの流れで、指導者は数名の児童に誕生日を尋ね、その続きで、ペアで誕生日を尋ねたり答えたりさせる。 ・ここでは、自分の誕生日の月と日付を言えるようにすることがねらいである。誕生日を尋ねたり答えたりする表現は次時に言えればよいが、本活動でも少しずつ慣れ親しんでおく。 ・ワークシートの月一覧表や序数一覧表から相手の誕生月と日付を選んだ時点で、切り取る前に再度相手に誕生日を尋ねたり見せたりして確認させる。 	<p>ワークシート (Unit 2-1, 2-2) バースデーカード (前時で使用したもの)</p>
5分	<p>○Sounds and Letters (Y, V, X, W, T)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Y, V, X, W, Tの書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・指導者（あるいはデジタル教材）が言うアルファベットの文字の名称を聞いて、その大文字をワークシートの4線上に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1時と同様に、教師用カード（大文字）を見せながら、それらの文字に興味をもたせた上で、デジタル教材で文字の書き方を確認する。 ・1文字書き終えたら、ペアで4線上の正しい位置に書けているかを確認させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→ 「素材種類別」→「アルファベットの 名前・音」 </div>	<p>ワークシート (Unit 2-6) デジタル教材</p>
2分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p>

5年 Unit 2—Lesson 3 単元名 When is your birthday? 行事・誕生日 3/7 時間

目 標 誕生日や好きなものなどを聞き取る。

準 備 教師用カード (月, 季節), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 1-1, 2-7), バースデーカード (前時に使用したもの), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 When is your birthday? p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声に合わせてチャンツを言う。 指導者に尋ねられて、自分の誕生日を答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 児童の実態により、スピードを選ぶ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>When is your birthday? When is your birthday? January first, February second, March third, April fourth, May fifth, June sixth. Tell me, tell me. When is your birthday? My birthday is _____. (Happy Birthday!)</p> <p>When is your birthday? When is your birthday? July seventh, August eighth, September ninth, October tenth, November eleventh, December twelfth. Tell me, tell me. When's your birthday. My birthday is _____. (Happy Birthday!)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを言い終わった後、数名の児童に誕生日を尋ね、その児童の誕生日を繰り返して言うことで、全児童に誕生日の尋ね方や、月日の言い方を何度も聞かせるようにする。 <p>When is your birthday? I see, your birthday is June 24th.</p>	デジタル教材
10分	<p>【Let's Listen 3】 p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて、登場人物のイラストと誕生日を線で結ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 誕生日を聞き取らせることが目的ではあるが、区切らず会話を1通り聞かせ、誰が誰と話しているかなど、会話の流れや雰囲気をつかめるようにする。 その後児童の様子に応じて区切って聞かせるなど、聞かせ方を工夫する。 答え合わせの際には音声に続いて全員で言うことで、言い方に慣れるように進める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>先生 : Hana, when is your birthday? はな : My birthday is November 22nd. 先生 : How about you, Gilberto? ギルベルト : My birthday? It's April 14th. 先生 : Oh, your birthday is in spring. Aoi, when is your birthday? あおい : My birthday is October 15th. 先生 : I see. Thank you.</p> </div> <p>◎誕生日を聞き取り、線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 前活動で尋ねなかった児童数名に誕生日を尋ね、月日の言い方を何度も聞かせるようにする。その際、他の児童も一緒に尋ねるよう促し、次の活動につながるようにする。 また、Let's Listen 3 にならって、児童の答えに応じて、Your birthday is in ...? Summer? Autumn? と季節を児童に言うように促し、児童に季節の言い方を聞かせたり言わせたりする。 	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (月, 季節)

10分	<p>【Let's Watch and Think 3】 p.14</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴し、登場人物が何を好きと言っているのかを聞き取り、線で結ぶ。 答え合わせをして一緒に言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 映像資料を視聴し、好きなものを尋ねたり答えたりの表現を想起させることがねらいである。 答え合わせの際には、単に登場人物の会話の答えだけでなく、Do you like black? Yes? No? のように児童に質問したり答えを聞いたりして繰り返し、次時の Activity 1 につなげるようにする。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>はると：Hi, Hana. I like your T-shirt. It's a nice color. はな：Thank you. I like orange. I like dogs very much. How about you, Haruto? What color do you like? はると：I like purple. I like soccer very much. I play soccer every day. Oh, I'm hungry. はな：Me, too. What's for lunch? はると：It's <i>subuta</i>, sweet and sour pork. I like carrots and green peppers. はな：Really? I don't like carrots. I like green peppers and onions.</p>			
		◎好きなものを聞き取り、線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
8分	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> バースデーカードの To の後にカードを贈る相手の名前をへボン式で書く。 	<ul style="list-style-type: none"> バースデーカードの所定の位置に、贈る相手の名前を書くよう指示する。その際には、ワークシート Unit 1-1 に記載された名前を参考に書かせる。 見ないで書けそうな場合は、1度見ないで書いてから、正しく書けたかを確認をするように促す。 	バースデーカード (前時に使用したもの) ワークシート (Unit 1-1)
8分	<p>○Sounds and Letters (F, N, L, K, E)</p> <ul style="list-style-type: none"> F, N, L, K, E の書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 文字の名称を聞いてその文字を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 書く前に、児童と一緒に文字の名称の言い方や4線上の文字の位置について確認する。 聞こえた文字を書くよう促す。デジタル教材で音声を流す際には、目を閉じさせたり、文字がTV画面に映らないようにしたりして、聞くことに集中できるように配慮する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「アルファベットの名前・音」 </div> <ul style="list-style-type: none"> 正答を書けたことを褒めるのではなく、聞き取ろうとする姿勢を褒めるようにする。 	ワークシー (Unit 2-7) デジタル教材
4分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

Unit 2—Lesson 4 単元名 When is your birthday? 行事・誕生日 4/7 時間
目 標 誕生日や, 欲しいもの, 好きなものを尋ねたり答えたりできる。
準 備 児童用テキスト, ワークシート (Unit 2-2, 2-8), バースデーカード (前時に使用したもの), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価<方法>	準備物
3分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 [Let's Chant] When is your birthday? p.13 音声に合わせてチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 児童の実態により, スピードを選ぶ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>When is your birthday? When is your birthday? January first, February second, March third, April fourth, May fifth, June sixth. Tell me, tell me. When is your birthday? My birthday is _____. (Happy Birthday!)</p> <p>When is your birthday? When is your birthday? July seventh, August eighth, September ninth, October tenth, November eleventh, December twelfth. Tell me, tell me. When's your birthday. My birthday is _____. (Happy Birthday!)</p> </div>	デジタル教材
8分	<ul style="list-style-type: none"> ○Buzz Game 1st~31st 制限時間内で, Start Number から始め Buzz Number まで, 数を変えながら何度かグループで繰り返す。 	<ul style="list-style-type: none"> 進め方の例を示す。ゲームの前に音声が続いて児童と言い方を確認し, 何度か一緒に言ってから始めるようにする。 制限時間内で行う。 児童の実態により, 児童用テキスト p.13 の序数またはワークシート Unit 2-2 (序数一覧表) を参照しながらゲームをすると分かりやすくなる。 	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 2-2)
<p>Buzz Game の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> 1人が言えるのは1 (あるいは, 2, 3) の連続した数。 Start Number と Buzz Number を決め, グループのメンバーで順に数を言っていき, Buzz Number を言ったら終了し, 新しい Start Number でまた始める。(Buzz Number を言った人からスタート) <p>例: ①1st ~ 21st ②11th ~ 31st ③1st ~ 31st</p>			
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk : 誕生日プレゼント 指導者の話に耳を傾け, 反応を示したり質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 誕生日に欲しいものについて, 質問をしたり, 児童とやり取りしたりしながら進めるようにする。 	デジタル教材
<p>Small Talk の例</p> <p>T : My birthday is January 2nd. I want a new watch for my birthday. S1, what do you want for your birthday? S1: I want a soccer ball. T : I see. You want a soccer ball. Do you like soccer? S : Yes, I do. T : You like (I likeで続けて言うよう促す) S1: I like soccer. T : You like soccer. Good. Everyone, what do you want for your birthday? S2: I want shoes. S3: I want a game soft. S4: I want a dog.</p> <p style="text-align: right;">(続きは次ページ)</p>			

	<p>(前ページからの続き)</p> <p>T : You want shoes, a video game software and a dog. S2, what color shoes do you want? S2: I want blue shoes. T : Oh, you like blue. S3, what video game software do you want? S3: I want T : I see. S4, do you like dogs? S4: Yes, I do. I like dogs. T : I like dogs, too. I like cats, too. Good. Who has your birthday in December? S5: (手を挙げる) T : S5, do you like winter? S5: No, I don't. T : Why not? S5: Cold T : I see. You don't like winter because it's cold. OK, let's chant "When is your birthday?".</p>		
10分	<p>【Let's Watch and Think 3】 p.14</p> <p>・テキストを見ずに、前回視聴したデジタル教材を再度視聴する。</p>	<p>・デジタル教材を再度視聴し、好きなものを尋ねたり答えたりする表現を想起させることがねらいである。</p> <p>・視聴後、数名の児童に、What ~ do you like?で尋ね、次の活動につなげる。</p>	<p>デジタル教材 児童用テキスト</p>
<p>はると : Hi, Hana. I like your T-shirt. It's a nice color. はな : Thank you. I like orange. I like dogs very much. How about you, Haruto? What color do you like? はると : I like purple. I like soccer very much. I play soccer every day. Oh, I'm hungry. はな : Me, too. What's for lunch? はると : It's <i>subuta</i>, sweet and sour pork. I like carrots and green peppers. はな : Really? I don't like carrots. I like green peppers and onions.</p>			
<p>○メモリー・ゲーム</p> <p>・グループでじゃんけんをして、勝った者から右回りで行う。グループになる際には、カードを贈り合う児童同士は同じグループにならないようにする。</p> <p>・進め方の例を示す。</p> <p>・中学年で慣れ親しんだ、好きなものを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりして思い出させ、Activity 1につなげる。</p> <p>・児童用テキスト p.14 Activity 1を開き、参照しながら活動してもよい。</p> <p>全員 : What color do you like? A : I like blue. 全員 : What color do you like? B : A, you like blue. I like white. 全員 : What color do you like? C : A, you like blue. B, you like white. I like orange. 全員 : What color do you like? D : A, you like blue. B, you like white. C, you like orange. I like yellow. 同様に、グループ全員が行う。color が終われば、animal, foodなどで同様に行う。</p>			
6分	<p>【Activity 1】 p.14</p> <p>・バースデーカードを贈り合うペアで好きな色やスポーツなど、好きなものを尋ねたり答えたりする。</p> <p>・インタビュー内容に沿って、相手の好きな色でバースデーカードを飾ったり、好きなものの絵を描いたりする。</p>	<p>・相手に喜んでもらえるバースデーカードを作成するために、しっかり聞き取りたいという目的意識と相手意識を大切に指導する。</p> <p>・先程のデジタル教材でのインタビューの様子を思い出しながら、友達と互いにインタビューさせるとよい。</p> <p>・インタビューが終了した児童には、次の活動までにバースデーカード作りを促す。放課後等にカ</p>	<p>バースデーカード (前時に使用したもの) 児童用テキスト</p>

		ード作りをするよう告げる。 ◎誕生日や, 欲しいもの, 好きなものを尋ねたり 答えたりしている。〈行動観察・作品分析・振り返り カード点検〉	
5分	○Let's Read and Write ・バースデーカードに文字を書き写す。カードの所定の場所に Happy Birthday! の H と B を書き写す。 (□appy □irthday!)	・黒板に実際に書いて見せ, 友達がカードをもらった時に嬉しくなるよう丁寧に H と B を書くように促す。 ・ワークシートの表の下に記載してある手本をよく見て書かせる。	バースデーカード (前時に使用したもの) ワークシート (Unit 2-2)
5分	○Sounds and Letters (Z, G, D, B) ・Z, G, D, B の書き方を知り, 形や4線上の書く位置に注意を払いながら, ワークシートの4線上に文字を書く。 ・文字の名称を聞いてその文字を書く。	・書く前に, 児童と一緒にアルファベットの読み方や4線上の位置について確認してから始める。 ・聞こえた文字を書くよう促す。デジタル教材で音声を流す際には, 目を閉じさせたり, 文字がTV画面に映らないようにしたりして, 聞くことに集中できるよう配慮する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「アルファベットの名前・音」</div>	ワークシート (Unit 2-8) デジタル教材
3分	・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

5年 Unit 2—Lesson 5 単元名 When is your birthday? 行事・誕生日 5/7時間

目 標 誕生日や、好きなもの、欲しいものを伝え合う。活字体の大文字を書くことができる。

準 備 児童用テキスト、児童用カード、ワークシート (Unit 2-3, 2-4, 2-9), バースデーカード (前時に使用したもの), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 【Let's Chant 2】 When is your birthday? p.13 音声に合わせてチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 児童の実態により、スピードを選ぶ。 	デジタル教材
<p>When is your birthday? When is your birthday? January first, February second, March third, April fourth, May fifth, June sixth. Tell me, tell me. When is your birthday? My birthday is _____. (Happy Birthday!) When is your birthday? When is your birthday? July seventh, August eighth, September ninth, October tenth, November eleventh, December twelfth. Tell me, tell me. When's your birthday. My birthday is _____. (Happy Birthday!)</p>			
5分	<ul style="list-style-type: none"> 【Let's Watch and Think 4】 p.15 デジタル教材を視聴して、分かったことを書く。 登場人物の誰が何を欲しいか、好きだと言っているのかを聞き取って、人物と物とを線で結ぶ。 答え合わせをして一緒に言う。 これにより Activity でのインタビューの仕方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴する際は、耳だけで聞き取ろうとせず、表情やジェスチャーなどの音声以外の非言語情報が内容理解の助けになることを確認する。 答え合わせの際には、音声に続いて児童と一緒に言うことで、Activity での発話につなげる。 視聴を通して、どのようなものが欲しいかを尋ねる言い方を思い出させることがねらいである。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>はな : Gilberto. I like your T-shirt. ギルベルト : Thank you. It's new. はな : Do you like soccer? Do you want new soccer shoes? ギルベルト : Yes! Yes! I want new soccer shoes. I want a new soccer ball, too. For my birthday! Hana, what do you want for your birthday? Do you want a new soccer ball? はな : No, I don't. I like dancing. And I like orange things. ギルベルト : What do you want for your birthday? はな : I want an orange bag. And I want one more thing! ギルベルト : One more thing? はな : Yes! I want a dog for my birthday.</p>			
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○メモリー・ゲーム グループでじゃんけんをして、勝った者から右回りで行う。グループになる際には、カードを贈り合う児童同士は同じグループにならないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時に行った活動を、What do you want for your birthday? の表現を使って行う。 進め方の例を示す。 中学年で慣れ親しんだ、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりして、思い出させ、次の Activity 2につなげる。 児童用テキスト p.14 Activity 1を開き、参照しながら活動してもよい。 	児童用テキスト

8分	【Activity 2】 p.16 ・ペアになり、誕生日や誕生日に欲しいものを尋ねたり答えたりする。バースデーカードを贈る相手の欲しいものをカードに記入したり、絵を描いてカードを作る。	・進め方の例を示す。 ・インタビューが済んだ児童から、カードを贈る相手（隣席児童）のインタビュー結果をもとにバースデーカード作りをするよう告げる。 ◎誕生日や、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・作品分析・振り返りカード点検〉	バースデーカード (前時に使用したものの)
4分	○カードを作ろう。 ・バースデーカードの裏に貼った誕生日の絵カードと日付の下にある4線に、そのカードに書かれている月名と日付を書き写す。	・カードの仕上げをするように伝える。作成してきたバースデーカードの裏面に貼った誕生日のカードに記載されている月名と日付を、その下にある4線に書き写すように言う。 ・友達に贈るバースデーカードであることを意識して、丁寧に書き写すように促す。	バースデーカード (前時に使用したものの)
7分	【Let's Watch and Think 5】 p.15 ・登場人物の誕生日や好きなもの、欲しいものについて聞き取り、誌面に分かったことを書く。	・誕生日を尋ねたり答えたりする表現に留まらず、これまでの既習表現を使った会話を聞き、自分たちが知っている表現だけでも十分に会話が広がることを児童が認識できるようにする。 ・会話の際の反応の示し方や、どのように会話を続けられよいかなど、単に内容を聞き取るだけでなく、児童がやり取りをする際、相手意識をもつための参考にできるようにする。	
けんた : Hello, Laksh. When is your birthday? ラクシュ: Hi, Kenta. My birthday is June 28th. けんた : Oh, it's this month. What do you want for your birthday? ラクシュ: I want an umbrella. けんた : Really? An umbrella for your birthday? What color? ラクシュ: I like yellow. I want a yellow umbrella for my birthday. けんた : Oh, I see. What sport do you like, Laksh? ラクシュ: I like swimming. けんた : How about food? What food do you like? ラクシュ: I like donuts very much. I want a donut party for my birthday. けんた : A donut party? Great!			
	・指導者の質問に対して、誕生日や欲しいものなどを答えたりする。	・視聴後に、視聴した内容を参考に、児童に誕生日や誕生日に欲しいものを尋ねる。When is your birthday? What do you want for your birthday? Oh, you want ~. It's nice. ◎誕生日や欲しいもの、好きなものなどを聞いて分かっている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
5分	○有名人になりきって、誕生日を尋ねたり答えたりしよう。	・進め方の例を示す。 ・有名人の一覧表から1人選び、その人物（キャラクター）になりきって、誕生日を尋ねたり答えたりする。誕生日を尋ねたり答えたりする表現を何度も聞いたり言ったりすること、一言加えることがねらいである。	ワークシート (Unit 2-3, 2-4 : 有名人の BIRTHDAY 一覧表)

	<p>例 (A, B のそれぞれが一覧表から人物 (キャラクター) を選び, その人物になりきる。)</p> <p>(A: 福沢諭吉 12月12日 B: ドラえもん 9月3日)</p> <p>A: Hello. When is your birthday?</p> <p>B: My birthday is September 3rd.</p> <p>A: September 3rd. I like autumn. (It's a) nice season. Are you Doraemon? (一覧表から探して)</p> <p>B: Yes, I am. I'm Doraemon. I like autumn, too. When is your birthday?</p> <p>A: My birthday is December 12th.</p> <p>B: (It's a) very cold season. Are you Fukuzawa Yukichi?</p> <p>A: Yes, I am. I'm Fukuzawa Yukichi.</p>		
5分	<p>○Sounds and Letters (O, J, C, P)</p> <p>・ O, J, C, P の書き方を知り, 形や4線上の書く位置に注意を払いながら, ワークシートの4線上に文字を書く。</p> <p>・ アルファベットの名前を聞いてその文字を書く。</p> <p>デジタル教材: 「教材どうぐばこ」 → 「素材種類別」 → 「アルファベットの名前・音」</p>	<p>・ 書く前に児童と共にアルファベットの読み方や4線上の位置について確認してから始める。</p> <p>・ 聞こえた文字を書くよう促す。デジタル教材で音声流す際には, 目を閉じさせたり, 文字がTV画面に映らないようにしたりして, 聞くことに集中できるよう配慮する。</p> <p>◎活字体の大文字の書き方が分かり, 書いている。 〈行動観察・記述分析・振り返りカード分析〉</p>	<p>ワークシート (Unit 2-9)</p> <p>デジタル教材</p>
3分	<p>・ 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・ 挨拶をする。</p>	<p>・ 本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・ 挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

5年 Unit 2—Lesson 6 単元名 When is your birthday? 行事・誕生日 6/7時間

目 標 誕生日や, 好きなもの, 欲しいものを伝え合う。活字体の大文字を書くことができる。

準 備 教師用カード (月, 季節), 児童用テキスト, バースデーカード (前時に使用したもの), ワークシート (Unit 2-10), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ○Small Talk : 好きな季節・行事 ・指導者の話に耳を傾け, 反応を示したり質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 ・好きな季節や行事について話をする。その際には, 児童に質問をして巻き込みながら話すようにする。 ・好きな行事について話す。(学校の夏祭り等) 一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	教師用カード (月, 季節)
<p>Small Talk の例</p> <p>T : What is your favorite seasonal event? <i>Hanami</i> in spring? Fireworks (花火の音を言う) in summer? <i>Momijigari</i> in autumn? <i>Oshogatsu</i> in winter? What is your favorite seasonal event?</p> <p>S : My favorite seasonal event is <i>Mochitsuki Taikai</i>.</p> <p>T : Oh, <i>Mochitsuki Taikai</i> in January? It's fun! Do you like rice cakes?</p> <p>S : Yes, I do.</p> <p>T : Good. Everyone, how do you like to eat rice cakes? <i>Kinako mochi</i>? <i>Satoujyouyu mochi</i>? <i>Anko mochi</i>? Butter <i>mochi</i>? I like butter <i>mochi</i> very much. It's delicious.</p>			
2分	<p>【Let's Chant】When is your birthday? p.13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声に合わせてチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態により, スピードを選ぶ。 	デジタル教材
<p>When is your birthday? When is your birthday? January first, February second, March third, April fourth, May fifth, June sixth. Tell me, tell me. When is your birthday? My birthday is _____. (Happy Birthday!)</p> <p>When is your birthday? When is your birthday? July seventh, August eighth, September ninth, October tenth, November eleventh, December twelfth. Tell me, tell me. When's your birthday. My birthday is _____. (Happy Birthday!)</p>			
10分	<p>【Let's Watch and Think 6】 p.16</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バースデーカードについてのやり取りを聞いて, どのようなことが書かれているのかを推測し, 記入する。 ・次の Activity 2 の活動内容を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像資料の場面設定が, そのまま次の Activity 2 の活動内容となる。児童がデジタル教材を視聴し, 自分たちの活動内容を知る機会にする。 ・会話の聞き取りだけでなく, 会話のひろげ方や, 反応の示し方についても意識させるとよい。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>Gilberto (G) : Hello! G: When is your birthday, Kenta? G: OK. I'm sorry. I don't have your card. G: My birthday is April 14th. G: Thank you very much. (けんたはカードをまだ渡さず, カードに描かれているものについてギルベルトに尋ねる)</p> <p>Kenta (K) : Hello! K: My birthday is January 17th. K: It's OK. When is your birthday, Gilberto? K: April 14th. Oh, this is your birthday card. Happy birthday to you.</p> <p>K: Do you like black? G: Yes, I do. K: Do you like soccer? G: Yes, I do. What sport do you like? K: I like baseball. Do you want an ice cream cake for your birthday? G: Yes. A big ice cream cake! K: This is for you. Here you are. (ギルベルトにカードを渡す) G: Thank you very much.</p>			
5分	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードに書いた Happy Birthday! などの慣れ親しんだ表現を推測しながら読み, 「最初の文字は大文字」などの気付いたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者に続いて言うのではなく, 児童自身にどう読むか推測し, 読んでみるように促す。 ・次に文字を指で押さえながら, 一緒に読み, 気付いたことを学級全体で共有する。 	バースデーカード (前時に使用したもの)

5年 Unit 2—Lesson 7 単元名 When is your birthday? 行事・誕生日 7/7 時間

目 標 他者に配慮しながら、好みや欲しいもの、誕生日を尋ねたり答えたりして伝え合おうとする。

準 備 児童用テキスト、バースデーカード (児童が完成させたもの)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。	
2分	【Let's Chant】 When is your birthday? p.13 ・音声に合わせてチャンツを言う。	・児童の実態により、チャンツの種類やスピードを選ぶ。	デジタル教材
When is your birthday? When is your birthday? January first, February second, March third, April fourth, May fifth, June sixth. Tell me, tell me. When is your birthday? My birthday is _____. (Happy Birthday!) When is your birthday? When is your birthday? July seventh, August eighth, September ninth, October tenth, November eleventh, December twelfth. Tell me, tell me. When's your birthday. My birthday is _____. (Happy Birthday!)			
30分	【Activity 2】 p.16 ・バースデーカードの相手を探し、他者に配慮しながらカードに書かれていることについてやり取りをする。お祝いの気持ちを込めてバースデーカードを渡す。	・児童を、カードを届ける側ともらう側に分ける。 ・他者に配慮するとはどういうことか、全員で意見を出し合い、共通理解を図ってから活動を始める。 ・学級の実態により、気持ちのよいやり取りの具体例についても共通理解をしてから始めるなど工夫をするとよい。 ・進め方の例を示す。	バースデーカード (児童が完成させたもの)
進め方 ・前時に完成したバースデーカードを集め、あらかじめ次のように分けておく。 児童を、カードを届ける側①ともらう側②の2つのグループに分ける。 誕生日カードを、①の児童がもろうカード (①カード) と、②の児童がもろうカード (②カード) の2つに分ける。 ・①の児童に②カードを、②の児童に①カードを無作為に配る。その際、作った本人に作ったカードが渡らないようにする。 ・まず、①の児童が②カードを持って、②の児童の誰かとペアになってやり取りをしながら、自分の持つ②カードの誕生日の人を探す。うまく探し当てられたら、そのカードを開いて To の名前と一致しているかを確認、カードの内側に様々描かれている好きなもの欲しいものについて尋ねたり答えたりしてやり取りをしてから、カードを渡す。 ・①の児童全員がカードを配り終えたら、役割を交替して同様にやり取りをする。			
やり取りの例 A1: Hello! S1: Hello! A1: When is your birthday? S1: My birthday is February 15th. A1: I'm sorry. I don't have your card. Goodbye. S1: Goodbye. A1: Hello! S2: Hello! A1: When is your birthday? S2: My birthday is March 14th. A1: March 14th. Oh, this is your birthday card. S2: Thank you very much. (カードはまだ渡さず、カードに描かれているものについて A1 が A2 に尋ねる) A1: Do you like blue and white? S2: Yes, I do. I like blue very much. What color do you like? A1: I like yellow. Do you like table tennis? S2: Yes, I do. I like table tennis. A1: Me too! I like table tennis. It's fun. You want a new T-shirt for your birthday? S2: Yes. I want a new T-shirt! A1: This is for you. Here you are. Happy birthday! (A1 が S2 にバースデーカードを渡す) S2: Thank you very much.			
※カードの相手が見つかったペアが会話を始めることで、次第に相手がまだ見つからない人数が減っていく。そのため相手を探しやすくなる。			

	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の途中で、やり取りが長く続いたペアがデモンストレーションする。 ・友達について気付いた意外な一面や知ることができて良かったことや嬉しかったことなどを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の途中で中間評価をして、会話のモデルとなる良いやり取りの具体例を示し、児童が自分の後半の活動のめあてを決めた上で、後半の活動を開始するとよい。 ・活動後には、バースデーカードを通して気付いた友達の意外な一面などについて交流させ、児童の「もっと互いのことを知りたい」という気持ちを高めるようにする。 <p>◎他者に配慮しながら誕生日や欲しいものなどを尋ねたり答えたりし、伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
	<p>デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「アルファベットの名前・音」</p>		
5分	<p>【STORY TIME】 ② p.17</p> <p>・かずとマリアの絵本の読み聞かせを聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>マリア : Hi, everyone! かず : I'm eleven years old. My birthday is April 8th. It's a special day today. We have a new student.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を読み聞かせる際には、一方的に絵本の台詞を読むのではなく、児童と各ページにあるさまざまなイラストや話の筋についてやり取りしながら読むようにする。そうすることで、話の筋についての理解を助けるとともに、児童を絵本の世界に引き込むことができる。 ・高学年で扱っている絵本のページに記されている台詞は、やがて児童が読み聞かせを聞きながら絵本の台詞を指で追って聞いたり、自分で読むことに挑戦したりすることを想定し、短く単純なものにしている。よって、指導者が台詞以外の言葉を加えながらやり取りを行い、児童の想像を膨らませることが大切である。 ・指導者は、ジェスチャーを付け、表情豊かに読む。これらも児童にとっては、物語の筋を理解する上で大切な情報源となる。デジタル教材を使って読み聞かせをしてもよい。 ・この後に続くかずの台詞を自由に考えさせて、発表し合うなどの活動なども考えられる。 	デジタル教材 児童用テキスト
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年—Unit 3 単元名 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業

1. 単元目標

- ・教科について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の小文字を識別し、読むことができる。(知識及び技能)
- ・学校生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えたり、時間割について伝え合ったりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、時間割やそれについての自分の考えなどを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- Do you have (P.E.) on (Monday)? Yes, I do. / No, I don't. What do you have on (Monday)? I study (math). I want to be (a teacher). I want to study (math).
- 教科 (Japanese, English, math, social studies, home economics, calligraphy, moral education, P.E.), cleaning time, recess, 職業 (baseball player, doctor, fire fighter, florist, police officer, vet), study, goat
[既出] 曜日, 教科 (music, arts and crafts, science), teacher, soccer

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
読むこと	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
話すこと (やり取り)	イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

4. 単元計画 (7時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】 , ○) 【 】 =誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆曜日や教科について尋ねたり答えたりできる。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.18, 19</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を見て、世界の学校について分かったことを誌面に記入する。 ・聞き取れた言葉や、分かったことを発表する。 <p>○何曜日かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室にある時間割を見て、何曜日にどんな教科があるかを確認する。 <p>【Let's Sing】 Sunday, Monday, Tuesday p.20</p> <p>○ミッシング・ゲーム (教科名)</p> <p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? オプション (Subjects) p.22</p> <p>【Let's Listen】 p.20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、それがどの曜日かを考えて記入する。 <p>【Jingle】 Alphabet Jingle p.22 (p.76)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Alphabet Jingle (バージョン1) を聞く。 ・アルファベット順に、それぞれの文字で始まる単語やその音に注意しながら全員で分かる部分だけ言う。 	<p>※本時の目標に向けて指導は行うが、評価の記録は次時に合わせて行う。</p>
2	<p>◆学校生活に関するまとまりのある話を聞いて、おおよその内容を捉えるとともに、教科や曜日について尋ねたり答えたりできる。</p> <p>○Small Talk : 好きな教科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	

	<p>【Let's Sing】 Sunday, Monday, Tuesday p.20 ○ビンゴ・ゲーム</p> <p>【Let's Play】 p.20 ・ペアで取り組む。1人が、1週間の時間割の中から好きな曜日を1つ決め、相手が Do you have ~ on ~? と尋ね、どの時間割を選んだかを考えて答える。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.18, 19 ・世界の子供たちがどのような科目を学習しているかを知り、自分たちの学習との相違点や共通点に気付く。</p> <p>【Jingle】 Alphabet Jingle p.22 (p.76) ・Alphabet Jingle を言う。黒板に掲示した小文字のアルファベット文字カード（その初頭音で始まる絵が描かれている）をみんなで順番に言う。</p>	<p>◎教科や曜日について尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎世界の同世代の子供たちの学校生活に関するまとまりのある話を聞いて、自分たちとの相違点や共通点を聞き取り、誌面に記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆教科や曜日について尋ねたり答えたりできる。</p> <p>○Small Talk : 持っている物</p> <p>・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。</p> <p>【Let's Sing】 Sunday, Monday, Tuesday p.20 ・映像を見ながら歌う。</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.21 ・映像を見て、世界の子供たちがどんな時間割で学んでいるか、分かったことを誌面に記入する。</p> <p>【Let's Play】 p.20 ・ペアで取り組む。1人が、1週間の時間割の中から好きな曜日を1つ決め、相手が What do you have? と尋ね、どの時間割を選んだかを考えて答える。</p> <p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22</p> <p>【Jingle】 Alphabet Jingle p.22 (p.76) ・黒板に掲示したアルファベット小文字を見て、ジングルのリズムに合わせて言う。 ・クラスを半分に分け、最初半分が a/ei/ と言った後、あとの半分は /æ/, /æ/apple とキーワードを言う。</p>	<p>◎教科や曜日について尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆学校生活についてまとまった話を聞いてそのおおよその内容を捉えたり、教科について尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.21 ・映像を見て、世界の子供たちがどんな時間割で学んでいるか、わかったことを誌面に記入する。</p> <p>【Activity 1】 p.22 ・指導者の夢の時間割を聞き、誌面表に記入する。 ・友だちと夢の時間割を紹介し合う。 ・先生の夢の時間割を参考に、夢の時間割を作成し、紹介し合う。</p> <p>○サークル・ジングル</p>	<p>◎学校生活に関するまとまった話を聞いておおよその内容を捉えている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎教科について尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆時間割やそれについての自分の考えなどの話を聞いてそのおおよその内容を捉える。</p> <p>◆活字体の小文字を識別し、読むことができる。</p>	

	<p>○Small Talk : 家族</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 <p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22</p> <p>○Go fish Game</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで Go fish Game を行う。 <p>【Let's Watch and Think 3】 p.23</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を視聴し、登場人物と将来の夢、オリジナル時間割を線で結ぶ。 <p>【Activity 2】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある職業に就くための時間割を考え、オリジナル時間割も含めて完成させる。 <p>○ペアを探せ！ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに大文字と小文字をマッチさせる。 	<p>◎時間割やそれについての自分の考えなどの話を聞いてそのおおよその内容を捉え、線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎活字体の小文字を識別し、その文字を大文字と対にして読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
6	<p>◆時間割について伝え合う。</p> <p>◆活字体の小文字を識別し、読むことができる。</p> <p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う <p>○anz ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4～5人グループで活動する。 <p>【Activity 2】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したオリジナル時間割を班の人に紹介する。 ・次時のクイズ練習をかねて、班の中でペアを替えながら何度か行う。 	<p>◎活字体の小文字を識別し、読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎時間割について尋ねたり答えたりして、伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆他者に配慮しながら、時間割やそれについての自分の考えなどを伝え合おうとする。</p> <p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22</p> <p>【Activity 2】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したオリジナル時間割をクイズ形式で紹介する。 ・オリジナル教科についても紹介する。 <p>○I spy ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、1人がアルファベットの名称を言い、もう1人が Alphabet Jingle チャートあるいは、児童用カード（大文字・小文字）にあるその文字をさし示す。 <p>【STORY TIME】 p.25</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを聞く。 	<p>◎他者に配慮しながら、教科について尋ねたり答えたりして、伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

5年 Unit 3—Lesson 1 単元名 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業 1/7 時間

目 標 曜日や教科について尋ねたり答えたりできる。

準 備 教師用カード (教科, 曜日), 児童用テキスト, デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。	
10分	【Let's Watch and Think 1】 p.18, 19 ・映像を見て, 世界の学校について分かったことを誌面に記入する。 ・聞き取れた言葉や, 分かったことを発表する。	・児童と一緒に聞き取れたことについて確認し, 世界の同世代の学校生活は日本と似たところも違うところもあることを確認する。映像を視聴しながら, ジェスチャーを交えるなど, 児童が内容を推測しやすいようにする。 ・日本でも学校によって特色があるように, このデジタル教材に出てくる学校は, その国のたった1つの学校のみであり, その国のすべての学校がそうではないことに留意させる。 ・次時にも視聴するため全てを見せる必要はない。	デジタル教材 児童用テキスト
	ロシア : There are many schools around the world. In Russia, some children learn Japanese at school. They have a long vacation from June to August. School starts in September. エジプト: Let's take a look at Egypt. There are many children in each class. Sometimes, over 90 children study together in one classroom. アメリカ: In America, many children go to school by school bus. School starts in September. Japanese <i>manga</i> and animations are very popular. ベルギー: Let's look at a school in Belgium. Children study five days a week. On Wednesday, they only have classes in the morning. ラオス : Here is a school in Laos. They go home for lunch and come back to school at one thirty for three more classes in the afternoon. They learn a traditional dance at school.		
14分	○何曜日かな。 ・教室の時間割を見て, 何曜日に応じた教科があるかを確認する。 【Let's Sing】 Sunday, Monday, Tuesday p.20	・時間割を見て, 児童が日本語で言う曜日や教科の教師用カードを掲示しながら, 英語での言い方を知らせる。指導者の後に続いて一緒に言うように促す。 ・カードをさし示し, 児童の様子を見てスピードを調整しながら, Sunday, Monday, Tuesday の歌を歌って聞かせる。言えそうなところから一緒に言うよう促す。デジタル教材で歌を聞かせてもよい。	教師用カード (教科, 曜日) デジタル教材
	・指導者の質問に答える。	・曜日, 教科について児童とやり取りをしながら, 児童に曜日や教科名を何度も聞かせ慣れ親しませる。	
	Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday comes again. Sunday (エコープラクティス) Monday (エコープラクティス) Tuesday (エコープラクティス) Wednesday (エコープラクティス) Thursday (エコープラクティス) Friday (エコープラクティス) Saturday (エコープラクティス) I like Friday. I like Friday. I like Friday the best! (clap)		
	T : Today is Monday. We have math, Japanese, science, music, social studies and P.E. Do you like math? S1, do you like math? S1: Yes, I do. T : You like math. Good. How about S2? Do you like math? S2: No, I don't. T : Oh, no. You don't like math. How about Japanese? S2: I like Japanese. T : Good. Everyone, do you like Japanese?		

3分	<p>○ミッシング・ゲーム (教科名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に掲示している教科カードでそのまま行う。 	教師用カード (教科)
<p>ミッシング・ゲームの進め方</p> <p>黒板に教科カードを掲示しながら、言い方を確認する。全てのカードを外し、その中から1枚カードを除く。除いたカード以外を再度黒板に貼りながら、リピートさせる。最後に黒板にないカードを言わせる。隠す数は1枚から始め4枚程度 (実態に応じて) まで。児童に目を閉じさせてカードを抜き、なくなったカードを考えて言わせる方法もある。</p>			
3分	<p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? オプション (Subjects) p.22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言えるところから言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とリズムに乗って一緒に言う。 <p>P.E., Japanese, math and English. Social studies, music and science. Arts and crafts, calligraphy, home economics, moral education and more. Don't forget (clap) lunch time!</p>	デジタル教材
5分	<p>【Let's Listen】 p.20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、それがどの曜日かを考えて記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度まとまりのある文を聞いて、大まかに聞きとれる力を児童に付けたい。そのため、1度目は音声を途中で区切らず、終わりまで流し、聞き取れた内容で判断するよう促す。その後、児童の様子から聞き取りにくい曜日のものなどは数回音声を流し、途中で区切るなど聞かせ方を工夫する。 <p>No.1: I have P.E., science, math and social studies. I like P.E. very much. No.2: I have Japanese, science, math, social studies and P.E. No.3: I have English, math, home economics and Japanese. I like English, too. No.4: I have Japanese, calligraphy, music, math and moral education. Calligraphy is interesting. No.5: I have math, English, science, arts and crafts, and Japanese. I like this day. I like arts and crafts very much.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答え合わせの際には単に曜日を確認するだけでなく、一緒に教科名や曜日を言うようにし、言い方に慣れさせる。また、単に答え合わせに終わらないよう、ある教科が好きかどうかを児童に尋ねてやり取りをする。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">T : Do you like music? S1: Yes, I do. S2: No, I don't. T : S2, what subject do you like? Social studies? P.E?</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (教科)
5分	<p>【Jingle】 Alphabet Jingle p.22 (p.76)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Alphabet Jingle (バージョン1) を聞く。 ・アルファベット順に、それぞれの文字で始まる単語やその音に注意しながら全員で分かる部分だけ言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、児童が知っているアルファベット文字の読み方を尋ねる。今から、Alphabet Jingle を聞くことを告げ、どのようなものが聞こえたかを聞き取るよう促す。 ・音に注意しながら分かる部分だけでよいので一緒に言うように促す。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Alphabet Jingle」</p>	デジタル教材 児童用テキスト
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

※本時の目標に向けて指導は行うが、評価の記録は次時に合わせて行う。

5年 Unit 3-Lesson 2 単元名 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業 2/7 時間

目 標 学校生活に関するまとまりのある話を聞いて、おおよその内容を捉えるとともに、教科や曜日について尋ねたり答えたりできる。

準 備 教師用カード(教科, 曜日, 小文字のアルファベットカード), 児童用テキスト, 児童用カード(教科, 曜日), デジタル教材, ワークシート (Unit 3-1:教科ビンゴシート), 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする ○Small Talk: 好きな教科 ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・好きな教科について話す。 ・一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	
<p>Small Talk の例</p> <p>T: What day is it today?</p> <p>S: Wednesday!</p> <p>T: That's right. It's Wednesday today. What do you have on Wednesday? (教室の時間割をさしながら)</p> <p>S: Japanese, calligraphy, music</p> <p>T: Yes. Let's say together. We have (一緒に言う) Japanese, calligraphy, music, math and moral education. What subject do you like? ○○ san.</p> <p>S: I like Japanese and music. S2: I like calligraphy. S3: I like math and music.</p> <p>T: Many students like music. Me too. I like music very much. I like songs.</p> <p>(音楽を聴くジェスチャーをしながら) I like listening to the music. (鼻歌を歌ってから) I like singing.</p> <p>I can be happy and relax. I like music.</p>			
3分	<p>[Let's Sing] Sunday, Monday, Tuesday p.20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曜日の歌を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と一緒に歌う。児童の様子を見て、アカペラでリズムをゆっくりにするなど歌い方を工夫する。 	デジタル教材 教師用カード(曜日)
<p>Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday comes again.</p> <p>Sunday (エコープラクティス) Monday (エコープラクティス)</p> <p>Tuesday (エコープラクティス) Wednesday (エコープラクティス)</p> <p>Thursday (エコープラクティス) Friday (エコープラクティス)</p> <p>Saturday (エコープラクティス)</p> <p>I like Friday. I like Friday. I like Friday the best! (clap)</p>			
8分	<p>○ビンゴ・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で、児童用カード(曜日, 教科) 14枚を切り離し、そのうちの9枚を選んで、ビンゴシートに並べる。 ・指導者の質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日, 教科のカードから、ビンゴシートに9枚を並べるように言う。 ・Do you have ~? で尋ね、そのカードがシートにあれば、Yes, I do. と言ってそのカードを裏向ける。なければ No, I don't. と答えるよう言う。縦横斜めにカードが裏返ればビンゴ。 ・慣れてきたら、代表児童に尋ねさせる。Do you have ~? の表現を何度も聞いたり言ったりして慣れ親しませることがねらい。 	ワークシート (Unit 3-1:教科ビンゴシート) 児童用カード (曜日, 教科)

10分	<p>【Let's Play】 p.20</p> <p>・ペアで取り組む。1人が、1週間の時間割の中から好きな曜日を1つ決め、相手が Do you have ~ on ~? と尋ね、どの時間割を選んだかを考えて答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、指導者と代表児童、指導者と全児童でデモンストレーションをして進め方を理解させる。 ・代表児童に好きな曜日を心の中で決めさせる。その曜日を予想し、時間割を見てその曜日にある科目を、Do you have ~? と尋ねる。 ・指導者が好きな曜日を心の中で決める。児童に質問をさせる。 ・単に曜日を答えるだけでなく、Do you have ~? I have ~ on ~. の表現を繰り返し聞いたり言ったりして慣れ親しませることがねらいである。 	児童用テキスト 教師用カード(曜日, 教科)
<p>S1: (火曜日を選ぶ)</p> <p>S2: (S1は英語が好きなので、選んだ曜日を金曜日と予想し、金曜日の特徴である英語や家庭科があるかどうかを尋ねる。) Do you have English and home economics?</p> <p>S1: No, I don't. I don't have home economics.</p> <p>S2: (S1が選んだ曜日を火曜日と予想し、火曜日の特徴である英語や図画工作があるかどうかを尋ねる。)</p> <p>Do you have English and arts and crafts?</p> <p>S1: Yes, I do. I have English and arts and crafts.</p> <p>S2: (Is it) Tuesday?</p> <p>S1: That's right. It's Tuesday. I have math, English, science, Japanese and arts and crafts on Tuesday.</p> <p>役割を交代して続ける。</p>			
		<p>◎教科や曜日について尋ねたり答えたりしている。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
10分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.18, 19</p> <p>・世界の子供たちがどのような科目を学習しているかを知り、自分たちの学習との相違点や共通点に気付く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1時目に視聴できなかったものから視聴する。 ◎世界の同世代の子供たちの学校生活に関するまとまりのある話を聞いて、自分たちとの相違点や共通点を聞き取り、誌面に記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>ロシア : There are many schools around the world. In Russia, some children learn Japanese at school. They have a long vacation from June to August. School starts in September.</p> <p>エジプト: Let's take a look at Egypt. There are many children in each class. Sometimes, over 90 children study together in one classroom.</p> <p>アメリカ: In America, many children go to school by school bus. School starts in September. Japanese <i>manga</i> and animations are very popular.</p> <p>ベルギー: Let's look at a school in Belgium. Children study five days a week. On Wednesday, they only have classes in the morning.</p> <p>ラオス : Here is a school in Laos. They go home for lunch and come back to school at one thirty for three more classes in the afternoon. They learn a traditional dance at school.</p>			
5分	<p>【Jingle】 Alphabet Jingle p.22 (p.76)</p> <p>・Alphabet Jingle を言う。黒板に掲示した小文字のアルファベット文字カード(その初頭音で始まる絵が描かれている)をみんなで順番に言う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Alphabet Jingle を聞かせ、小文字のアルファベットカード(その初頭音で始まる絵が描かれている)を示しながら、みんなで順番に言うように促す。 <p>デジタル教材: 「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Alphabet Jingle」</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(小文字のアルファベットカード)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 3—Lesson 3 単元名 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業 3/7 時間

目 標 教科や曜日について尋ねたり答えたりできる。

準 備 持ち物やその写真 (Small Talk 用), 教師用カード (教科, 曜日, 小文字のアルファベットカード), 児童用テキスト, 児童用カード (教科, 曜日), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>○Small Talk : 持っている物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 ・指導者が趣味で持っている物について話す。 ・一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	持ち物やその写真
	<p>Small Talk の例 ※ここでは, 腕時計を複数持っていてそれを紹介している場面</p> <p>T : Look. This is my bag. (自分のカバンを見せながら) Oh, it's heavy. (自分のカバンを持って重そうに) Please touch this. (自分のカバンを児童に差し出しながら) What's inside it? What do I have in my bag? A book? Pens? What do I have in my bag? Can you guess? Please touch this. (別の児童に自分のカバンを差し出しながら)</p> <p>S1: Pencils?</p> <p>T : Pencils? Good idea. But not pencils, I'm sorry. Listen. (カバンを少し振って見せながら) What do I have in my bag?</p> <p>S2: A watch?</p> <p>T : A watch? Watches? Great! That's right. Look, a watch. (腕時計を1つ取り出しながら) Look, a watch. (もう1つ腕時計を取り出しながら) Look, a watch. (また1つ腕時計を取り出しながら) Oh, one more watch. (また1つ腕時計を取り出しながら) Wow, one more watch. (また1つ腕時計を取り出しながら) Umm, one more watch. (また1つ腕時計を取り出しながら) How many... how many watches?</p>		
2分	<p>【Let's Sing】 Sunday, Monday, Tuesday p.20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を見ながら歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と一緒に歌う。 	デジタル教材
	<p>Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday comes again. Sunday (エコープラクティス) Monday (エコープラクティス) Tuesday (エコープラクティス) Wednesday (エコープラクティス) Thursday (エコープラクティス) Friday (エコープラクティス) Saturday (エコープラクティス) I like Friday. I like Friday. I like Friday the best! (clap)</p>		
15分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を見て, 世界の子供たちがどんな時間割で学んでいるか, 分かったことを誌面に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの内2つを選んで視聴する。視聴前に児童に予想させるなどし, 早く確認したいという気持ちにさせてから視聴するとよい。 ・1度目は一時停止せず, まとめて視聴し, ある程度まとまりのある話から, その内容の概要を捉えられるように視聴の方法を工夫する。 ・今回は, 1度聞かせた後, 聞き取れた単語を発表させ, 2回目にその後をヒントにさらに内容を理解させるなど, 児童の実態や不安感をもつ児童に考慮しながら行うとよい。 	デジタル教材 児童用テキスト

	<p>ケニア : I'm in Kenya. I have math, English and Swahili on Monday in my school. We have eight classes from Monday to Friday and five classes on Saturday. We have cleaning time and laundry time at school.</p> <p>スペイン : I'm in Spain. I have math, Spanish and French on Monday in my school. I have a very long noon recess. It's about two hours. I go home and eat lunch.</p> <p>インド : I'm in India. I have science, math and English on Tuesday in my school. Science and math are very popular subjects in my country. I like Japanese <i>manga</i>, animation very much.</p> <p>フィンランド: I'm in Finland. I have P. E., Finnish and environmental education, <i>kankyoyoiku</i> in Japanese in my school. I have a long summer vacation from June to August.</p>	<p>・単に答え合わせとならないよう、聞き取った科目や曜日を題材に児童とやり取りをし、次の活動に繋げるようにする。</p>	
10分	<p>【Let's Play】 p.20</p> <p>・ペアで取り組む。1人が、1週間の時間割の中から好きな曜日を1つ決め、相手が What do you have? と尋ね、どの時間割を選んだかを考えて答える。</p>	<p>・前時に行った活動だが、必要に応じて例を示す。</p> <p>・ What do you have? I have ~. の表現を繰り返し聞いたり言ったりして慣れ親ませることがねらいである。</p> <p>◎教科や曜日について尋ねたり答えたりしている。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	<p>児童用テキスト 教師用カード(教科, 曜日) 児童用カード(教科, 曜日)</p>
5分	<p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22</p> <p>・チャンツを言う</p>	<p>・まず、1度聞かせてから、言えるところから言うよう指示する。児童の実態により、スピードを選ぶとよい。児童と一緒に言う。</p>	デジタル教材
5分	<p>【Jingle】 Alphabet Jingle p.22 (p.76)</p> <p>・黒板に掲示したアルファベット小文字を見て、ジングルのリズムに合わせて言う。</p> <p>・クラスを半分に分け、最初半分が a/ei と言った後、あとの半分は /æ/, /æ/, apple とキーワードを言う。</p>	<p>・小文字に注目させアルファベットを全員で言う。</p> <p>・ Alphabet Jingle を聞かせ、小文字のアルファベットカード(その初頭音で始まる絵が描かれている)を示しながら、みんなで順番に言うように促す。</p>	<p>デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(小文字のアルファベットカード)</p>
3分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 3—Lesson 4 単元名 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業 4/7 時間

目 標 学校生活についてまとまった話を聞いてそのおおよその内容を捉えたり，教科について尋ねたり答えたりして伝え合う。

準 備 教師用カード (教科，曜日)，児童用テキスト，デジタル教材，Alphabet Jingle シート，振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し，個別に数名の児童に挨拶する。	
3分	<p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22</p> <p>・チャンツを言う。</p>	<p>・児童の実態により，スピードを選ぶとよい。児童と一緒に言う。</p> <p>What do you have on Monday? What do you have on Monday? I have math, I have P. E. I have science and music, too. Monday, Monday. Monday is fun! What do you have on Thursday? What do you have on Thursday? I have Japanese, I have English. I have social studies, too. Thursday, Thursday. Thursday is fun!</p>	デジタル教材
8分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.21</p> <p>・映像を見て，世界の子供たちがどんな時間割で学んでいるか，わかったことを誌面に記入する。</p>	<p>・前時に視聴していない2つを選んで視聴する。視聴前に児童に予想させるなどし，早く確認したいという気持ちにさせてから視聴するとよい。</p> <p>・1度目は一時停止せず，まとめて聞かせ，ある程度まとまりのある話から，その内容の概要を捉えられるように視聴の方法を工夫する。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>ケニア : I'm in Kenya. I have math, English and Swahili on Monday in my school. We have eight classes from Monday to Friday and five classes on Saturday. We have cleaning time and laundry time at school.</p> <p>スペイン : I'm in Spain. I have math, Spanish and French on Monday in my school. I have a very long noon recess. It's about two hours. I go home and eat lunch.</p> <p>インド : I'm in India. I have science, math and English on Tuesday in my school. Science and math are very popular subjects in my country. I like Japanese <i>manga</i>, animation very much.</p> <p>フィンランド: I'm in Finland. I have P. E., Finnish and environmental education, <i>kankyokyoiku</i> in Japanese in my school. I have a long summer vacation from June to August.</p>	<p>・単に答え合わせとならないよう，聞き取った科目や曜日を題材に児童とやり取りをし，次の活動につなげるようにする。</p> <p>T : In India, on Tuesday they have ...? What is 'Finnish'? 'Finish'? No, no. Japan, Japanese. China, Chinese. Korea, Korean. France, French. Finland, ...? Do we have <i>kankyokyoiku</i> in our school?</p> <p>◎学校生活に関するまとまった話を聞いておおよその内容を捉えている。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	
22分	<p>【Activity 1】 p.22</p> <p>・指導者の夢の時間割を聞き，誌面表に記入する。</p>	<p>・指導者自身の夢の時間割を，簡単に理由も添えて伝える。</p>	児童用テキスト 教師用カード(教科，曜日)

	<p>T : It's Saturday. Ss: What do you have on Saturday? T : I have two music classes, home economics, arts and crafts, and long lunch time recess on Saturday. I like music. I want to play the piano. I like drawing pictures and sewing. (絵を描いたり, 縫い物をしたりするジェスチャーをしながら) I want to make an original bag.</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちと夢の時間割を紹介し合う。 ・ 先生の夢の時間割を参考に, 夢の時間割を作成し, 紹介し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者の夢の時間割を参考に, 夢の時間割を考えるよう言う。児童の実態にもよるが, 簡単にでも理由も加えるよう指導する。 ・ 何曜日の時間割かを尋ねるところから始める。 	
	<p>S1: What day is it? S1: What do you have on Wednesday? S1: Oh! You have two P.E. classes. S1: Good!</p>	<p>S2: It's Wednesday? S2: I have two P.E. classes, English, music and a long lunch time. S2: Yes. I like basketball very much. I want to play basketball in NBA.</p>	
		<p>◎教科について尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>○サークル・ジングル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループで活動する。 <p>サークル・ジンゲルの進め方 (準備物: Alphabet Jingle シートでカードを作る。1グループに1シートを用意し, 児童に「アルファベット文字とイラスト」で1枚のカードになるよう切らせ, カードにする。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループで Alphabet Jingle カード1セットを用意する。円になり, 各自が手持ちのカードからアルファベットの順に a /ei/, a /æ/, a /æ/, apple と言いながら出し, 協力して a から z まで言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間内で行う。早く言うのが良いのではなく, 丁寧にきちんと発音しながら進めるよう促す。 	Alphabet Jingle シート
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・ 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・ 挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 3-Lesson 5 単元名 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業 5/7 時間

目 標 時間割やそれについての自分の考えなどの話を聞いてそのおおよその内容を捉える。

活字体の小文字を識別し、読むことができる。

準 備 家族の写真など (Small Talk 用), 教師用カード (教科, 曜日, 職業), 児童用カード (教科, 曜日, 大文字・小文字), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 3-2), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ○Small Talk : 家族 <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 自分の家族 (娘息子兄弟姉妹やペット) について話す。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	家族の写真など
<p>Small Talk の例</p> <p>T : Do you have any sisters or brothers? S1, you have a sister! <i>1nen-sei</i> ○○-<i>chan</i> is your sister. S2, you have a brother. <i>6 nen-sei</i> ○○-<i>kun</i> is your brother. Do you have any sisters or brothers? Ss : Yes. I have a brother (brothers). / I have a sister (sisters).</p> <p>T : (写真を手に児童に話しかける) Look! I have three sisters. This is my elder sister, Keiko. She is nice. She is a very strong woman. This is my younger sister, Kyoko. She is a nursery school teacher, <i>hoikushi</i> in Japanese. She is very gentle and kind. (笑いながら) Who is this beautiful woman? Ss : No, no! Not beautiful / <i>Sensei</i> !?</p> <p>T : Is that right? ... No, this is not me. This is my twin sister! <i>Futago</i> in Japanese. We are good sisters.</p>			
3分	<p>【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態により、スピードを選ぶとよい。 	デジタル教材 教師用カード (教科, 曜日)
<p>What do you have on Monday? What do you have on Monday? I have math, I have P. E. I have science and music, too. Monday, Monday. Monday is fun! What do you have on Thursday? What do you have on Thursday? I have Japanese, I have English. I have social studies, too. Thursday, Thursday. Thursday is fun!</p>			
8分	<p>○Go fish Game</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで Go fish Game を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 数名の児童とデモンストレーションとして、進め方を理解させる。 	児童用カード (教科, 曜日)
<p>Go fish Game の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> グループに4セット教科と1セット曜日のカードを準備する。教科カードをシャッフルし、裏向けにして1人5枚ずつ配る。残りの教科カードは裏向けの山、曜日カードは表向けの山にして机の中央に置く。曜日カードは1周する度に次の曜日にかえる。手持ちで揃っているカードは横に出す。残りの手持ちの教科カードを早く2枚組にしていき、全てなくなった人が勝ちというゲーム。 じゃんけんをして右回りを決める (S1→S2→S3→S4)。 <p>S1 (手持ちのカードが P.E., English, music, Japanese, math) →S2 に Do you have P.E. on Wednesday? S2 (P.E.カードを持っている場合) Yes, I do. I have P.E. on Wednesday. と言ってカードを S1 に渡す。S1 は揃うので P.E.カードを横に出すことができる。</p> <p>S1 (P.E.カードを持っていない場合) No, I don't. I don't have P.E. on Wednesday. Go fish! と言う。S1 は教科カードの山から1枚取る。S2→S3 で続ける。終了時に手持ちカードの少ない人が勝ち。</p>			

8分	<p>【Let's Watch and Think 3】 p.23</p> <p>・映像を視聴し、登場人物と将来の夢、オリジナル時間割を線で結ぶ。</p>	<p>・登場人物が、将来の夢を紹介している場面であることを伝える。</p> <p>・視聴する前に、どの職業にどの時間割が合っているかを予想させることで、視聴への意欲につなげる。</p> <p>・まとまりのある話を聞いて概要を捉えることがねらいである。そのため、まずは全ての映像を区切らずに順に全て視聴させる。その後、1人ずつ区切って視聴するとよい。</p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(曜日, 教科, 職業)
<p>こうせい: Hello. My name is Kosei. I want to be a vet. This is my Dream Schedule. I like science and math. I have two science classes. I want to know how to use computers, so I have a computer class, too.</p> <p>さき : Hi, I'm Saki. I like my homeroom teacher, Ms. Tanaka. I want to be an elementary school teacher. Teachers teach many subjects at school. I want to study math, Japanese, English, music, and arts and crafts.</p> <p>けんた : Hello. I'm Kenta. I like sports. I like baseball very much. I want to be a baseball player. I have two P.E. classes. I want to do a lot of exercises. I want to study English, too. I want to be a Major League player.</p> <p>あおい : Hi, I'm Aoi. I want to help people in the future. I want to be a fire fighter. I have two P.E. classes. I have social studies, too. That's my Dream Schedule.</p>			
		<p>・答えを確認した後、これらのスピーチ内容を参考に、この後オリジナル教科を含めた時間割を作ることを伝える。</p> <p>◎時間割やそれについての自分の考えなどの話を聞いてそのおおよその内容を捉え、線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	
13分	<p>【Activity 2】 p.24</p> <p>・ある職業に就くための時間割を考え、オリジナル時間割も含めて完成させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>時間割の紹介例 (florist になりたい人のための時間割)</p> <p>T : This is a schedule for a florist. Let's guess.</p> <p>S1: Do you have arts and crafts?</p> <p>T : Yes, I do. I have arts and crafts. I want to make a beautiful bouquet.</p> <p>S2: Do you have home economics?</p> <p>T : No, I don't. I don't have home economics.</p> <p>S3: Do you have math?</p> <p>T : Yes, I do. I have math.</p> <p>How many flowers? How much the flowers?</p> <p>I have math.</p> <p>I have arts and crafts, English, math and social studies.</p> <p>English is for foreign guests. I have social studies for delivery.</p> <p>My original subject is "嗅覚トレーニング" class. "嗅覚" is very important for a florist.</p> <p>Thank you.</p> </div>	<p>・まず、指導者が自分の作成したオリジナル時間割を紹介し、どんなものを作成すればよいのか、また、オリジナル教科とはどんなものが考えられるのか例を示す。</p> <p>・6つの職業に就く人のための時間割や、新しいオリジナル教科を話し合う時間を取ることも考えられる。</p> <p>・単に好きな教科を選ぶのではなく、なぜその教科を選ぶのかという理由を付け加えさせるとよい。</p> <p>・職業については、児童自身が6つから選んで決め</p>	児童用テキスト ワークシート (Unit 3-2) 教師用カード(曜日, 教科, 職業)

		るか、職業カードを引いて決めるか、班でバラバラになるように話し合いで決めるなど、学級の実態に合わせて決めるとよい。ただし最後のクイズで偏りが出ないように配慮する。	
5分	<p>○ペアを探せ！ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに大文字と小文字をマッチさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進め方の例を示す。 ・理解の進んでいる児童のみが1人がゲームをリードしないよう、児童の実態に合わせてルールを決めて行う。例えば、各自に同枚数配布する、右回りで1人ずつペアを作っていくなどが考えられる。 ・単に大文字と小文字をペアにするだけでなく、識別してペアにした文字を読むことがねらいである。そのため、ペアにした後必ず声に出して読むことを徹底する。 <p>◎活字体の小文字を識別し、その文字を大文字と対にして読んでいる。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用カード（大文字・小文字：グループに1セット）
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 3-Lesson 6 単元名 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業 6/7 時間

目 標 時間割について伝え合う。

活字体の小文字を識別し、読むことができる。

準 備 児童用テキスト, 児童用カード(教科, 曜日, 職業, 小文字), ワークシート (Unit 3-2: 前時に作成した時間割), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。	
3分	【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22 ・チャンツを言う	・児童の実態により、スピードを選ぶとよい。児童と一緒に言う。 What do you have on Monday? What do you have on Monday? I have math, I have P. E. I have science and music, too. Monday, Monday. Monday is fun! What do you have on Thursday? What do you have on Thursday? I have Japanese, I have English. I have social studies, too. Thursday, Thursday. Thursday is fun!	デジタル教材
10分	○anz ゲーム ・4～5人グループで活動する。	・進め方の例を示す。	児童用カード (小文字)
	anz ゲームの進め方 ・グループで児童用カード (小文字) 1セットを用意し、最初に anz の3文字のみ間隔をあけて机の上に置く。3文字以外の小文字カードはシャッフルし、裏返して等分に配る。じゃんけんをして順番を決める。 ・「七並べ」の要領で、a(後)・・・(前)n(後)・・・(前)z のカードを置くことができる。隣り合うカードのみしか置くことはできない。置く際には小文字を読む。全て並べ終えたら、全員で a～z, z～a の順に文字を読む。		
		◎活字体の小文字を識別し、読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
25分	【Activity 2】 p.24 ・作成したオリジナル時間割を班の人に紹介する。 ・次時のクイズ練習をかねて、班の中でペアを変えながら何度か行う。	・理由や感想も含めて伝えるよう促す。	児童用テキスト ワークシート (Unit 3-2: 前時に作成した時間割) 児童用カード(曜日, 教科, 職業)
	紹介クイズの例 AB (クイズを出す方) CD (クイズに答える方) AB: (各自の前に職業カードと、どちらのものか分からないようにして時間割を置く。) A: (サッカー選手) B: (教師) C: Do you have P.E.? A: Yes, I do. I have P.E. I like P.E. B: Yes, I do. I like P.E. very much. D: Do you have music? A: Yes, I do. I have music. I want to dance. B: Yes, I do. I want to sing. C: Do you have moral education? A: No, I don't. I don't have moral education. B: Yes, I do. I have moral education. (次ページに続く)		

	<p>(前ページの続き)</p> <p>D : Uh-huh! (2人で相談をして本人のものと思う時間割を2人の前に置く。) This is your original schedule and this is your original schedule.</p> <p>A : That's right! I have English, too. I want to play in the World Cup.</p> <p>B : I have science, English, and math. I like English. I want to teach English.</p> <p>A : My original “教科” is “サインの練習”. Do you want my sign?</p> <p>CD : Yes, please.</p> <p>B : My original “教科” is “遊びの時間”. Students like “遊びの時間” very much. I want to play with my students.</p> <p>CD : Nice schedule!!</p> <p>AB : Thank you.</p>	<p>◎時間割について尋ねたり答えたりして、伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 3-Lesson 7 単元名 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業 7/7 時間

目 標 他者に配慮しながら、時間割やそれについての自分の考えなどを伝え合おうとする。

準 備 児童用テキスト, 児童用カード(教科, 曜日, 職業, 大文字・小文字), ワークシート (Unit 3-2: 前時に作成した時間割), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。	
3分	【Let's Chant】 What do you have on Monday? p.22 ・チャンツを言う。	・児童の実態により, スピードやオプションを選ぶとよい。児童と一緒に言う。 What do you have on Monday? What do you have on Monday? I have math, I have P. E. I have science and music, too. Monday, Monday. Monday is fun! What do you have on Thursday? What do you have on Thursday? I have Japanese, I have English. I have social studies, too. Thursday, Thursday. Thursday is fun!	デジタル教材
25分	【Activity 2】 p.24 ・作成したオリジナル時間割をクイズ形式で紹介する。 ・オリジナル教科についても紹介する。	・進め方の例を示す。 ・日本語は使わない, クイズの際に大切にしたいことなどを児童の発表により確認する。 (例)反応を示す, しっかり聞いて答えるなど。	ワークシート (Unit 3-2: 前時に作成した時間割) 児童用カード(教科, 曜日, 職業)
学級の班の内半分を, クイズを出す方の班 (ABCD), 半分をクイズに答える方の班 (EFGH) とする。 ① A-E B-F C-G D-H ②A-F B-G C-H D-E・・・ と時間いっぱいまで回していく。 A1234: (各自の前に職業カードと, 誰の時間割か分からないようにして時間割を置く。) A1: (サッカー選手) 2: (教師) 3: (花屋) 4: (警察官) E1: Do you have P.E.? A1: Yes, I do. I have P.E. I like P.E. A2: Yes, I do. I like P.E. very much. A3: No, I don't. I don't have P.E. A4: Yes, I do. I have P.E. E2: Do you have music? A1: Yes, I do. I have music. I want to dance. A2: Yes, I do. I want to sing. A3: Yes, I do. I have music. A4: No, I don't. I don't have music. 同様に E3, E4 が質問をしたことに A1, 2, 3, 4 が答える。班員全ての質問と答えが終わったら, 質問をする方の班は, 相談をして誰の時間割が誰のものか正しい場所に置く。答える側の班は, 正解かどうかを教える。 その後 A1, 2, 3, 4 は順に自分のオリジナル教科を紹介する。 A1: My original “時間割” is “サインの練習”. Do you want my “サイン”? CD: Yes, please. A2: My original “時間割” is “遊びの時間”. I like playing outside very much. I want to play with students. A3: A4:・・・ E1, 2, 3, 4 はそれぞれのオリジナル教科に感想を伝える。 ・前半の活動後, やり取りの良かった班がデモンストレーションをし, どんな点がよいのかを全体で交流し, 後半の活動に生かせるようにする。後半の活動を, クイズを出す方と答える方の役割を交代して行う。 ・工夫のあるオリジナル教科の時間割を考えた児童が, 自薦他薦で時間割を発表したりすることも考えられる。			
		◎他者に配慮しながら, 教科について尋ねたり答えたりして, 伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検>	

5分	<p>OI spy ゲーム</p> <p>・ペアになり、1人がアルファベットの文字の名称を言い、もう1人が Alphabet Jingle チャートあるいは、児童用カード (大文字・小文字) にあるその文字をさし示す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>S1: b /bi/ S2: Here! (bを指さす) S1: OK!</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、児童用テキスト p.22 (p.76)の Alphabet Jingle チャートあるいは、児童用カード (文字・小文字: 切り離さない状態でも切り離した状態でもよい) を使って活動することを告げる。 ・最初に、指導者と児童でデモンストレーションをして進め方を理解させ、ペアで取り組ませる。 	児童用テキスト 児童用カード (大文字・小文字)
5分	<p>【STORY TIME】 p.25</p> <p>・絵本の読み聞かせを聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>マリア : Hello. かず : ... It's Monday today. Our first class is Japanese. マリア : Can you teach me Japanese? かず : Sure!</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を読み聞かせる際には、一方的に絵本の台詞を読むのではなく、児童と各ページにあるさまざまなイラストや話の筋についてやり取りしながら読むようにする。そうすることで、絵本の筋についての理解を助けるとともに、児童を絵本の世界に引き込むことができる。 ・高学年で扱っている絵本のページに記されている台詞は、やがて児童が読み聞かせを聞きながら絵本の台詞を指で追って聞いたり、自分で読むことに挑戦したりすることを想定し、短く単純なものにしている。よって、指導者が台詞以外の言葉を加えながらやり取りを行い、児童の想像を膨らませることが大切である。 ・指導者は、ジェスチャーを付け、表情豊かに読む。これらも児童にとっては、物語の筋を理解するうえで大切な情報源となる。デジタル教材を使って読み聞かせをしてもよい。 	デジタル教材 児童用テキスト
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動及び単元全体を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年－Unit 4

単元名

What time do you get up?

一日の生活

1. 単元目標

- ・一日の生活について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の小文字を書くことができる。(知識及び技能)
- ・一日の生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えたり、一日の生活について伝え合ったりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、自分の一日の生活について伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- What time do you (get up)? I (usually) (get up) at (7:00).
 - always, usually, sometimes, never, at, get up, 手伝い (wash the dishes, set the table, clean my room, get the newspaper), koala, lion
- [既出] 日課, 数 (1~60), 動作, 曜日, スポーツ, 教科, walk, take out the garbage

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (発表)	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】, ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆動作の言い方を知るとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。</p> <p>【Let's Watch and Think1】 p.26, 27</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の子供たちの1日について知り、自分達の生活との共通点や相違点等気付いたことを発表する。 <p>○フェイント・リピート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者に続いて語句を言う。指導者がさし示すカードと言っている語句が違う場合は、正しい語句を言う。 <p>○Buzz Game (1~60)</p> <p>【Let's Chant】 What time do you get up? p.27</p> <p>○Sounds and Letters ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と比較しながら、c, o, sの書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの文字の名称を聞いてその文字を書く。 	<p>※動作の言い方については、目標に向けた指導をするが評価は次時に合わせて行う。</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>
2	<p>◆頻度や日課を聞いたり言ったりできるとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。</p> <p>○Small Talk : 朝食</p> <p>【Let's Play 1】 ポインティング・ゲーム (頻度) p.28</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の言う頻度を表す語を聞いて、誌面にある絵をさし示す。 <p>○マジョリティ調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質問に対して、4種類の頻度から選んで挙手し答える。 <p>【Let's Chant】 What time do you get up? p.27</p> <p>【Let's Play 2】 p.29</p>	<p>◎頻度や日課を聞いたり言ったりしてい</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり互いに What time do you (get up)?と尋ね、時刻を記入する。ペアを替えて繰り返す。 <p>○Sounds and Letters ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と比較しながら、v, w, x, zの書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの文字の名称名前を聞いてその文字を書く。 	<p>る。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆1日の生活についてまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えるとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。</p> <p>【Let's Chant】 What time do you get up? p.27</p> <p>【Let's Listen 1】 p.29</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、登場人物がどんな頻度でどんなことをしているのかを聞き取り、イラストを線で結ぶ。 <p>【Let's Play 3】 p.30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の生活について聞き取り、その頻度と日課を線で結ぶ。 ・指導者のスピーチを参考にして、就寝についてイラストをヒントに、自分のことをペアと伝え合う。 <p>○Let's Read and Write ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の日課について、ワークシートの下にあるカードから選んで□の部分に貼る。時刻を記入し、声に出して文を言う（読んでみる）。 <p>○Sounds and Letters ③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と比較しながら、a, e, uの書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの名前を聞いてその文字を書く。 	<p>◎音声資料を聞いて、1日の日課とその頻度を推測して線で結んでいる。〈発表観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆1日の生活について頻度を含めて伝え合うとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。</p> <p>○Small Talk : 日課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を聞いて、質問に答える。 <p>【Activity】 p.30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で誌面 p.30のイラストを見ながら、指導者の質問に答える。 ・友達の「家での役割」について伝え合う。How about you? で尋ねたり、頻度を含めて答えたりし、表に友だちの名前を記入する。 <p>【Let's Chant】 What time do you get up? (オプション) p.27</p> <p>○Let's Read and Write ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の日課について、ワークシートの下にあるカードから選んで□の部分に貼る。時刻を記入し、声に出して文を言う（読んでみる）。 <p>○Sounds and Letters ④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と比較しながら、m, n, r, i, tの書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの名前を聞いてその文字を書く。 	<p>◎1日の生活や頻度について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆1日の生活についてまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えるとともに、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句で書かれたものの意味が分かる。</p> <p>◆小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。</p> <p>○Small Talk : いつもすること・しないこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 <p>【Let's Chant】 What time do you get up? (オプション) p.27</p>	

	<p>【Let's Listen 2】 p.31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、だれがどんな頻度で行う日課なのかを考えて、線で結ぶ。 <p>【Let's Watch and Think 2】 p.31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Mark が話す「家での役割」について何をどんな頻度で行っているか等について聞き取り記入する。 <p>○Let's Read and Write ③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の日課について、カードから選んで貼る。 ・相手に伝える目的をもって、声に出して読んでみる。 <p>○Sounds and Letters ⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と比較しながら、f, h, k, l の書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの名前を聞いてその文字を書く。 	<p>◎1日の生活についてまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉え、表に記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分かり、カードを貼り付けている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
6	<p>◆音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句で書かれたものの意味が分かるとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。</p> <p>【Let's Chant】 What time do you get up? (オプション) p.27</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Francis がどんな頻度でどんな行動をしているのか等について聞き取って記入する。 <p>○Let's Read and Write ④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の日課について、カードから選んで貼る。 ・相手に伝える目的をもって、声に出して読んでみる。 <p>○自分の日常生活について紹介する準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追加で話すことの整理をする。 ・完成したら、文字やイラストを頼りに話す練習をする。 <p>○Sounds and Letters ⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と比較しながら、g, y, j の書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの名前を聞いてその文字を書く。 <p>○Sounds and Letters ⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ音で始まる語を考えて発表する。 	<p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分かり、貼り付けている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆他者に配慮しながら、自分の1日の生活について伝えようとするとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。</p> <p>○Small Talk: 1日の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 <p>【Let's Chant】 What time do you get up? p.27</p> <p>【Let's Listen 3】 p. 32</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が会話形式で日常生活について伝えたり質問したり答えたりしている音声を聞いて、イラストを線で結ぶ。 <p>○ペアで伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班の中でペアになり、自分の日常生活を頻度も含めて紹介する。次時の練習を兼ねて、班の中でペアを替えながら何度か行う。互いにアドバ 	<p>◎他者に配慮しながら、自分の1日の生活について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

	<p>イスをし合い、次時により紹介ができるようにする。</p> <p>○Sounds and Letters ⑧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と比較しながら、b, d, p, q の書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの名前を聞いてその文字を書く。 	<p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆他者に配慮しながら、自分の1日の生活について伝えようとするとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。</p> <p>【Let's Chant】 What time do you get up? p.27</p> <p>○自分の日常生活を頻度も含めて紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Hello, my name is _____. とスピーチを始め、最後は Thank you. と言う。 ・ 聞き取れた内容を分かる範囲でよいのでワークシートに記入する。 <p>○Sounds and Letters ⑨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ a から z までの小文字を書く。 <p>○Sounds and Letters ⑩</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ音で始まる語を考えて発表する。 <p>【STORY TIME】 p.33</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本の読み聞かせを聞く。 	<p>◎他者に配慮しながら、自分の日常生活を頻度も含めて紹介している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>

5年 Unit 4—Lesson 1 単元名 What time do you get up?

一日の生活 1/8時間

目 標 動作の言い方を知るとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。

準 備 教師用カード（日課、動作）、ワークシート（Unit 4・7）、デジタル教材、児童用テキスト、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。	
14分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.26, 27</p> <p>・世界の子供たちの1日について知り、自分達の生活との共通点や相違点等気付いたことを発表する。</p>	<p>・映像資料を視聴させ、聞き取れた語を発表させる。日本の生活との相違点や共通点に気付かせることがねらいである。それらへの気付きを、本単元で題材である日課について、学級の友達はどうなのだろうという関心につなげ、意欲的に日課について伝え合えるようにしたい。</p> <p>・そこで、児童が自分たちの生活との相違点や共通点により気付けるように、映像資料を視聴しながら要所で映像音声を繰り返すなどし、児童に注目させるとよい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T: In Spain, children have <i>hirune</i> at school. In Mongol, they live in a big tent. In Finland, they have a long day in summer. In winter, they have a short day.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>スペイン : In Spain people take a siesta every day. We say <i>hirune</i> in Japanese. Children at school have a siesta, too. モンゴル : Some Mongolians live in a ger. A ger is a big tent. The families live in the ger. They keep cows and other animals. フィンランド: Finland is in Northern Europe. In summer the sun comes up about three o'clock in the morning and sets about nine o'clock in the evening. In winter the sun comes up about nine o'clock in the morning and sets at three o'clock in the afternoon. School starts in the dark in winter.</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト
		<p>・視聴後は、児童に自由に発言させ、相違点や共通点を交流する。また、聞き取れたことを称賛し、聞いてみようとする意欲を高めるようにする。</p> <p>・スペインの昼寝の話から、就寝時刻や起床時刻に話をつなげ、児童とそれらの時刻についてやり取りをし、日課や時刻の言い方（Let's Try! 2, Unit 4, Unit 9）を想起させる。</p>	
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>T : Do you have <i>hirune</i> at our school? No, we don't. What time do you go to bed? At 9:00? At 9:30? S1: 9:30. T : You go to bed at 9:30. How about you, S2? S2: At 10:00. T : You go to bed at 10:00. I go to bed at 11:00. What time do you get up?</p> </div>	

5年 Unit 4—Lesson 2 単元名 What time do you get up?

一日の生活 2/8時間

目 標 頻度や日課を聞いたり言ったりできるとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。

準 備 教師用カード (頻度, 日課, 飲食物), ワークシート (Unit 4-8), デジタル教材, 振り返りカード, 児童用テキスト

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
8分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ○Small Talk：朝食	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 朝食について話す。児童に質問をしながら、児童を話に巻き込むようにする。 	教師用カード (頻度・飲食物)
	<p>Small Talk の例</p> <p>※カレンダーの曜日をさし示したり、ジェスチャーや頻度のカードを黒板に掲示しながら話す。</p> <p>I always get up at 6:00 on Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday. Every day I get up at 6:00.</p> <p>I always eat breakfast. Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday. Every day.</p> <p>I usually eat rice and <i>miso</i> soup for breakfast. Sunday, Monday, Wednesday, Thursday, Saturday, Sunday. Not always, usually.</p> <p>I sometimes eat salad for breakfast. Monday, Wednesday, Friday. Not always, not usually. Sometimes.</p> <p>I sometimes drink milk for breakfast. Tuesday, Saturday, Sunday.</p> <p>I never drink coffee. I don't like coffee.</p> <p>What do you eat for breakfast? S: Rice / Bread. T: Always? Usually? Sometimes? (それぞれの絵カードを見せながら)</p>		
		<ul style="list-style-type: none"> この活動を通して、児童に頻度を表す語彙に出会わせる。頻度を表す語彙の意味を、カレンダーをさし示しながら、絵カードのイラストをヒントに理解させるようにする。何度も繰り返し聞かせることがポイントである。 	
3分	<p>【Let's Play 1】ポインティング・ゲーム (頻度) p.28</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の言う頻度を表す語を聞いて、誌面にある絵をさし示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 誌面の中にある頻度を表す語を言い、それに該当する絵を児童にさし示すように言う。 	児童用テキスト
10分	<p>○マジョリティ調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の質問に対して、4種類の頻度から選んで挙手し答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 起床, おやつ, テレビ視聴などについて尋ねる。以下の質問をジェスチャーや黒板に絵を描いたり、カードを見せたりしながら質問する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Do you go to bed at 9:00 / 9:30 / 10:00? Always? Usually? Sometimes? Never?</p> <p>Do you wake up at 6:00 / 6:30 / 7:00 / 7:30? Always? Usually? Sometimes? Never?</p> <p>Do you eat snack (おやつ) ? Always? Usually? Sometimes? Never?</p> <p>Do you watch TV at night? Always? Usually? Sometimes? Never?</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 何度も always, usually, sometimes, never を聞かせて慣れ親しませることがねらいである。 	教師用カード (頻度, 日課)
5分	<p>【Let's Chant】What time do you get up? p.27</p>	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくりバージョンで言い、慣れてきたらふつうバージョンで一緒に言う。 	デジタル教材

	<p>・最初はデジタル画面を視聴しながら言えるところから言う。</p>	<p>What time do you get up? What time do you get up? I get up at six. (Oh, I see.) I get up at seven. (Oh, me, too.)</p> <p>What time do you do your homework? What time do you do your homework? I do my homework at eight. (Oh, really?) I do my homework at nine. (So do I.)</p> <p>What time do you brush your teeth? What time do you brush your teeth? I brush my teeth at nine thirty. (Really?) I don't brush my teeth at night. (Oh, no! That's bad.)</p>	
10分	<p>[Let's Play 2] p.29</p> <p>・ペアになり互いに What time do you (get up)? と尋ね、時刻を記入する。ペアを替えて繰り返す。</p>	<p>・自分の起床時間を誌面「あなた」のところに書き込み、頻度のアイコンに○をできるように指示する。</p> <p>・代表児童とデモンストレーションをして、質問の仕方と答え方を理解させるようにする。</p> <p>・児童同士で尋ね合いをさせる。</p>	<p>児童用テキスト 教師用カード（頻度、日課）</p>
	<p>T : I always get up at 6:00. What time do you get up? S1: At 7:00. T : You get up at 7:00. Always? Usually? Sometimes? S1: Usually. T : You usually get up at 7:00. (言うように促す) S1: I usually get up at 7:00. T : How about S2? What time do you get up? (他の児童も一緒に尋ねるよう促す) S2: I get up at 6:30. T : Always? Usually? Sometimes? S2: Always. T : You always get up at 6:30. (言うように促す) S2: I always get up at 6:30.</p>		
		<p>◎頻度や日課を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
6分	<p>OSounds and Letters ② (v, w, x, z)</p> <p>・大文字と比較しながら、v, w, x, zの書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。</p> <p>・アルファベットの文字の名称を聞いてその文字を書く。</p>	<p>・書く前に児童とアルファベットの文字の読み方を確認する。書き間違いやすいものについては、児童と書き方や4線上の位置について確認してから始めるようにする。</p> <p>・デジタル教材の音声を聞かせてその小文字を書くように指示する。① v ② x ③ z ④ w ⑤ o, x</p>	<p>ワークシート (Unit 4-8) デジタル教材</p>
		<p>デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「アルファベットの名前・音」・「アルファベットの書き順」</p>	
		<p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。 〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	
3分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

5年 Unit 4—Lesson 3 単元名	What time do you get up?	一日の生活	3/8時間
目 標	1日の生活についてまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えるとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。		
準 備	教師用カード(日課、頻度)、ワークシート(Unit 4-2, 4-9)、デジタル教材、児童用テキスト、振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。	
4分	【Let's Chant】 What time do you get up? p.27 ・チャンツを言う。	・デジタル教材を視聴しながら児童と一緒に言う。 What time do you get up? What time do you get up? I get up at six. (Oh, I see.) I get up at seven. (Oh, me, too.) What time do you do your homework? What time do you do your homework? I do my homework at eight. (Oh, really?) I do my homework at nine. (So do I.) What time do you brush your teeth? What time do you brush your teeth? I brush my teeth at nine thirty. (Really?) I don't brush my teeth at night. (Oh, no! That's bad.)	デジタル教材
8分	【Let's Listen 1】 p.29 ・音声を聞いて、登場人物がどんな頻度でどんなことをしているのかを聞き取り、イラストを線で結ぶ。	・聞き取り活動の前にイラストから分かる情報を確認する。 ・答え合わせは全員で音声を確認しながら行う。 ◎音声を聞いて、1日の日課とその頻度を推測して線で結んでいる。<発表観察・記述分析・振り返りカード点検>	デジタル教材 児童用テキスト
		先生 : Hikari, what time do you get up? ひかり : I usually get up at six thirty. 先生 : Do you help your mother and father? ひかり : Yes, I do. I sometimes take out the garbage. I always wash the dishes. 先生 : That's nice! What time do you go to bed? ひかり : I usually go to bed at nine thirty. I sometimes go to bed at ten. 先生 : Gilberto, what time do you get up? ギルベルト : I always get up at six. 先生 : You get up at six? ギルベルト : Yes, and I usually walk my dog. 先生 : Oh, you have a dog. That's nice. Do you usually clean your bedroom? ギルベルト : No, not usually. I sometimes clean my bedroom. 先生 : OK, what time do you go to bed? ギルベルト : I usually go to bed at ten.	
15分	【Let's Play 3】 p.30 ・指導者の生活について聞き取り、その頻度と日課を線で結ぶ。	・4つの行動に関して、指導者自身の日課を反映させながら短いスピーチを4文で言う。 I (always) get up at 6:00. I (never) eat toast, salad, sausage and coffee for breakfast. I (sometime) wash the dishes. I (usually) go to bed at 11:00.	デジタル教材 教師用カード(日課、頻度) 児童用テキスト
	・指導者のスピーチを参考にして、就寝についてイラストをヒントに、自分のことをペアと伝え合う。	・ペアの相手を替えて繰り返すよう言う。分かりにくい児童には、似顔絵→頻度→動作のイラストを順に手で押さえながら言うとういことを伝える。個別	

	<p>I usually get up at 7:00. I sometimes go to bed at 10:00.</p>	<p>支援をする。 ・児童の実態に応じて、4つのイラストについてすべて伝え合わせてもよい。</p>	
6分	<p>○Let's Read and Write ① ・自分の日課について、ワークシートの下にあるカードから選んで□の部分に貼る。時刻を記入し、声に出して文を言う（読んでみる）。</p>	<p>・日課を表す言い方を、ワークシートの絵カードとその下の語句を見ながら、みんなで確認する。 ・ワークシートのリード文は、「例にならって書いてみよう。」となっているが、ここでは、カードを切り取って貼らせるだけにとどめる。児童の実態に応じて、書かせることも考えられる。個別指導をする。 ・文字を音声化することが大切である。イラストをヒントに文を言う（読む）よう指示する。1つだけでなく、いくつかの動作にチャレンジさせることも考えられる。</p>	ワークシート (Unit 4-2)
6分	<p>○Sounds and Letters ③ (a, e, u) ・大文字と比較しながら、a, e, uの書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの文字の名称を聞いてその文字を書く。</p>	<p>・聞こえた小文字をワークシートに書くように指示する。デジタル教材の音声を聞かせてその小文字を書くように指示する。 ① e ② u ③ a ④ c, a ⑤ z, e</p> <p>デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「アルファベットの名前・音」・「アルファベットの書き順」</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。 〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 4-9) デジタル教材
3分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 4—Lesson 4 単元名 What time do you get up?

一日の生活 4/8 時間

目 標 1日の生活について頻度を含めて伝え合うとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。

準 備 教師用カード(日課、頻度)、ワークシート(Unit 4-3, 4-10)、デジタル教材、児童用テキスト、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
7分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ○Small Talk : 日課 <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を聞いて、質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 日課について話す。児童に質問をしながら、児童を巻き込むように話す。 	教師用カード(日課)
	<p>Small Talk の例</p> <p>I always get up at 6 o'clock and watch morning news on TV. I usually check the weather forecast. (黒板に晴れや曇りのマークを描きながら) I eat breakfast and go to school. I always get to school at 7:30 and say "Good morning!" I go home about 7:00. I always eat dinner and take a bath. I sometimes go to bed about 11:00. I sometimes go to bed about 12.</p>		
		<ul style="list-style-type: none"> 児童の日課として、do my homework を取り上げ、そのカードを見せながら児童に質問をする。 	
	<p>T: You do your homework every day.</p> <p>What time do you do your homework?</p> <p>Do you always do your homework from 5:00 to 7:00? (児童に手を挙げるよう促す)</p> <p>Do you always do your homework from 7:00 to 9:00? (児童に手を挙げるよう促す)</p> <p>Do you always do your homework after 9:00? (児童に手を挙げるよう促す)</p>		
20分	<p>[Activity] p.30</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で誌面 p.30 のイラストを見ながら、指導者の質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、Activity の部分を大きく映し出す。 get the newspaper, wash the dishes, clean your room を繰り返して聞かせ、Do you get the newspaper? などと、全体に質問をしたうえで、代表児童に質問し、何度も頻度と3つの動作について繰り返して聞かせるようにする。 	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(日課、頻度)
	<p>T : Do you always get the newspaper?</p> <p>S1: No, I don't.</p> <p>T : Usually? Sometimes? Never?</p> <p>S1: Never.</p> <p>T : You never get the newspaper. How about S2? Do you always get the newspaper?</p> <p>S2: No, I don't. Sometimes.</p> <p>T : You sometimes get the newspaper.</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 友達の「家での役割」について伝え合う。How about you? で尋ねたり、頻度を含めて答えたりし、表に友だちの名前を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 改めて児童全体に3つの質問をして、児童は答えを4つの頻度から選んで答える。 答え方を確認しながら児童は、自分の答えのところにあらかじめ印をつけておく。 自分と同じ答えの友だちがいたら、Me, too. と反応したり、同じ質問を繰り返す代わりに How about you? と返したりしてもよいと伝える。 <p>◎1日の生活や頻度について伝え合っている。</p> <p><行動観察・振り返りカード点検></p>	

5分	<p>【Let's Chant】 What time do you get up? (オプション) p.27</p> <p>・チャンツを言う。</p>	<p>・まず聞かせ、聞こえた語を交流してから児童と一緒に言う。</p>	デジタル教材
<p>I always wash the dishes. I always wash the dishes. On Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday and Saturday. I always wash the dishes. (clap)</p> <p>I usually get the newspaper. I usually get the newspaper. On Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday and Friday. I usually get the newspaper. (clap)</p> <p>I sometimes clean my room. I sometimes clean my room. On Sunday and Wednesday. I sometimes clean my room. (clap)</p> <p>I never comb my hair. I never comb my hair. Not on Sunday. Not on other days. Not at all! I never comb my hair. (Oh, no!)</p>			
3分	<p>OLet's Read and Write ②</p> <p>・自分の日課について、ワークシートの下にあるカードから選んで□の部分に貼る。時刻を記入し、声に出して文を言う（読んでみる）。</p>	<p>・頻度を表す言い方を、ワークシートの絵カードとその下の語句を見ながら、みんなで確認する。</p> <p>・ワークシートのリード文は、「例にならって書いてみよう。」となっているが、ここでは、カードを切り取って貼らせるだけにとどめる。児童の実態に応じて、書かせることも考えられる。また、個別指導をする。</p> <p>・文字を音声化することが大切である。イラストをヒントに文を言う（読む）よう指示する。</p>	ワークシート (Unit 4-3)
6分	<p>OSounds and Letters ④ (m, n, r, i, t)</p> <p>・大文字と比較しながら、m, n, r, i, tの書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。</p> <p>・アルファベットの文字の名称を聞いてその文字を書く。</p>	<p>・聞こえた小文字をワークシートに書くように指示する。</p> <p>① n ② r ③ m ④ i ⑤ t</p> <p>デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「アルファベットの名前・音」・「アルファベットの書き順」</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。 〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 4-10) デジタル教材
4分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

Unit 4—Lesson 5 単元名 What time do you get up? 一日の生活 5/8 時間

目標 1日の生活についてまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えるとともに、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句で書かれたものの意味が分かる。

小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。

準備 教師用カード(日課、頻度)、ワークシート(Unit 4-4, 4-11)、デジタル教材、児童用テキスト、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ○Small Talk: いつもすること・しないこと 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 いつもすること、しないことについて話す。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 <p>Small Talk の例 I like soccer. I like (チーム名). So I always watch soccer games on TV. Who likes soccer? (児童に挙手を促しながら聞く) Do you watch soccer games on TV? My mother and father like <i>sumo</i>. They always watch <i>sumo</i> on TV. Do you watch <i>sumo</i>? Sometimes? I never watch <i>sumo</i> games on</p>	
3分	<p>[Let's Chant] What time do you get up? (オプション) p.27</p>	<ul style="list-style-type: none"> 最初はゆっくりバージョンで聞き、always / usually / sometimes / never の部分だけ言うようにする。 	教師用カード(頻度)
	<p>I always wash the dishes. I always wash the dishes. On Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday and Saturday. I always wash the dishes. (clap)</p> <p>I usually get the newspaper. I usually get the newspaper. On Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday and Friday. I usually get the newspaper. (clap)</p> <p>I sometimes clean my room. I sometimes clean my room. On Sunday and Wednesday. I sometimes clean my room. (clap)</p> <p>I never comb my hair. I never comb my hair. Not on Sunday. Not on other days. Not at all! I never comb my hair. (Oh, no!)</p>		
10分	<p>[Let's Listen 2] p.31</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて、だれがどんな頻度で行う日課なのかを考えて、線で結ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ選択肢の絵をみながら、児童と「家での役割」の表現を確認する。 児童の実態に合わせて、数回聞かせる、あるいは途中で止めるなどみんなが自信をもって聞き取れる状態にして活動をする。 	児童用テキスト デジタル教材 教師用カード(頻度、日課)
	<p>1. I usually wash the dishes and clean my room. I never take out the garbage. 2. I sometimes clean my room. I always get the newspaper in the morning. 3. I usually take out the garbage and get the newspaper. I never wash the dishes.</p>		
8分	<p>[Let's Watch and Think 2] p. 31</p> <ul style="list-style-type: none"> Mark が話す「家での役割」について何をどんな頻度で行っているか等について聞き取り記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の子供たちの「家での役割」について視聴する。 学校にスクールバスで行く、といった日本と異なる情報にも触れる。 	児童用テキスト デジタル教材
	<p>1. Hello! I'm Mark. I live in America. I always water the grass at home. I usually go to school by school bus. I sometimes get the newspaper.</p>		
	◎1日の生活についてまとまりのある話を聞いて		

		おおよその内容を捉え、表に記入している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
8分	<p>○Let's Read and Write ③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の日課について、カードから選んで貼る。 ・相手に伝える目的をもって、声に出して読んでみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声で慣れ親しんだ簡単な語句や表現を推測しながら読み、シートの下からカードを選び、語順に気を付けながら貼るよう告げる。 ・ワークシートのリード文は、「例にならって書いてみよう。」となっているが、ここでは、カードを切り取って貼らせるだけにとどめる。児童の実態に応じて、書かせることも考えられる。また、個別指導をする。 ・文字を音声化することが大切である。貼ったものを相手に伝える目的をもってイラストをヒントに文を言う（読む）よう指示する。 <p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分かり、カードを貼り付けている。〈行動観察・誌面分析・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 4-4)
6分	<p>○Sounds and Letters ⑤ (f, h, k, l)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と比較しながら、f, h, k, lの書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの文字の名称を聞いてその文字を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞こえた小文字をワークシートに書くように指示する。 <p>① h ② l ③ k ④ f ⑤ h, f</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「アルファベットの名前・音」・「アルファベットの書き順」 </div> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。</p> <p>〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 4-11) デジタル教材
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 4—Lesson 6 単元名	What time do you get up?	一日の生活	6/8 時間
目 標	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句で書かれたものの意味が分るとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。		
準 備	教師用カード (頻度), ワークシート (Unit 4-5, 4-6, 4-12), デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。	
3分	【Let's Chant】 What time do you get up? (オプション) p.27	・児童の実態により、スピードを選んで言わせるようにする。班または列ごとに言わせてもよい。	デジタル教材
	<p>I always wash the dishes. I always wash the dishes. On Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday and Saturday. I always wash the dishes. (clap)</p> <p>I usually get the newspaper. I usually get the newspaper. On Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday and Friday. I usually get the newspaper. (clap)</p> <p>I sometimes clean my room. I sometimes clean my room. On Sunday and Wednesday. I sometimes clean my room. (clap)</p> <p>I never comb my hair. I never comb my hair. Not on Sunday. Not on other days. Not at all! I never comb my hair. (Oh, no!)</p>		
8分	【Let's Watch and Think 2】 p.31 ・Francis がどんな頻度でどんな行動をしているのか等について聞き取って記入する。	・世界の子供たちの「家での役割」について視聴する。ベッドメイキングをする、といった日本と異なる日課に触れ、いろいろな生活があることに気付かせるようにする。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(頻度)
	<p>2. Bonjour! I'm Francis. I live in Paris in France. I never water the plants or the grass. We live in an apartment. I always make my bed. I usually wash the dishes. I help my mother and father.</p>		
8分	○Let's Read and Write ④ ・自分の日課について、カードから選んで貼る。 ・相手に伝える目的をもって、声に出して読んでみる。	・音声で慣れ親しんだ簡単な語句や表現を推測しながら読み、ワークシート (Unit 4-6) の絵カードから語句を選び、そのカードを切り取って、ワークシート (Unit 4-5) の口に貼るよう告げる。個別指導をする。 ・文字を音声化することが大切である。相手に伝える目的をもってイラストをヒントに文を言う (読む) よう指示する。 ◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分かり、貼り付けている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	ワークシート (Unit 4-5, 4-6)
3分	○自分の日常生活について紹介する準備をする。 ・追加で話すことの整理をする。 ・完成したら、ワークシートを参考にしながら話す練習をする。	・スピーチの準備をさせる。スピーチでは自分の日常生活やその頻度の情報も含めて伝えられるようにする。	ワークシート (Unit 4-5)

6分	<p>OSounds and Letters ⑥ (g, y, j)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大文字と比較しながら, g, y, j の書き方を知り, 形や4線上の書く位置に注意を払いながら, ワークシートの4線上に文字を書く。 ・アルファベットの文字の名称を聞いてその文字を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞こえた小文字をワークシートに書くように指示する。 <p>① y ② g ③ j ④ g, t ⑤ y, m</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「アルファベットの名前・音」・「アルファベットの書き順」 </div>	ワークシート (Unit 4-12) デジタル教材
10分	<p>OSounds and Letters ⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ音で始まる語を考えて発表する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「ツール」→「Hi, friends! Plus」→「クイズ6 仲間の言葉を集めよう」 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を活用して, 仲間の言葉集めをすることを告げる。デジタルで示されるアルファベットの文字をクリックしその名称と音の読み方を聞かせ, その音で始まる言葉を児童に問う。 ・同じ音で始まる語を確認しながら, 児童の音への気付きを促すようにする。(a~m) デジタル教材でどのような語があるかを確認する。 <p>◎小文字の書き方が分かり, 小文字を書いている。 <行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	デジタル教材
4分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 4—Lesson 7 単元名	What time do you get up?	一日の生活	7/8時間
目 標	他者に配慮しながら、自分の1日の生活について伝えようとするとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。		
準 備	教師用カード (頻度, 日課), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 4-5: 前時に作成したもの, 4-13), デジタル教材, 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 OSmall Talk : 1日の生活 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 指導者の1日の生活を一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 数枚の絵カードを黒板に貼りながら時間の情報を伝えながら伝える。 	教師用カード (頻度, 日課)
<p>Small Talk の例 (教師用カードを黒板に掲示しながら、時系列で指導者自身の1日の生活を紹介)</p> <p>Let's play (p.32)で紹介したものを、教師用カードを使い児童の記憶を確認しながら話しかける。</p> <p>This is my day. Do you remember? I always get up at (What time? と問いかけ、児童の答えを待って) That's right. I always get up at 6. Then, I usually eat breakfast at... What time? Yes, good memory! Do I eat Japanese breakfast? Yes. I like Japanese breakfast. Then, I change my clothes to come to school. I work all day at school and go home at 7. I eat dinner at 8. I sometimes watch TV after dinner and I go to bed at 11.</p>			
5分	<p>[Let's Chant] What time do you get up? p.27</p> <ul style="list-style-type: none"> ①か②のどちらかを選んでチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童とスピードやオプションを選んで言う。 	デジタル教材
<p>①</p> <p>What time do you get up? What time do you get up? I get up at six. (Oh, I see.) I get up at seven. (Oh, me, too.)</p> <p>What time do you do your homework? What time do you do your homework? I do my homework at eight. (Oh, really?) I do my homework at nine. (So do I.)</p> <p>What time do you brush your teeth? What time do you brush your teeth? I brush my teeth at nine thirty. (Really?) I don't brush my teeth at night. (Oh, no! That's bad.)</p>		<p>②</p> <p>I always wash the dishes. I always wash the dishes. On Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday and Saturday. I always wash the dishes. (clap)</p> <p>I usually get the newspaper. I usually get the newspaper. On Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday and Friday. I usually get the newspaper. (clap)</p> <p>I sometimes clean my room. I sometimes clean my room. On Sunday and Wednesday. I sometimes clean my room. (clap)</p> <p>I never comb my hair. I never comb my hair. Not on Sunday. Not on other days. Not at all! I never comb my hair. (Oh, no!)</p>	
10分	<p>[Let's Listen 3] p.32</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物が会話形式で日常生活について伝えたり質問したり答えたりしている音声を聞いて、イラストを線で結ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 最初は通しで聞かせ、どんな単語や表現が聞き取れたかを問いかける。 次に、登場人物の1人だけの情報に集中して聞くようにし、聞き取れた表現のイラストに印を付けるように指示する。 児童の実態に合わせて、何度か聞かせる。また途中で止めてもよい。 答えの確認では、全員でその表現を、イラストを見ながら言うようにする。 	児童用テキスト デジタル教材 教師用カード (頻度, 日課)

	<p>ラクシュ : Hi, Kosei. 犬 : Woof, woof. こうせい : Hi, Laksh. ラクシュ : Your dog is very cute. Do you usually walk your dog? こうせい : Yes, I sometimes walk my dog at seven thirty. ラクシュ : That's good. What time do you get up? こうせい : Umm, I always get up at six fifteen. How about you? ラクシュ : Me? I usually get up at six fifteen. I sometimes go to school at seven thirty. こうせい : Wow, that's early. What time do you usually go to bed? ラクシュ : Umm, I always go to bed at nine. How about you? こうせい : I never go to bed at nine. ラクシュ : Oh, really? What time do you go to bed? こうせい : I usually go to bed at ten. ラクシュ : Wow, that's very late. 犬 : Woof, woof. こうせい : OK, see you tomorrow. ラクシュ : See you at school.</p>		
14分	<p>○ペアで伝え合おう。</p> <p>・班の中でペアになり、自分の日常生活を頻度も含めて紹介する。次時の練習を兼ねて、班の中でペアを替えながら何度か行う。互いにアドバイスをし合い、次時により紹介ができるようにする。</p>	<p>・前時に作成したワークシートをもとにペアで1日の生活を紹介するよう告げる。</p> <p>・紹介後は、どのような工夫をすれば、相手にしっかりと伝えられるかを考え、互いにアドバイスをさせる。</p> <p>◎他者に配慮しながら、自分の1日の生活について伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 4・5:前時に作成したもの)
	<p>S1: I always get up at 7. I sometimes take out the garbage. (朝) S2: I go home at 5 and I always do my homework. I sometimes wash the dishes. (放課後) S3: I usually get up at 8:00 on Sunday. I sometimes clean my room. (休日)</p>		
6分	<p>○Sounds and Letters ⑧ (b, d, p, q)</p> <p>・大文字と比較しながら、b, d, p, qの書き方を知り、形や4線上の書く位置に注意を払いながら、ワークシートの4線上に文字を書く。</p> <p>・アルファベットの文字の名称を聞いてその文字を書く。</p>	<p>・聞こえた小文字をワークシートに書くように指示する。</p> <p>① b ② d ③ p ④ q ⑤ d, p</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「アルファベットの名前・音」・「アルファベットの書き順」</p> <p>◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 4・13) デジタル教材
5分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 4—Lesson 8 単元名	What time do you get up?	一日の生活	8/8 時間
目 標	他者に配慮しながら、自分の1日の生活について伝えようとするとともに、小文字の書き方が分かり、小文字を書くことができる。		
準 備	ワークシート (Unit 4-1, 4-14) , デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。	
3分	【Let's Chant】 What time do you get up? p.27 ・①か②のどちらかを選んでチャントを言う。	・児童の実態により、スピードやオプションを選ぶ。	デジタル教材
	① What time do you get up? What time do you get up? I get up at six. (Oh, I see.) I get up at seven. (Oh, me, too.) What time do you do your homework? What time do you do your homework? I do my homework at eight. (Oh, really?) I do my homework at nine. (So do I.) What time do you brush your teeth? What time do you brush your teeth? I brush my teeth at nine thirty. (Really?) I don't brush my teeth at night. (Oh, no! That's bad.)	② I always wash the dishes. I always wash the dishes. On Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday and Saturday. I always wash the dishes. (clap) I usually get the newspaper. I usually get the newspaper. On Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday and Friday. I usually get the newspaper. (clap) I sometimes clean my room. I sometimes clean my room. On Sunday and Wednesday. I sometimes clean my room. (clap) I never comb my hair. I never comb my hair. Not on Sunday. Not on other days. Not at all! I never comb my hair. (Oh, no!)	
20分	○自分の日常生活を頻度も含めて紹介する。 ・ Hello, my name is ~. とスピーチを始め、最後は Thank you. と言う。 ・ 聞き取れた内容を分かる範囲でよいのでワークシートに記入する。	・ 発表前に各自練習の時間を与える。児童の実態に応じて、グループ内や学級全体での発表とする。 ・ 聞き手に、分かったことを聞き取れた部分だけでもよいので、ワークシートに記入するよう促す。 ・ 中間評価をし、よいスピーチについて、具体的に児童と共通理解し、後半のスピーチを行う。 ◎他者に配慮しながら、自分の日常生活を頻度も含めて紹介している。〈行動観察・振り返りカード点検〉	児童用テキスト ワークシート (Unit 4-1)
6分	○Sounds and Letters ⑨ (a~z) ・ a から z までの小文字を書く。	・ ワークシートの指示に従い小文字を書くよう指示する。 1. 空いているところに小文字を書く。 2. 大文字の隣に小文字を書く。 3. アルファベット順に小文字を書く。 4. 友だちの言うアルファベットの小文字を書く。 ◎小文字の書き方が分かり、小文字を書いている。 〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	ワークシート (Unit 4-14)
5分	○Sounds and Letters ⑩ ・ 同じ音で始まる語を考えて発表する。	・ デジタル教材を活用して、仲間の言葉集めをすることを告げる。デジタルで示されるアルファベットの文字をクリックしその名称と音の読み方を聞か	デジタル教材

		<p>せ、その音で始まる言葉を児童に問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ音で始まる語を確認しながら、児童の音への気付きを促すようにする。(n~z) デジタル教材でどのような語があるかを、確認する。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「ツール」→「Hi, friends! Plus」→「クイズ6 仲間の言葉を集めよう」</p>	
5分	<p>【STORY TIME】 p.33</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>マリア：Do you have your math textbook? かず：Yes, I do. かず：Here you are. マリア：Thank you, Kazu.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を読み聞かせる際には、一方的に絵本の台詞を読むのではなく、児童と各ページにあるさまざまなイラストやストーリーの展開についてやり取りしながら読むようにする。そうすることで、話の筋についての理解を助けるとともに、児童を絵本の世界に引き込むことができる。 ・高学年で扱っている絵本のページに記されている台詞は、やがて児童が読み聞かせを聞きながら絵本の台詞を指で追って聞いたり、自分で読むことに挑戦したりすることを想定し、短く単純なものにしている。よって、指導者が台詞以外の言葉を加えながらやり取りを行い、児童の想像を膨らませることが大切である。 ・指導者は、ジェスチャーを付け、表情豊かに読む。これらも児童にとっては、話の筋を理解するうえで大切な情報源となる。デジタル教材を活用して読み聞かせをしてもよい。 	児童用テキスト デジタル教材
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動及び本単元を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年—Unit 5 単元名 She can run fast. He can jump high. できること

1. 単元目標

- ・自分や第三者について、できることやできないことを聞いたり言ったりすることができる。また、文字には音があることに気付く。(知識及び技能)
- ・自分や第三者について、できることやできないことを、考えや気持ちも含めて伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、自分や第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- Can you (sing well)? Yes, I can. / No, I can't. [I / You / He / She] [can / can't] (sing well).
 - 動作 (play [the recorder / the piano], ride a [bicycle / unicycle], swim, skate, ski, cook, dance, run fast, jump high, sing well), can, can't, he, she, Mr., Ms., net, omelet
- [既出] スポーツ, 動作, 日課, not

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (発表)	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】, ○) 【 〓 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現が分かる。</p> <p>○Small Talk : 先生のできること・できないこと 【Let's Watch and Think 1】 p.36 ・映像資料の映像なしに音声のみを聞いて、その人物が誰かを推測する。 【Let's Play 1】 p.34, 35 ・指導者の話を聞いて、誌面のどの動物かを推測して答える。</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション : I can run. I can swim.) p.35 【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77)</p>	◎自分ができること、できないことを表す表現を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
2	<p>◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりできる。</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション : I can run. I can swim.) p.35 【Let's Listen 1】 p.36 ・音声を聞いてどの動物かを考えて、イラストの下に番号を記入する。</p> <p>【Let's Play 2】 ポインティング・ゲーム p.37 ○Let's Talk ○キーフレーズ・ゲーム ・ I can ~. / I can't ~. を使って行う。</p> <p>【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77) ○Sounds and Letters (5×5ビンゴ)</p>	◎できる、できないという表現を聞いて、番号を記入している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検> ◎自分や相手ができることを聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
3	◆できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、できるかどうかを尋ねたり答えた	

	<p>りすることができる。</p> <p>○Small Talk : 好きなスポーツや趣味 【Activity 1】 p.37 ・指導者の質問に答えたり, 指導者と一緒に代表児童に尋ねたりする。 ・ペアでできることできないことを予想して尋ね合う。</p> <p>【Let's Listen 2】 Who am I? p.36 ・音声を聞いて, イラストにある動物の内どの動物のことかを考える。</p> <p>○Destiny・ゲーム 【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション: Can you swim?) p.35 【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77) ○Sounds and Letters</p>	<p>◎できるかどうかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎できることやできないことを含む短い話を聞いて, 具体的な情報を聞き取り番号を記入している。〈発表観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆できるかどうかを尋ねたり答えたりするとともに, 短い話を聞いて具体的な情報を聞き取る。</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション: Can you swim?) p.35 【Let's Watch and Think 2】 前半のみ p.38 ・映像を視聴して, 誌面に○や△を書いたり, 指導者の質問に答えたりする。</p> <p>【Activity 2】 p.37 ・友達にあることについてできるかどうかを尋ね, できる場合はイラストの下に名前を書いてもらう。</p> <p>【Activity 3】 p.39 ・グループごとにインタビューする先生を決め, 準備をする。</p> <p>【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77) ○Sounds and Letters</p>	<p>◎できることやできないことを含む短い話を聞いて, 具体的な情報を聞き取り誌面に記入している。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎できかどうかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆第3者についてできることやできないことを聞いて分かる。</p> <p>○Small Talk : 好きな有名人 【Let's Watch and Think 2】 後半 p.38 ・Let's Watch and Think 2 の後半を視聴し, 第3者の紹介の仕方を知る。</p> <p>○Who is he? Who is she? ・指導者による He/She を使った人物紹介を聞き, それが誰かを当てる。</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション: He can run fast. She can sing well.) p.35 ○Sounds and Letters (ひそひそビンゴゲーム)</p>	<p>◎第3者について, できることやできないことを聞き取っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
6	<p>◆第3者についてできることやできないことを尋ねたり答えたりできる。</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション: He can run fast. She can sing well.) p.35 【Let's Listen 3】 p.40 ・音声を聞いて, どの人物かを考え, 人物の写真の下に番号を記入する。</p> <p>○Who is he? Who is she? (p.40 Let's Listen 3 を使って) ・グループで, Let's Listen 3 の登場人物についてクイズを出したり答えたりする。 ・代表児童が出すヒントを聞いて, それが誰かを当てる。</p> <p>【Activity 3】 p.39 ・インタビューする先生ができることやできないことを予想する。 ・誌面に He/She を書き写す。</p> <p>○Let's Read and Write ・例を参考に, 自分のできることやできないことを書く。 ○Sounds and Letters (ワードサーチ)</p>	<p>◎第3者についてできることやできないことを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆ある人物について, できることやできないことを含めて紹介する。</p>	

	<p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション: He can run fast. She can sing well.) p.35</p> <p>○Small Talk : Who is this? Quiz</p> <p>【Activity 4】 p.39</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの結果を整理し, スピーチの準備をする。 <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例を参考に, 紹介する先生のできることやできないことを書く。 <p>【Activity 5】 p.40</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでペアになり, インタビュー結果をもとに先生のできることやできないことを, 自分のことも含めて伝え合う。 ・アドバイスし合い, 改善をして次時のスピーチの準備をする。 <p>【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77)</p> <p>【STORY TIME】 ① p.41</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせを聞いて, 話の概要を理解する。 	<p>◎自分やある人物について, できることやできないことを, 考えや気持ちも含めて伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆他者に配慮しながら, ある人物についてできることやできないことを, 自分の考えも含めて紹介しようとする。</p> <p>◆アルファベットの文字の読み方には, 名称のほかに音があることに気付く。</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション: He can run fast. She can sing well.) p.35</p> <p>【Activity 5】 p.40</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー結果をもとに, 先生のできることやできないことを紹介する。 <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声について読む (発音する)。 ・例文を参考に, ワークシートに書く。 <p>【STORY TIME】 ② p.41</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴して, 音声について読む。 <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットを見て, その音とその音で始まる動物を言う。 	<p>◎他者に配慮しながら, ある人物についてできることやできないことを, 自分の考えも含めて紹介している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎アルファベットの文字の読み方には, 名称のほかに音があることに気付く, □に小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード分析〉</p>

◎文字と音については単元を通して適宜評価する。アルファベットの文字の読み方には, 名称のほかに音があることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉

5年 Unit 5-Lesson 1 単元名 She can run fast. He can jump high. できること 1/8時間
目 標 動作を表す語や「できる」「できない」という表現が分かる。
準 備 教師用カード(動作), 児童用テキスト, 児童用カード(動作), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価<方法>	準備物
10分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ○Small Talk : 先生のできること・できないこと 指導者の話を聞いて, おおよその内容を推測する。 指導者の質問に答えたり, 他の児童が答えるのを聞いたりして, その意味を推測する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。 指導者ができることやできないことを, ジェスチャーを付けたり実際にやって見せたりして紹介する。 黒板に「にこにこ顔」と「悲しい顔」を描く。 教師用カードを手に持ち, できることやできないことを紹介し, できることは「にこにこ顔」の下に, できないことは「悲しい顔」の下に貼ることで, 児童が類推しながら can や can't の意味を捉えられるようにする。 できること, できないことを動作やジェスチャーで表現しながら, 児童数名に Can you ~? で尋ね, 児童の答えに応じて, I see, you can / can't ~ well. と返す。児童の答えに応じて, 動作の絵カードを「にこにこ顔」や「悲しい顔」の下に移動する。 その際, 学級でどの児童もが知っていること, 例えば, 走るのが速い, 野球(サッカー, バドミントン, バレーボールなど) がうまい, ピアノが弾けるなどを取りあげると, 児童はより理解しやすい。 	教師用カード(動作)
	<p>Small Talk の例</p> <p>T : Look! I can play the recorder very well. Can you play the recorder well?</p> <p>I can play badminton well. Can you play badminton well?</p> <p>I can play the recorder very well and I can play badminton well, but I can't swim. Can you swim?</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 本単元及び本時のねらいと流れを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本単元及び本時のねらいと流れを児童と確認する。 	
10分	<p>[Let's Watch and Think 1]</p> <p>p.36</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者とやり取りをしながら, No.2 と No.3 の映像資料を視聴し, どちらが石川選手か長友選手かを考え, 誌面に番号を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> まず, 誌面あるいは, デジタル教材の映像資料にある3人の人物(石川選手, 山中教授, 長友選手)が誰かを児童に尋ね, 確認する。石川選手と長友選手について児童に問いかけ, 映像資料に出てくる語彙や表現を事前に聞かせ, 映像資料の英語を類推しやすくする。 映像資料の No.2, 3 の映像から視聴させ, それぞれ誰のことかを考えさせる。 	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>No.2 (石川佳純選手) : I like sports. I can speak Chinese. I can play table tennis very well.</p> <p>No.3 (長友佑都選手) : I'm from Ehime. I can speak Italian. I can play soccer very well.</p>	<p>T: Who are they? Who is this? That's right. This is Ishikawa Kasumi. Ishikawa Kasumi can play ...? Soccer? Volleyball? Table tennis? What sport?</p> <p>T: Who is this? That's right. This is Nagatomo Yuto. Nagatomo Yuto can play ...? Soccer? Volleyball? Table tennis? What sport? Let's watch the video, No.2 and No.3.</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ以外にどのようなことができるかを聞き取り, 指導者とやり取りをしながら確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態に応じて映像資料を複数回視聴させるとよい。視聴後は, スポーツ以外にどのようなことができるかをやり取りしながら児童から引き出す。Ishikawa Kasumi can play ...? That's right. 	

	<p>・ No.1 を視聴し、山中教授ができることを聞き取る。指導者とやり取りをしながら、山中教授ができることを確認する。誌面の()に番号を記入する。</p>	<p>Ishikawa Kasumi can play table tennis and? Nagatomo Yuto can play ...? That's right. Nagatomo Yuto can play soccer and? ・ No.1 を視聴する前に、山中教授がどのようなことができるかを問いかける。予想を立てさせたうえで、映像資料を視聴させることで、予想が当たっているかを確かめるために映像を視聴するという目的をもたせる。 Who is this? That's right. This is Doctor Yamanaka Shinya. Doctor Yamanaka can ...? Play soccer? Play table tennis? Let's watch the video.</p>	
<p>No.1 (山中伸弥教授) : I am a medical doctor and a researcher. I got the Nobel Prize in 2012. I can speak English.</p>			
10分	<p>【Let's Play 1】 p.34, 35 ・ 指導者の紹介を聞いて、それがどの動物かを当てる。 ・ 映像資料の音声を聞いて、それぞれの動物や人物ができることを確認する。</p>	<p>・ 映像資料で取り上げられていることについて、数名の児童に Can you ~? で尋ね、 Yes, I can. / No, I can't. の答え方を理解させるようにする。</p> <p>・ 活動に入る前に、誌面の動物を児童と確認する。動物当てクイズをすることを告げ、指導者は誌面の動物のどれかになりきって、その動物ができることを紹介し、児童にどの動物かを尋ねる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>Who am I? I can't fly. I can't sing, but I can run very fast. Who am I? (I'm a cheetah.) Who am I? I can't fly. I can't run fast, but I can swim very fast. Who am? (I'm a penguin.)</p> </div> <p>・ 児童が慣れてきたら、I'm a mouse. I can ...? Run fast? Jump high? Swim? などと児童に発話を促す。 ◎自分ができること、できないことを表す表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト
5分	<p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション) p.35 ・ 音声に合わせてチャンツを言う。</p>	<p>・ チャンツ (I can run. I can swim.) を一緒に言う。児童の実態に応じて、スピードを選択するとよい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(Option) <u>I can run. I can swim.</u> Who am I? I'm a rabbit. I can jump. I can't swim. Who am I? I'm a dog. I can run. I can swim. I can jump. Who am I? It's me!</p> </div>	デジタル教材
5分	<p>【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77) ・ 音声を聞きながら、音に注意し、文字の読み方(名称)をリズムに合わせて言う。 ・ その他の部分で言えるところも一緒に言う。</p>	<p>・ Animals Jingle を、音声に合わせて児童と一緒に言う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Animals Jingle」</p> </div>	デジタル教材
5分	<p>・ 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・ 挨拶をする。</p>	<p>・ 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・ 挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 5—Lesson 2 単元名 She can run fast. He can jump high. できること 2/8 時間
目 標 動作を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりできる。
準 備 教師用カード(動作), 児童用テキスト, 児童用カード(動作), ワークシート (Unit 5-6: 5×5 Bingo), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション) p.35</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声に合わせてチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・チャンツ (I can run. I can swim.) を児童と言う。 <p>児童の実態に合わせて, スピードを選ぶとよい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(Option) <u>I can run. I can swim.</u> Who am I? I'm a rabbit. I can jump. I can't swim. Who am I? I'm a dog. I can run. I can swim. I can jump. Who am I? It's me!</p> </div>	デジタル教材
10分	<p>【Let's Listen 1】 p.36</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いてどの動物か, 男の子かを考えて, イラストの下に番号を記入する。 ・聞いた内容に関連して, 指導者の質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で音声を聞かせる。児童の実態に応じて, No. 2, 3 から始める方が分かりやすい場合もある。1問目を児童と一緒に考えることで, どの動物かを考えて, 誌面上の動物イラストの下に番号を記入すればよいことを理解させるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>No.1 I can sing, and I can swim. Who am I? No.2 I can sing, but I can't swim. Who am I? No.3 I can swim, but I can't sing. Who am I?</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・答え合わせの際には, 単に番号を確認するだけでなく, 音声が続いて表現を繰り返し, 言い慣れさせるようにする。 ・聞いたことを受けて, 児童に Can you sing / swim well? などと尋ね, やり取りをする。 <p>◎できる, できないという表現を聞いて, 番号を記入している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	デジタル教材 児童用テキスト
10分	<p>【Let's Play 2】 ポインティング・ゲーム p.37</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言う語句や文を聞いて, 自身のテキスト誌面にある絵をさし示しながら, 指導者の後について繰り返し言う。 ・慣れてきたら, ペアで1冊のテキスト誌面の絵を指さす。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15種類のイラストの中から, 自分ができるところを選んでペアの相手に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面にある15種類の動作を表す語句を使って, ポインティング・ゲームの例を示し, 進め方を理解させる。 ・指導者は, 最初は, 動作を表す語句のみを言い, 児童が慣れてきたら, I can / can't ~.で言う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ペア同士で, 自分ができるところを伝え合わせる。 <p>◎自分や相手ができることを聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(動作)

5分	<p>○キーフレーズ・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで活動する。 ・I/You can ~ . I/You can't ~.の表現を使って行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前活動で聞いたたり言ったりした動作を表す語句を使って、キーフレーズ・ゲームの進め方の例を示す。 	教師用カード(動作)
<p>キーフレーズ・ゲームの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、2人の机の間に消しゴムを1つ置く。 ・キーフレーズを決める。(例) ride a unicycle ・指導者に続いて言う。 <p>T : I can speak English. S : You can speak English. (キーフレーズ以外の時は指導者に続いて言う。) T : I can't ride a unicycle. S : 消しゴムを取る。(キーフレーズに気付いて素早く消しゴムを取った方が勝ち。) S : You can't ride a unicycle. (指導者の合図で続いて言う。)</p>			
10分	<p>【 Jingle 】 Animals Jingle p.39 (p.77)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら、音に注意し、文字の読み方(名称)をリズムに合わせて言う。 ・読み方以外の部分で言えるところも一緒に言う。 <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自でワークシートの4線に小文字を書いて、ビンゴシートを作る。 ・シートが完成したら、ペアで自分のシートに書いた小文字を見せその読み方(名称)を言い合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声に合わせて児童と一緒に言う。 ・2, 3回繰り返す。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Animals Jingle」 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・再度 Animals Jingle で文字の名称を聞いて、小文字をビンゴシートの25マスに書かせる。(x以外の25文字) 	デジタル教材 デジタル教材 ワークシート (Unit 5-6 : 5×5 Bingo)
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

Unit 5—Lesson 3 単元名	She can run fast. He can jump high.	できること	3/8 時間
目 標	できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、できるかどうかを尋ねたり答えたりすることができる。		
準 備	好きなスポーツや趣味に関する具体物 (Small Talk 用), 教師用カード (動作), 児童用テキスト, 児童用カード (動作), ワークシート (Unit 5-7), デジタル教材, 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 好きなスポーツや趣味</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 好きなスポーツや趣味について話す。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	好きなスポーツや趣味に関する具体物
<p>Small Talk の例</p> <p>T : Look! Look at this. What's this? S : A racket?</p> <p>T : Yes, that's right. It's a racket. It's a badminton racket. This is my badminton racket. I can play badminton very well. (ラケットを振って見せる) I can play badminton very well. Can you play badminton well? Do you like badminton? I love badminton very much. It's a lot of fun. I'm a good badminton player. I can play it very well. Can you play badminton? Can you play soccer well? (ボールを蹴るジェスチャーをしながら) Can you play the piano well? (ピアノを弾くジェスチャーをしながら) Can you dance well? (ダンスのジェスチャーをしながら) Can you do <i>kendo</i>? (竹刀を振るジェスチャーをしながら) I can play badminton well.</p>			
15分	<p>【Activity】 1 p.37</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の質問に答えたり、指導者と一緒に代表児童に尋ねたりする。 <ul style="list-style-type: none"> ペアになり、相手ができるかできないかを予想して、誌面動作イラストに○、△を記入する。その後尋ね合い、自分の予想が当たっているか確認する。 反応を示しながら聞くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> Activity をする前に、Small Talk の流れで以下の活動を行う。指導者は、動作の絵カードを見せながら、数名の児童に Can you ~? と尋ねる。その際、I think Tanaka <i>san</i> can play baseball. Question, Tanaka <i>san</i>, can you play baseball? と、先に予想してから尋ねるようにし、Activity につなげる。 数名の児童にこれを繰り返した後、他の児童にも代表児童ができるかどうかを予想させたうえで、一緒に代表児童に Can you ~? と尋ねさせる。 この続きで、Activity をペアであることを告げる。 前時の Let's Talk で聞いたことを基に予想して、○や△を付けるよう指示する。 答えを聞いた際には、You can swim. That's great. 等、反応を示しながら聞くよう促す。 <p>◎できるかどうかを尋ねたり答えたりしている。</p> <p><行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	教師用カード(動作) 児童用テキスト
5分	<p>【Let's Listen 2】 p.36 (動物編2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて、イラストにある動物の中でどの動物のことかを考えて記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴して誌面にあるイラストの内どの動物のことかを推測させる。 前時の Let's Listen 1 とは異なり、I can run very fast. など、fast, high, well 等を加えた音声であり、これらの意味を推測しながら聞かせる。 <p>◎できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取り番号を記入している。</p> <p><発表観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	デジタル教材 児童用テキスト

	<p>No.1: I can run very fast, but I can't sing well. Who am I? No.2: I can jump long, but I can't swim. Who am I? No.3: I can sing very well, but I can't swim. Who am I? No.4: I can run fast, and I can walk in the water very fast. Who am I?</p>		
5分	<p>○デスティニー・ゲーム</p> <p>・ペアで、児童用カード1セットを使って行う。</p>	<p>・進め方の例を示す。</p>	<p>教師用カード(動作) 児童用カード(動作)</p>
	<p>デスティニー・ゲームの進め方</p> <p>・ペアで児童用カード(動作)1セットを均等に分けて持つ。</p> <p>・以下のように、指導者が質問して、その動作の絵カードを持っている児童はYes, ~. で答え、そのカードを自分のものとし、持っていない児童はNo, ~. で答える。</p> <p>・制限時間内に、よりたくさん絵カードを自分のものにした人が勝ちとなる。</p> <p>T: Can you jump high? S (jump の絵カードを持っている児童): Yes, I can. I can jump high. S (jump の絵カードを持っていない児童): No, I can't. I can't jump high.</p>		
5分	<p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション) p.35</p> <p>・言えるところからチャンツを言う</p>	<p>・まずチャンツ (Can you swim?) を聞かせ、言えるところから言わせるようにする。</p> <p>・児童の実態により、スピードを選ぶとよい。</p>	デジタル教材
	<p>(Option) <u>Can you swim?</u> (うさぎが魚に聞く) Can you jump? (魚) No, I can't. I can't jump, but I can swim. (魚が鳥に聞く) Can you swim? (鳥) No, I can't. I can't swim, but I can sing. (鳥がカンガルーに聞く) Can you sing? (カンガルー) No, I can't. I can't sing, but I can jump.</p>		
8分	<p>【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77)</p> <p>・音声に合わせてジングルを言う。</p> <p>○Sounds and Letters</p> <p>・ワークシートの4線上に、聞こえたアルファベットの小文字7文字を書く。</p> <p>・ペアで自分のシートに書いた小文字を見せその読み方(名称)を言い合う。</p>	<p>・デジタル教材で、Animals Jingle を児童と一緒に言う。</p> <p>デジタル教材: 「教材どうぐばこ」 → 「素材種類別」 → 「チャンツ・ソング・ジングル」 → 「リスト」 → 「ジングル」 → 「Animals Jingle」</p> <p>・ワークシートに聞こえたアルファベットの小文字7文字を自分で選んで書くよう指示する。</p>	<p>デジタル教材</p> <p>ワークシート (Unit 5-7)</p>
2分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 5—Lesson 4 単元名	She can run fast. He can jump high.	できること	4/8 時間
目 標	できるかどうかを尋ねたり答えたりするとともに、短い話を聞いて具体的な情報を聞き取る。		
準 備	教師用カード (動作), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 5-7), デジタル教材, 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション) p.35 チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 チャンツ (Can you swim?) を児童と一緒に言う。 児童の実態に応じて、スピードを選ぶとよい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(Option) <u>Can you swim?</u> (うさぎが魚に聞く) Can you jump? (魚) No, I can't. I can't jump, but I can swim. (魚が鳥に聞く) Can you swim? (鳥) No, I can't. I can't swim, but I can sing. (鳥がカンガルーに聞く) Can you sing? (カンガルー) No, I can't. I can't sing, but I can jump.</p> </div>	デジタル教材
7分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.38</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物ができることできないことについて話している映像資料を視聴し、誌面にできることには○、できないことには△を書く。 再度映像資料を見ながら答えを確認し、指導者と一緒に言ってみる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材の映像資料内容は、会話形式でできるところできないことを尋ねたり答えたりしている場面である。人によってできることやできないことが様々であることについて、具体的な情報を聞き取らせる。 長い会話のため、児童の実態に合わせて複数回視聴させたり、途中で止めたりして書かせるとよい。 答え合わせの際には、答えの確認だけでなく、音声に続けて指導者と一緒に言わせるようにする。 	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>ジョン : Hi, Christina. クリスティーナ: Hi, John. ジョン : Christina. Are you from America? クリスティーナ: No, I'm not. I'm from the Philippines. How about you, John? Where are you from? ジョン : I'm from Australia. クリスティーナ: I see. What sport do you like, John? ジョン : I like swimming. I can swim fast. How about you, Christina? What can you do? クリスティーナ: Oh, I can ride a unicycle very well. I can cook, too. I can cook curry and rice. Can you cook? ジョン : No, I can't. クリスティーナ: Do you like music? ジョン : Yes, I like music, but I can't play the piano. クリスティーナ: That's OK. I can't sing well, but I like music very much. ジョン : Oh, one more thing. I can play <i>kendama</i>! クリスティーナ: Great! I want to try <i>kendama</i>.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取り誌面に記入している。 <行動観察・記述観察・振り返りカード点検> 映像資料の内容を受けて、指導者は全体、また複数の児童に Can you swim / cook / play the piano / ride a unicycle / play <i>kendama</i>? と問い、児童とやり取りをする。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 指導者の質問に答える。 		

15分	<p>【Activity 2】 p.37</p> <p>・教室内を歩いて回り、友達に誌面にあることについてできるかどうかを尋ね、できる場合は、イラスト下に名前を書いてもらう。</p>	<p>・進め方の例を示す。その際、相手の回答に反応を返すようにする。</p> <p>・インタビューでは、 well / fast / high 等も含めた表現で行わせる。 I can swim. / I can swim well. / I can swim fast. の違いを明確にし、答えを言わせるようにする。</p> <p>・途中で一旦活動を止め、前半のインタビューで見つけた児童のよい姿を紹介することで、後半のインタビューの質を高めるようにする。</p> <p>◎できるかどうかを尋ねたり答えたりしている。</p> <p>〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	教師用カード(動作)
10分	<p>【Activity 3】 p.39</p> <p>・班ごとにインタビューに行く先生を決め、似顔絵を誌面に描く。先生の名前を書く。</p> <p>・それぞれ聞きたいことを決め、聞き方の練習等インタビューの準備をする。</p>	<p>・クラスの実態に応じて、インタビューに行く先生を相談やくじ引きで決めさせる。班の中で質問事項がかぶらないように、聞きたいことを考えさせ、誰がどんな質問をするのか等インタビューの準備をさせる。</p>	児童用テキスト
6分	<p>【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77)</p> <p>・音声に合わせてジングルを言う。</p> <p>○Sounds and Letters</p> <p>・ワークシートの4線の上に、聞こえたアルファベットの小文字8文字を書く。</p> <p>・ペアで自分のシートに書いた小文字を見せその読み方(名称)を言い合う。</p>	<p>・デジタル教材で、Animals Jingle を児童と一緒に言う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Animals Jingle」 </div> <p>・ワークシートに、聞こえたアルファベットの小文字のうち、前時に書かなかった8文字を自分で選んで書くよう指示する。</p>	デジタル教材 前時に7文字書いたワークシート (Unit 5-7)
2分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

Unit 5—Lesson 5 単元名 She can run fast. He can jump high. できること 5/8 時間
目 標 第3者について, できることやできないことを聞いて分かる。
準 備 教師用カード (he/she/ キャラクター), 児童用テキスト, 好きな有名人や校内教員など紹介したい人の写真など, ワークシート (Unit 5-6 : 第2時に各自が作成したビンゴシート), デジタル教材, Animals Jingle 絵カード, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ○Small Talk : 好きな有名人 指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。 好きな有名人について話す。 一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	好きな有名人の写真など
<p>Small Talk の例</p> <p>Today, I have a picture of someone. (写真を手に児童に話しかける) He is an athlete. Do you know the word "athlete"? (児童の予想される答え: 「アスレチック」「運動選手」) Yes, he is a sport player. Who is he? (いくつか出てくるスポーツ選手名に対して, その名前だけを繰り返し, 正解は言わない) Ichiro? Maybe.</p> <p>I give you 3 hints. Hint No. 1. He can jump high. (飛び上がって見せる) Hint No. 2. He can turn very well. (回って見せる) Do you know who he is? Any ideas? (児童に問いかけるが, ここでも正解は言わないで続ける) Hint No. 3. He was in the Olympics in Brazil. Who is he?</p> <p>The answer is ... (写真を見せながら) Uchimura Kohei. I like him very much. He is very cool.</p> <p>○○ san, good job! (途中経過ですでに当てていた児童を褒める)</p>			
15分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.38</p> <p>前時の Let's Watch and Think 2 で2人の会話を聞いていたさとしが, その情報をまとめながら he/she を使って2人を紹介する映像を含む「通し視聴」を視聴し, 分かったことを誌面に記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時の続きで, 映像を視聴するが, 今回は前回より長めであることを告げる。児童の実態に応じて, 繰り返し視聴させるとよい。 映像資料のさとしの話を聞いて分かったことを誌面に書くよう指示する。 	デジタル教材 児童用テキスト
	<ul style="list-style-type: none"> 指導者とやり取りをして, 答えを確認する。 指導者の話を聞いたり, 質問に答えたりして, he, she の使い方を理解するとともに, I, you との違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 書いたことをやり取りしながら確認する。 John is from ...? He can ...? He can't ...? Christina is from ...? She can ...? She can't ...? 校内の先生等のできること, できないことについて紹介する。紹介しながら, 6名ほどの先生の写真を男性は右側, 女性は左側に分けて黒板に貼っていく。 This is Ms. She can ~. This is Mr. He can ~. 児童が男性と女性では言い方が違うことに気付き出している様子を見とって, 新たな先生4名程度の 	校内教員の写真など
<p>※写真を映し出す際には, デジタル教材の「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。</p>			

		<p>写真を見せながら, he か she かを問いかけ, 児童に he, she の違いを理解させる。</p> <p>This is Ms. He? She?</p> <p>This is Mr. He? She?</p> <p>・児童が he, she の違いを理解した様子を見とって, 今度は児童にできるかどうかを尋ね, I, you, he ,she の違いを理解させるようにする。</p> <p>Can you ~? You can / can't ~.</p>	
7分	<p>○Who is he? Who is she?</p> <p>he / she を使って紹介される校内教員やキャラクターなどについて, それが誰かを予想して答える。</p>	<p>・校内の教員や児童がよく知っているキャラクターなどを複数とりあげ, できること, できないことなどを he / she を使って児童に聞かせる。児童に誰のことかを考え, 答えさせる。</p> <p>・答え合わせの際には, 再度 he / she を使ってできることできないことを話す。</p> <p>◎第三者について, できることやできないことを聞き取っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	<p>教師用カード (he / she / キャラクター)</p> <p>校内教員など紹介したい人の写真など</p>
5分	<p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション) p.35</p> <p>・チャンツを言う。</p>	<p>・デジタル教材で, チャンツ (He can run fast. She can sing well.) を視聴させ, ゆっくりのスピードからを言えるところだけを言わせるようにする。</p>	デジタル教材
<p>(Option) <u>He can run fast. She can sing well.</u></p> <p>This is my friend, Kosei. He can play basketball. He can run fast. He can jump high and he's so cool.</p> <p>This is my teacher, Ms. Tanaka. She can play the piano. She can sing well. She can cook well and she's so nice.</p> <p>I can't run fast, but I can swim. I can't sing well, but I can dance.</p> <p>How about you? What can you do?</p>			
8分	<p>○Sounds and Letters</p> <p>・ひそひそビンゴゲームをする。</p> <p>Animals Jingle 絵カード:「教材どうぐばこ」→「ツール」→「絵辞書」→「Word Index We Can! 1」→「Animals Jingle」</p>	<p>・第2時で作成したビンゴシートを使ってビンゴゲームをする。</p> <p>・最後まで大きな声を出さないのでひそひそ声でゲームを進める。5文字に印がついても“Bingo!”とは言わないで最後に縦・横・斜めに印がいくつ揃ったかを数える。</p> <p>・最初は聞こえた動物の最初の音に○, 2回目は×など印を替えて複数回行ってもよい。</p>	<p>ワークシート (Unit 5-6: 第2時に各自が作成したビンゴシート)</p> <p>Animals Jingle 絵カード</p>
<p>Sounds and Letters (ひそひそビンゴゲーム) の進め方</p> <p>・指導者は, Animals Jingle 絵カードから任意の数 (12~18) のカードを選び, その動物名を言う。児童は, 自分のシートにあるその動物名の最初のアルファベットの文字に印をする。</p> <p>・縦, 横, 斜めに印がついても従来のビンゴのように大声で「ビンゴ!」と言わない。あらかじめ決めていた数の動物名を読み上げたところで, それぞれビンゴがいくつできたかを数える。</p>			
5分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

	<p>にできた文をペアで紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ聞きたいことを決め、ワークシート (Unit 5-1, 5-2) を使ってインタビューの準備をする。 	<p>言わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューに行く準備をするよう言う。 	
<p>インタビューの準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート (Unit 5-1, 5-2 : インタビューシート(1)(2)) を使って行う。 ① インタビューする先生を決める。 ② シート(1)に先生の似顔絵を描き、その下にローマ字で先生の名前を書く。 ③ インタビューシート(1)の例を参考に、その先生ができることを予想し、4線に He / She を書き、□に児童用絵カード (動作) を置いて文を言う。その予想があっているかその先生に尋ねる文を言って、ワークシート(1)の Can you, ? をなぞる。 ④ シート(2)も同様に行う。ペアでワークシートを見せ合い、予想した文、尋ねる文を互いに言い合う。 			
	<p>※次時まで、各自インタビューをして、誌面 p.39 Activity 4 の□に分かったことをメモしておく。</p>	<p>※次時まで、各自インタビューをしておくように伝える。</p>	
5分	<p>OLet's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で映し出された英文を音声について読み、例を参考に自分のできること、できないことをワークシートの Hint Box から語句を選んでそれらに○を付け、声に出して言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴し、音声について I can swim. I can't run fast. を読むよう指示する。 ・ワークシートの例文 I can play volleyball. I can't sing well.を一緒に読む。I can, I can't の書き方の例を示す。 ・例をよく見ながら4線上の I can, I can't をなぞり書きし、その後に自分の立場でできることできないことを、下の Hint Box から語句を選んで言うよう指示する。ワークシートには、「自分のできること、できないことを書いてみよう。」と記されているが、語句を選んで言う活動にとどめる。ただし、児童の実態に応じて、語句を選んで書き写すことが考えられる。 	<p>デジタル教材 ワークシート (Unit 5-4)</p>
3分	<p>OSounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワードサーチをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの 32 マスに書かれた小文字の中から、音を考えながらシート右ボックスにある単語を探して印を付けるよう言う。 	<p>ワークシート (Unit 5-8)</p>
2分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p>

5年 Unit 5—Lesson 7 単元名 She can run fast. He can jump high. できること 7/8 時間

目 標 ある人物について、できることやできないことを含めて紹介する。

準 備 教師用カード（動作）、児童用テキスト、ワークシート（Unit 5-1～5-5）、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション) p.35 チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 デジタル教材を視聴しながら、児童と一緒にチャンツ (He can run fast. She can sing well.) を言う。 児童の実態により、スピードやオプションを選ぶ。 	デジタル教材 教師用カード（動作）
<p>(Option) <u>He can run fast. She can sing well.</u></p> <p>This is my friend, Kosei. He can play basketball. He can run fast. He can jump high and he's so cool.</p> <p>This is my teacher, Ms. Tanaka. She can play the piano. She can sing well. She can cook well and she's so nice.</p> <p>I can't run fast, but I can swim. I can't sing well, but I can dance.</p> <p>How about you? What can you do?</p>			
	<p>○Small Talk : Who is this? Quiz</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。それが誰かを考えて答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童がインタビューに行かなかった先生についてできることできないことをクイズ形式で紹介し、児童の先生紹介の活動につなげるようにする。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 児童がスピーチする際のヒントになるよう、できることできないことだけでなく、自分はできるかどうかや感想も含めて話すようにする。 スピーチの後児童に誰のことかを考えさせ、答えとして This is ○○sensei. で表現する。 	
<p>Small Talk の例</p> <p>'Who is this?' Quiz. He is a nice teacher. He can run very fast. I can run fast. He can cook very well. He can bake cake, too. I like cake very much. His cake is very delicious. He can sing very well. I can't sing well. He is kind. He is my good friend.</p> <p>Who is he?</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> クイズを複数出した後、クイズに出てきた動作について、児童にできるかどうかを尋ね、次の活動につなげる。 	
15分	<p>【Activity 4】 p.39</p> <ul style="list-style-type: none"> インタビューの結果を整理し、スピーチの準備をする。 ワークシート (Unit 5-3) を参考にインタビューした先生のできることやできないことを言う。また、それに対して自分の考えも加えるようにする。 ワークシート (Unit 5-5) の□に Hint Box から切り取ったカードや児童用カード（動作）を置いて、スピーチの練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでに児童が行ったインタビューの結果をグループで整理し、スピーチの準備をさせる。スピーチでは自分のことや感想も含めて伝えられるようにする。 デジタル教材を視聴し、音声について He can cook. He can cook well. She can swim. She can run fast. を読むよう指示する。 	ワークシート (Unit 5-3) 児童用カード（動作） ワークシート (Unit 5-5)
10分	【Activity 5】 p.40	<ul style="list-style-type: none"> ペアで活動させる。 	ワークシート (Unit

	<ul style="list-style-type: none"> ・班でペアになり、インタビューをもとにその先生ができることできないことを、自分のことも含めて伝え合う。相手を替えて繰り返す。 ・デジタル教材のスピーチを聞く。また、互いのスピーチについてよかったところや分かりにくかったところなどをアドバイスし合い、ジェスチャーを入れるなどアドバイスに沿って改善をして、次時のスピーチの準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生にインタビューしたことをもとに、その先生ができることできないことを自分のことも含めてスピーチするため、既習表現についてどんな表現が使えそうか交流させたり、どんなスピーチがよいか、また悪いか、例を挙げさせて交流させたりしてから始めるようにする。 ・デジタル教材でスピーチの例を聞かせ、発表の参考にさせる。 <p>◎自分やある人物について、できることやできないことを、考えや気持ちも含めて伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	5-1～5-5) デジタル教材 児童用テキスト
5分	<p>[Jingle] Animals Jingle p.39 (p.77)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの間に1冊の児童用テキストの p.77 を開いて置く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童用テキスト p.77 Animals Jingle チャートを使って、じゃんけんすごろくをするよう告げる。 	デジタル教材 児童用テキスト
	ペアになり、じゃんけんをし、グーで勝ったら1つ、チョキで勝ったら2つ、パーで勝ったら5つ、自分のコマ（消しゴムなど）を進める。進める際に、Animals Jingle を言う。早く z まで来た方が勝ち。		
3分	<p>[STORY TIME] ① p.41</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴し、話の概要を理解する。指導者の質問に答える。 ・音声の後につけて読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> かず：Do you like math? マリア：Yes. I like math very much. Maria can do math very well. </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを、デジタル教材を使って、あるいは指導者が読んで行う。 ・単に読むのではなく、内容と関連した質問を児童にすることで、内容の理解を図るようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> T: Do you like math? What subject do you like? Can you do math very well? など </div>	デジタル教材 児童用テキスト
2分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 5—Lesson 8 単元名	She can run fast. He can jump high.	できること	8/8 時間
目 標	他者に配慮しながら、ある人物についてできることやできないことを、自分の考えも含めて紹介しようとする。 アルファベットの文字の読み方には、名称のほかに音があることに気付く。		
準 備	児童用テキスト、ワークシート (Unit 5-3, 5-9) , デジタル教材、振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 [Let's Chant] Can you sing well? (オプション) p.35 チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 デジタル教材を視聴しながら、児童と一緒にチャンツ (He can run fast. She can sing well.) を言う。 児童の実態により、スピードやオプションを選ぶ。 	デジタル教材
<p>(Option) <u>He can run fast. She can sing well.</u> This is my friend, Kosei. He can play basketball. He can run fast. He can jump high and he's so cool. This is my teacher, Ms. Tanaka. She can play the piano. She can sing well. She can cook well and she's so nice. I can't run fast, but I can swim. I can't sing well, but I can dance. How about you? What can you do?</p>			
30分	<p>[Activity 5] p.40</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴し、発表の仕方を確認する。 インタビューの内容をもとに、ある先生のことを、班ごとあるいは各自で紹介する。聞いている側は、聞き取れた内容をワークシートの空いているところに記入をする。 <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声について読む (発音する)。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を再度視聴し、発表の仕方を確認させる。 聞いている人は、ワークシートの空いているところに分かった内容を聞き取れた部分だけでもよいので記入するよう促す。 活動の途中で中間評価をし、良いスピーチについて、具体的に児童と共通理解し、後半のスピーチを行う。 ◎他者に配慮しながら、ある人物について「できること」「できないこと」を、自分の考えも含めて紹介している。〈行動観察・振り返りカード点検〉 デジタル教材を視聴し、音声について文を読むよう促す。再度音声を聞きながら、児童用テキスト Activity 5 の文を指で追いながら読む。 	デジタル教材 ワークシート (Unit 5-3)
5分	<p>[STORY TIME] ② p.41</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴し、音声について読む。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴し、音声について読ませる。児童と一緒に読む。 	デジタル教材 児童用テキスト
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> かず：Do you like math? マリア：Yes. I like math very much. Maria can do math very well. </div>			
3分	<p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> Animals Jingle を言ったあと、ジングルを思い出しながら、ワークシート (Unit 5-9) の□に該当する小文字を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> Animals Jingle を言ったあと、ジングルを思い出しながら、ワークシート (Unit 5-9) の□に該当する小文字を書くように言う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Animals Jingle」 </div> <p>◎アルファベットの文字の読み方には、名称のほかに音があることに気付き、□に小文字を書いている。 〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 5-9)
5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動及び本単元を振り返る。振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

5年—Unit 6 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域

1. 単元目標

- ・国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりすることができる。また、それらを書き写すことができる。(知識及び技能)
- ・行きたい国や地域について理由も含めて伝え合う。(思考力, 判断力, 表現力等)
- ・他者に配慮しながら, 行きたい国や地域について説明したり, 自分の考えを整理して伝え合ったりしようとする。(学びに向かう力, 人間性等)

2. 言語材料

- Where do you want to go? I want to go to (Italy). Why? I want to [see / go to / visit] (the Colosseum). I want to eat (pizza). I want to buy (olive oil). It's [exciting / delicious / beautiful / great / fun].
- 国 (America, Australia, Belgium, Brazil, Canada, China, Egypt, Finland, France, Germany, India, Ireland, Italy, Japan, Korea, Peru, Russia, Spain, Thailand, the UK), 状態・気持ち (beautiful, delicious, exciting, fun), 動作 (visit, buy, eat), where, coffee
[既出] 動作, 状態・気持ち, 国, 飲食物

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について, 伝えようとする内容を整理した上で, 自分の考えや気持ちなどを, 簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 大文字, 小文字を活字体で書くことができるようにする。また, 語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (□, ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆世界遺産や地域の特色についてまとまった話を聞いて, 具体的な情報を聞き取るとともに, 4線に国名を書き写すことができる。</p> <p>○お勧めプランを聞こう。 ・指導者のお勧め冬休み旅行プランについて知る。 【Let's Watch and Think 1】 p.42, 43 ・映像資料を視聴し, 聞こえた情報を共有しながら, どの国か考える。</p> <p>【Jingle】 Countries Jingle p.48 (p.78)</p> <p>○キーワード・ゲーム(国名) ・ペアになって指導者の言う国名を繰り返し, キーワードでは間に置かれた消しゴムを取る。</p> <p>○Let's Read and Write ① ・国名を書き写す。</p>	<p>◎世界遺産や地域の特色について具体的な情報を聞き取っている。<発表観察・記述分析・振り返りカード点検></p> <p>◎国名を書き写している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>
2	◆行きたい国を聞いたり言ったりすることができる。国名を選んで4線に書き写すことができる。	

	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.42, 43</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時のメモをもとに指導者の後に続けて言う。 ・ペアで言えることを確認し合ったうえで、発表する。 <p>【Let's Play 1】 ポインティング・ゲーム p.42, 43</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の言う語句や文を聞いて、誌面写真をさし示す。 ・友達と交代に語句や文を言ったり、写真をさし示したりする。 <p>【Let's Chant】 Where do you want to go? (オプション) p.43</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質問に答える。 ・ペアで行きたい国を伝え合う。相手を変えて数回繰り返す。 <p>○Let's Read and Write ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行きたい国を選んで書き写し、英文を完成する。 ・完成した文を声に出して言う（読んでみる）。 <p>○Sounds and Letters ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6つ国旗の絵と国名をつなぐ。 	<p>◎行きたい国を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎行きたい国を選んで国名を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆どこの国に行きたいかを尋ねたり答えたりできる。</p> <p>○Small Talk: 出身地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 <p>【Let's Chant】 Where do you want to go? (オプション) p.43</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.44</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像資料を見て、有名な食べ物、場所、建物の特徴や魅力の言い方を知る。 ・指導者の後に続けて分かったことを言い、インタビューの内容を確認する。 <p>【Let's Chant】 Where do you want to go? p.43</p> <p>【Activity】 ① p.44</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、行きたい国(場所)を尋ねたり答えたりする。ペアを替えて繰り返す。 <p>○Let's Read and Write ③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介したい国(場所)の名前をポスターに書き写す。 <p>○Sounds and Letters ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を活用して、始まりの音が違う言葉を探す。 	<p>◎行きたい国を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆お勧めの国について伝え合う。</p> <p>【Jingle】 Countries Jingle p.48 (p.78)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴しながらジングルを言う。 ・アルファベットの文字をヒントに国名を言う。 <p>【Let's Watch and Think 3】 p.45</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初に児童用テキストの写真を見て、予想を立てる。 ・4つ国の観光名所、建物、食べ物、お土産物などの特徴や魅力を話している映像資料を視聴し、線で結ぶ。 ・答え合わせの時は、使われていた You can ~ の表現をみんなで言いながら確認する。 <p>○マッチング・ゲーム</p>	

	<p>・観光名所/食べ物/飲物/買える物と It's delicious. It's fun. 等を, 理由とともに言う。</p> <p>【Activity】② p.44</p> <p>・ペアになり, お勧めの国を伝え合い, 誌面表に記入する。</p> <p>○Let's Read and Write ④</p> <p>・紹介したい国(場所)の観光名所や施設についての文を, 語順を意識しながらポスター(ワークシート6-4)に書き写す。</p>	<p>◎お勧めの国を, 理由も含めて伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆お勧めの国について紹介することを整理し, 伝え合うとともに, 文字の音を推測しながら音声で慣れ親しんだ簡単な語を読む。</p> <p>○Small Talk: 行きたい国</p> <p>・指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。</p> <p>【Jingle】Countries Jingle p.48 (p.78)</p> <p>・デジタル教材を視聴しながら言う。</p> <p>【Let's Chant】Where do you want to go? (オプション) p.43</p> <p>・歌詞を自分の情報に置き換えて言う。</p> <p>【Let's Listen】 p.47</p> <p>・写真をヒントに, どの国か予想を立てる。</p> <p>・ヒントになる言葉や表現を確認する。</p> <p>【Let's Watch and Think 4】 p.46</p> <p>・映像資料を見て, 分かったことを誌面□に書き発表する。</p> <p>【Activity】③ p.44</p> <p>・You can see / eat / buy / drink ~. などの既習表現も使って紹介することを考える。</p> <p>○Let's Read and Write ⑤</p> <p>・ポスターを見て, 知っている単語に印を付ける。</p>	<p>◎お勧めの国について紹介することを整理し, 伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎お勧めの国について紹介することを整理し, 文字の音を推測しながら読んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
6	<p>◆お勧めの国について紹介することを整理し, 文字の音を推測しながら他者に伝える目的を持って書き写し, 意味が分かる。</p> <p>○Small Talk: 行きたい国について紹介したい土産物や建造物</p> <p>【Let's Chant】Where do you want to go? (オプション) p.43</p> <p>【Activity】④ p.44</p> <p>・まとめた紹介内容を確認し, 相手意識をもって人に伝えるための練習をしたり, ペアでアドバイスをしたりする。</p> <p>○Let's Read and Write ⑥</p> <p>・紹介したい国(場所)の名物料理や飲み物についての文を, 語順を意識しながら書き写す。</p> <p>【Let's Watch and Think 5】 p.48</p> <p>・Hikari と Kenta のお勧めの国の発表を聞き, 内容を聞き取るとともに, 自分の発表のイメージをもつ。</p>	<p>◎お勧めの国について紹介することを整理し, 文字の音を推測しながら他者に伝える目的をもって書き写している。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉</p>

	<p>○スピーチを工夫しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のお勧めの国の紹介をペアで役割を交代しながら練習し、2か所の観光案内を共通理解する。 	
7	<p>◆他者に配慮しながら、自分のお勧めの国について内容を整理し伝えようとする。</p> <p>【Jingle】 Countries Jingle p.48 (p.78)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジングルを言う。 ・ジングルに出てくる国以外にどんな国があるかみんなで考える。 <p>○お勧めの国を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、紹介する側と聞く側に分かれて、互いのお勧めの国とその理由を伝え合う。 ・その時、どのように工夫をすれば相手に伝わりやすいかを考えながら伝え合う。 <p>○Sounds and Letters ③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で、始まりの音が違う言葉を探す。 	<p>◎他者に配慮しながら、自分が行きたい国について理由も含めて伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆他者に配慮しながら、自分のお勧めの国について内容を整理し伝え合おうとする。</p> <p>【Jingle】 Countries Jingle p.48 (p.78)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジングルを言う。 ・ペアで Countries Jingle シートを見て、指導者が言う国名を聞き、どのアルファベットで始まるかを考え、国をさし示しながら言う。 ・ペアで問題を出し合う。 <p>○お勧めの国を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時紹介された国の中から自分がいちばん行きたい国とその理由を、例を参考に書き写す。 ・グループの友達にその情報を伝える。 <p>○行きたい国ランキングを投票で決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の行きたい国を答えて、学級の行きたい国ランキングを決める。 <p>【STORY TIME】 p.49</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを聞く。 	<p>◎他者に配慮しながら、自分のお勧めの国を紹介したり、紹介を聞いて情報を聞き取ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

※アルファベットの文字には読み方のほかに音があることに気付いたり、その音が分かったりすることについては、単元を通して、行動観察や振り返りカードに記載されたことを点検するなどして、適宜評価する。

5年 Unit 6—Lesson 1 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 1/8時間
目 標 世界遺産や地域の特色についてまとまった話を聞いて、具体的な情報を聞き取るとともに、4線に国名を書き写すことができる。
準 備 旅行のポスターやパンフレットなど (Small Talk 用)、教師用カード (国旗)、ワークシート (Unit 6-1)、デジタル教材、児童用テキスト、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童と挨拶をする。	
5分	○お勧めプランを聞こう。 ・指導者のお勧め冬休み旅行プランについて知る。	・指導者は、あらかじめ作成しておいた旅行お勧めポスターを見せて、お勧め旅行を紹介する。さらに、次の休みに旅行へ行くならどこがいいかと児童に問いかける。この活動を通して、本単元の見通しをもてるようにする。	旅行のポスターやパンフレットなど
	<p>T: Here is ~. ~ is nice. Look. This is the poster of Yamanashi. Yamanashi is nice, too. You can see Mt. Fuji. It's beautiful. It's the world heritage. You can visit many hot springs, <i>Onsen</i>. You can eat delicious fruits.</p> <p>T: Do you want to go to Yamanashi? Do you want to see Mt. Fuji? Do you like fruits? Do you want to eat fruits? Where do you want to go on your holidays?</p>		
14分	[Let's Watch and Think 1] p.42, 43 ・映像資料を視聴し、聞こえた情報を共有しながら、どこの国かを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、誌面の写真を見ながらどんな建物や食べ物があるかをペアで確認し、どこの国の情報かを予想させる。 ・各自聞き取れた内容を誌面にメモするように指示する。 ・児童と一緒に聞き取れたことや繰り返し出てきた表現などについて確認する。 ・映像資料を通して、児童が本単元終末での活動への見通しをもてるようにする。 	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>エジプト: You can see many pyramids in Egypt. The pyramids are very big and old. You can ride on a camel. It's fun.</p> <p>アメリカ: You can see the Statue of Liberty in New York. It's great! You can eat big hamburgers. They are delicious. You can buy cool T-shirts.</p> <p>中 国: You can see the Great Wall (Banri-no-Chojo) in this country. It's very long and very old. It's about 3,000 kilometers long.</p> <p>ロシヤ: You can visit Red Square (Aka-no-Hiroba) in Russia. Red Square is a big city plaza. It's very beautiful. You can eat pirozhki. It's delicious.</p>		
		◎世界遺産や地域の特色について具体的な情報を聞き取っている。〈発表観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
5分	[Jingle] Countries Jingle p.48 (p.78)	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりバージョンを通して視聴する。 ・26の国旗に注目させながら、再び視聴し言える国名は言うように促す。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Countries」</p>	デジタル教材
5分	○キーワード・ゲーム(国名)	・国名を言いながら、黒板に教師用カード(国旗)を掲示	デジタル教材

	<p>・ペアになって指導者の言う国名を繰り返し、キーワードでは間に置かれた消しゴムを取る。</p>	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Jingle を使い “A for ...?” と問いかけてスタートし、初頭のアルファベットの名前を意識させてもよい。 ・ しっかり国名を聞いて繰り返すように伝える。また、児童が集中して聞けるように、指導者は小さな声で言っていたのを突然大きな声で言ったり、見せる国旗カードと違う国名を言ったりするなど、活動に変化をもたせるとよい。 	<p>教師用カード (国旗)</p>
<p>キーワード・ゲームの進め方</p> <p>ペアで行う。2人の間に消しゴムを1つ置き、指導者の言う語を繰り返して言う。あらかじめ決めておいたキーワードが聞こえたら、繰り返さず、消しゴムを取る。早く取ったほうが勝ち。</p> <p>Canada がキーワードの場合</p> <p>T: Australia</p> <p>S: Australia. (キーフレーズ以外の際は指導者に繰り返して言う。)</p> <p>T: Canada</p> <p>S: 消しゴムを取る。</p>			
10分	<p>○Let's Read and Write ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国名を書き写す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声で慣れ親しんだ国名を確認し丁寧に書写させる。ワークシートの4線に丁寧に文字と文字の間を詰めて書くよう言う。個別に支援をする。 ◎国名を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉 	<p>ワークシート (Unit 6-1)</p>
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・ 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・ 挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p>

5年 Unit 6—Lesson 2 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 2/8 時間
目 標 行きたい国を聞いたり言ったりすることができる。国名を選んで4線に書き写すことができる。
準 備 教師用カード (国旗), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 6-2, 6-10), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童と挨拶をする。	
10分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.42, 43</p> <p>・前時のメモをもとに指導者の後に続けて言う。</p> <p>・ペアで言えることを確認し合ったうえで、発表する。</p>	<p>・前時に聞き取ったメモをもとに、児童が情報を言えるよう問いかけながら、やり取りをする。</p> <p>T: You can see many pyramids in Where?</p> <p>S: (児童に期待する答え) Egypt.</p> <p>T: The pyramids are ... ?</p> <p>S: (児童に期待する答え) Big and old.</p> <p>・同じようにほかの3つの国の情報を確認する。</p> <p>・黒板に4つの国旗カードを掲示して、分かったことを、メモをもとに発表させる。</p>	<p>教師用カード(国旗: Egypt, America, China, Russia)</p> <p>児童用テキスト</p>
<p>やり取りの例</p> <p>T: You can see many pyramids in ...?</p> <p>S: Egypt.</p> <p>T: That's right. You can see many pyramids in Egypt. Do you want to see pyramids?</p> <p>S: Yes.</p> <p>T: I see. You want to see pyramids. Pyramids are ...?</p> <p>S: Big and old.</p> <p>T: Yes, pyramids are big and old. You can ride on a ...?</p> <p>S: “ラクダ”</p> <p>T: “ラクダ” in English?</p> <p>S:</p> <p>T: “ラクダ” is a “camel” in English.</p> <p>Do you want to see camels? Do you want to ride on a camel? (乗っているジェスチャーをする)</p>		<p>① You can see many pyramids in Egypt. The pyramids are very big and old. You can ride on a camel. It's fun.</p> <p>② You can see the Statue of Liberty in New York. It's great! You can eat big hamburgers. They are delicious. You can buy cool T-shirts.</p> <p>③ You can see the Great Wall (Banri-no Chojo) in this country. It's very long and very old. It's about 3,000 kilometers long.</p> <p>④ You can visit Red Square (Aka-no-Hiroba) in Russia. Red Square is a big city plaza. It's very beautiful. You can eat pirozhki. It's delicious.</p>	
7分	<p>【Let's Play 1】 ポインティング・ゲーム p.42, 43</p> <p>・指導者の言う語句や文を聞いて、誌面写真をさし示す。</p> <p>・友達と交代に語句や文を言ったり、写真をさし示したりする。</p>	<p>・指導者が言う写真をさし示すよう指示する。慣れてきたら指導者は、You can see / eat / visit / ride ~. などの文で言うようにし、単元終末の活動につながるようにする。</p> <p>・児童の実態に合わせて、ペアになって協力したり、あるいは1人が言って他方がさし示したりするなど、児童同士の活動にすることも考えられる。</p>	<p>デジタル教材</p> <p>児童用テキスト</p>
5分	<p>【Let's Chant】 Where do you want to go? (オプション) p.43</p> <p>・チャンツを言う。</p>	<p>・まず文字を見せずに通して聞かせ、聞き取れた語句を言い、次に言えるところだけ言うように促す。</p> <p>・パートに分け、教師対児童、教室を半分に分け、班ごとに、など活動にバリエーションを加え十分に表現に慣れ親しませる。</p>	<p>デジタル教材</p>
		<p>You can see the Eiffel Tower. (A great tower.)</p> <p>You can eat a croissant. (A yummy croissant.)</p> <p>You can buy chocolate. (A nice gift.)</p> <p>Enjoy your trip and have a good time!</p>	

10分	<p>OLet's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質問に答える。 ・ペアで行きたい国を伝え合う。相手を替えて数回繰り返す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と国名を確認しながら、黒板に国旗カードを掲示する。児童に Where do you want to go? と問いかける。児童に個別に聞き、児童の答えやつぶやきを拾いながら、You want to go to ~. と言い替えていく。I want to go to ~. の言い方を何度も聞かせ、慣れ親しませることがねらい。 	教師用カード(国旗)
<p>やり取りの例</p> <p>T : I want to go to Finland. I want to see Santa Claus. Where do you want to go?</p> <p>S1: America.</p> <p>T : You want to go to America. I want to go to America, too. Where do you want to go, S2?</p> <p>S1: Australia.</p> <p>T : You want to go to Australia. Why?</p> <p>S2: Koalas.</p> <p>T : I see. You want to go to Australia. You want to see koalas. I want to see koalas, too.</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、自分の行きたい国を伝え合うよう言う。 <p>◎行きたい国を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
3分	<p>OLet's Read and Write ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行きたい国を選んで書き写し、英文を完成する。 ・完成した文を声に出して言う（読む）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ I want to go to _____. の文に続けて指導者の行きたい国を書いてみせる。児童にワークシートの下にある国から行きたい国を選んで書き写させる。 ・ 国名を書いた文を含めてワークシートにある3文を、指で追いながら声に出して言ってみようと呼びかけ、ペアで読むように指示する。個別指導をする。 <p>◎行きたい国を選んで国名を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 6-2)
5分	<p>OSounds and Letters ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6つ国旗と国名をつなぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動を通して慣れ親しんだ国旗と国名を、文字から音を類推し、結び付けさせる。 ・ 児童の実態に合わせて、活動の前に全員で国名を読み上げてもよい。 ・ ペアで助け合って活動してもよい。 	ワークシート (Unit 6-10)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・ 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・ 挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 6—Lesson 3 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 3/8 時間
目 標 どの国に行きたいかを尋ねたり答えたりできる。
準 備 出身地に関する地図や絵葉書など (Small Talk 用), 教師用カード (国旗), 児童用カード (国旗), ワークシート (Unit 6-3), デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
4分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 出身地について</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 指導者の出身地について話す。 一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	出身地に関する地図や絵葉書など
<p>Small Talk の例</p> <p>T : Please look at this map. This is the map of Japan. We are here. (学校の所在地を指さしながら) I am from Hiroshima. Where is Hiroshima? (児童に問いかける)</p> <p>Ss: (広島県のあたりをさす)</p> <p>T : Yes, that's right. I am from Hiroshima. You can see Ituskushima Shirine. This is the world heritage. You can see Hiroshima Atomic Bomb Dome. It's the world heritage, too. You can eat delicious Hiroshima-yaki. Hiroshima is nice. Do you want to go to Hiroshima? Where do you want to go?</p>			
4分	<p>【Let's Chant】 Where do you want to go? (オブション) p.43</p> <ul style="list-style-type: none"> パートを分けて自分の行きたい国を当てはめてやり取りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体で1度言った後, 主節と掛け声の2つのパートに分かれて言わせるなど, より実際の対話となるよう言い方に工夫をするとよい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>You can see the Eiffel Tower. (A great tower.) You can eat a croissant. (A yummy croissant.) You can buy chocolate. (A nice gift.) Enjoy your trip and have a good time!</p> </div>	デジタル教材
8分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.44</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像資料を見て, 有名な食べ物, 場所, 建物の特徴や魅力の言い方を知る。 指導者の後に続けて分かったことを言い, インタビューの内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 町で外国の人にインタビューしている様子を見て, どのようなことを話しているか聞き取るよう言う。 インタビューを1つずつ視聴し, 聞き取れた言葉を児童と確認する。町や場所の名前など, 固有名詞が多いので既得の知識がない児童には難易度が高いと思われる。完全な理解は求めず, 聞き取ろうとする態度を大いに褒める。 	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (国旗)
<p>インタビュアー: Hello. May I ask you some questions? 女性 : Yes, sure. インタビュアー: Where do you want to go? 女性 : I want to go to Egypt. インタビュアー: Egypt? Why do you want to go to Egypt? 女性 : You can ride camels. I want to eat "moussaka." I want to see the Pyramids. インタビュアー: Sounds great! Anything else? 女性 : Oh, and I want to visit Cairo. I hear it's very exciting. インタビュアー: Thank you very much. (次ページに続く)</p>			

	<p>(前ページの続き)</p> <p>インタビューア: Hello. May I ask you some questions? 男性 : Yes, of course. インタビューア: Where do you want to go? 男性 : I want to go to America. インタビューア: I see. What do you want to do there? 男性 : First, I want to visit the Statue of Liberty. It's in New York, right? インタビューア: Yes. 男性 : OK. Then I want to watch the Major League Baseball! インタビューア: Great. What else do you want to do in America? 男性 : Mmmmmm. Oh, I want to visit Times Square. It's famous for the New Year countdown. Oh, I want to see Niagara Falls, too. I hear they are wonderful. インタビューア: That sounds nice. Thank you very much.</p>	<p>・分かったことを児童の回答やつぶやきを拾いながら確認をする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">T: In Egypt you can ride a ...? You can eat ...? You can see ...?</p>	
6分	<p>[Let's Chant] Where do you want to go? p.43</p> <p>・音声に合わせて、言えるところから言う。</p>	<p>・1度文字なしで聞かせ、聞き取れた語句を発表させる。その後、言えるところから言わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S1: Where do you want to go? S2: I want to go to France. S1: You want to go to France? S2: Yes, I do. I want to go to France. I want to see the Eiffel Tower. S1: That sounds great. S2: I want to eat a croissant. S1: That sounds yummy. S2: I want to buy some chocolate. S1: That sounds nice.</p> </div>	デジタル教材
10分	<p>[Activity] ① p.44</p> <p>・ペアで、行きたい国(場所)を尋ねたり答えたりする。ペアを替えて繰り返す。</p> <p>S1: Where do you want to go? S2: I want to go to _____. S1: Why? S2: I want to (see / eat)_____.</p>	<p>・児童と国名を確認しながら、黒板に国旗カードを掲示する。児童に Where do you want to go? と投げかける。児童に個別に聞き、児童の答えやつぶやきを拾いながら、You want to go to ~. と言い替えていく。他の児童も一緒に尋ねるよう促す。</p> <p>・Where do you want to go? I want to go to ~. の表現を繰り返し聞いたり言ったりして慣れ親しませることがねらいである。</p>	教師用カード(国旗)
<p>T : I want to go to Turkey. I want to see Cappadocia. It's the World heritage. Where do you want to go? S1: China. T : You want to go to China. Why? S1: I want to see “万里の長城.” T : I see. You want to see the Great Wall. T : Everyone, please ask S2. Where do you want to go, S2? S2: America. T : You want to go to America. Why? S2: I want to see baseball games. T : Wow! Me, too.</p>			

		<ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり，自分の行きたい国を尋ねたり答えたりして伝え合うよう言う。 ◎行きたい国を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 	
5分	○Let's Read and Write ③ <ul style="list-style-type: none"> ・紹介したい国（場所）の名前をポスターに書き写す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターに行きたい国の名前を書き写させる。 ・調べ学習として，次時までには情報を集め，ワークシートに紹介したいことを□に記すよう言う。ワークシートが後のポスターの下書きとなる。 	ワークシート（Unit 6-3）
5分	○Sounds and Letters ② <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を活用して，始まりの音が違う言葉を探す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの単語を音声だけで聞き，最初の音の違いを考えさせる。 ・文字を見て一緒に言いながら確認をする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「ツール」 →「Hi, friends! Plus」→「クイズ6 仲間の言葉を集めよう」 </div>	デジタル教材
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 6—Lesson 4 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 4/8 時間
目 標 お勧めの国について伝え合う。
準 備 教師用カード (国旗, 状態・気持ち), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 6-3 : 前時に使用したもの, Unit 6-4), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童と挨拶をする。	
5分	【Jingle】 Countries Jingle p.48 (p.78) ・デジタル教材を視聴しながらジングルを言う。 ・アルファベットの文字をヒントに国名を言う。	・デジタル教材を視聴しながら誌面 p.78 の Countries Jingle シートを見せ, 指導者が与えるヒントで国名を考えさせる。 <ヒント例> No.1 hint, red and white. No.2 hint, a circle. No.3 hint, 'J'. (初頭の文字)	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (国旗)
10分	【Let's Watch and Think 3】 p.45 ・最初に児童用テキストの写真を見て, 予想を立てる。 ・4つ国の観光名所, 建物, 食べ物, お土産物などの特徴や魅力を話している映像資料を視聴し, 線で結ぶ。	・映像は, 旅行会社社員が世界旅行の行き先を勧めている内容である。 ・視聴する前に, 誌面の写真から予想を立ててから聞かせるとよい。 ・黒板に exciting や delicious など状態を表すカードを掲示して音声を確認してから視聴してもよい。 ・児童用テキストの写真のヒントに聞き取れた情報と合わせ, 線で結ぶよう言う。 ・全体を通して視聴した後は, 少しずつ止めて再び視聴するなど児童の理解を助けるようにする。1度ですべての情報を聞き取ることを目さすのではなく, まず聞ける部分を聞いて大意を理解する。その後, 何度も聞かせ理解を深めさせる。 ・次の活動と合わせて, お勧めの国の紹介の仕方の例を何度も聞かせることで, Activity での紹介をどのようにしたらよいかを考える際のヒントにさせることがねらいである。	デジタル教材 児童用テキスト
1. 旅行代理店: Peru is very nice. You can see Machu Picchu. It's great. Look. This is seafood soup. You can buy a poncho. Here is a picture. It's a nice gift. 2. 旅行代理店: Visit Australia! Do you want to see koalas? You can see koalas in Australia. It's fun. You can eat lamingtons. They are cakes. You can buy a map of Australia. It's a nice gift. 3. 旅行代理店: Go to Italy! You can see the Colosseum. It's exciting. You can eat pizza. It's yummy! You can buy olive oil. It's good for your health. 4. 旅行代理店: How about France? You can see the Eiffel Tower. You can go up the tower. You can see the city from there. It's beautiful. You can eat croissants. You can eat French chocolate, too.			
	・答え合わせの時は, 使われていた You can ~. の表現をみんなで言いながら確認する。	・単に答え合わせに終わらないように, 聞き取った情報をもとに児童に質問をし, やり取りをする。 <指導者の質問例> Do you like seafood? Do you want a poncho? Do you like koalas? Do you want to see koalas? Do you like cake? など	

8分	<p>○マッチング・ゲーム</p> <p>・観光名所, 食べ物, 飲み物, 買える物と It's delicious. It's fun. 等を, 理由とともに言う。</p> <p>S: You can see koalas in Australia. It's fun.</p>	<p>・児童と状態を表す語を確認しながら黒板にカードを掲示する。</p> <p>It's (beautiful, delicious, great, exciting, fun).</p> <p>・児童と実際にやりながら進め方を理解させるようにする。指導者が, You can see / eat / buy ~. とカードを見せながら言い, It's ...? と状態を表すカードをさし示しながら, どれかを言うよう指示する。そうする中で, 児童が mismatch のものと言った際に, 児童に It's delicious?! と問い, 状態を表す語の意味を十分に理解させるようにする。</p> <p>・ただし, 児童の自由な発想や積極的な発話をおおいに褒めるようにする。</p>	デジタル教材 教師用カード(国旗, 状態・気持ち)
10分	<p>【Activity】② p.44</p> <p>・ペアになり, お勧めの国を伝え合い, 誌面表に記入する。</p>	<p>・この Activity は, 世界に目を向け, どんな国に行ってみたいか, またそこではどんなことができるかを, 事前に調べてきたことをもとに考えて伝え合う活動である。</p> <p>・まずは, 指導者が例を示す。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>T: This is Finland. You can see Santa Claus. You can see the aurora / northern lights in Finland. You can ski. You can eat fresh fish. Finland is nice.</p>		<p>・デジタル教材で, 基本となる文例を聞かせてから取り組ませてもよい。</p> <p>・ペアになり, 伝え合わせる。相手を替えて繰り返させる中で, 分からない表現等が出てきたら, 学級全体で共有し, 既習表現から言えそうなものに置き換えて表現させるようにする。</p> <p>◎お勧めの国を, 理由も含めて伝え合っている。</p> <p><行動観察・振り返りカード点検></p>	
6分	<p>○Let's Read and Write ④</p> <p>・紹介したい国(場所)の観光名所や施設についての文を, 語順を意識しながらポスター(ワークシート)に書き写す。</p>	<p>・前時, ワークシート (Unit 6-3) に書き写した国名を再び, ワークシート (Unit 6-4) に書き写させる。その後, 前活動で伝え合ったお勧めの国の情報をさらにワークシートに記す。その際, ワークシートには, You can see, You can eat / drink, You can buy の後に4線が記されているが, そこに英単語を書くのではなく, 見られる/食べられる/飲める/買えるものなどは, 日本語で記入させる。ただし, 児童の実態に応じて, 英単語を書き写すことも考えられる。あるいは, ワークシート (Unit 6-3) に描いた絵やチラシの切り抜きを貼ってもよい。これをポスター完成品としてもよいし, 別の時間等にこれをもとに新たに画用紙でポスターを作らせてもよい。</p>	ワークシート (Unit 6-3: 前時に使用したもの, Unit 6-4)
3分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 6—Lesson 5 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 5/8 時間
目 標 お勧めの国について紹介することを整理し、伝え合うとともに、文字の音を推測しながら音声で慣れ親しんだ簡単な語を読む。
準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 6-5～6-7) , デジタル教材, 行きたい国に関する地図や写真など (Small Talk 用), 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ○Small Talk : 行きたい国 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童と挨拶をする。 行きたい国について話す。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	行きたい国に関する地図や写真など
<p>Small Talk の例 (指導書 p.63 参照)</p> <p>This is Japan. (世界地図を示しながら) We live in Japan. We are from Japan. Tom <i>sensei</i> is from Canada. Where is Canada? Yes. It's here. There are many countries around the world. For example, Australia, India, Kenya, Egypt, Brazil and so on. Which country do you want to go to? Where do you want to go? Me? New Zealand! (ニュージーランドの風景写真を見せながら) I want to go to New Zealand. Look. It's beautiful! I want to go to New Zealand. You can see beautiful mountains, beautiful beaches and beautiful lakes in New Zealand. I have a friend in New Zealand. I want to see my friend, an ALT, Kate <i>sensei</i>! She is from New Zealand. She is a teacher in New Zealand now. I want to go to New Zealand. Do you want to go to New Zealand, too?</p>			
2分	<p>[Jingle] Countries Jingle p.48 (p.78)</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴しながら言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくりバージョンを使って、日本語と違う音声にも注目させながら繰り返すように指示する。 今まで知っていた国名と発音が大きく異なる国はどこかを考えさせる。(エジプト, ロシアなど) 	デジタル教材
<p>デジタル教材: 「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Countries」</p>			
3分	<p>[Let's Chant] Where do you want to go? (オプション) p.43</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌詞を自分の情報に置き換えて言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全員でチャンツを繰り返した後、「音声なし」で自分の情報を当てはめて言うように指示する。 ペアになって、自分の情報に当てはめたり、相手の情報に合わせたりして言い合う。 	デジタル教材
<p>You can see the Eiffel Tower. (A great tower.) You can eat a croissant. (A yummy croissant.) You can buy chocolate. (A nice gift.) Enjoy your trip and have a good time!</p>			
6分	<p>[Let's Listen] p.47</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真をヒントに、どの国か予想を立てる。 ヒントになる言葉や表現を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 3つの国旗を見て、児童と国名を確認する。 誌面の写真をもとに、3つのうちのどの国かを予想を立てさせたいうで聞かせることで、聞く目的をもたせるようにする。 1度聞かせ、自身の予想が合っているかを確認させ、どんなところからそう思ったのかを尋ねる。再度聞いて答えを確認する。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>1. You can see the Taj Mahal. It's famous. You can eat delicious curry and nan. You can eat tandoori chicken. You can see many animals in Elefantastic. What country is this? 2. You can see the aurora. It's beautiful. You can see the Rocky Mountains and you can see Niagara Falls. It's beautiful in winter. You can eat maple syrup and lobsters. What country is this?</p>			

6分	<p>【Let's Watch and Think 4】 p.46</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像資料を見て、分かったことを誌面口書き発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取れた言葉を What did you hear?と問いかける。単語レベルでも聞き取れば大いに褒める。 ・再び視聴し聞き取れたことを問う。That's right.と褒めながら You can see the Iguazu Falls.などと指導者は文で言うようにする。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>Hello. My name is Kosei. Brazil is a nice country. You can see Iguazu Falls. They are great! You can see Cristo Redentor, in Corcovado. It's very famous. In Brazil, you can visit coffee farms. Do you like coffee? You can buy good coffee for your family. You can see the carnival in Rio de Janeiro. It's very exciting! You can see beautiful beaches. You can take a trip to the Amazon River. It's exciting. Thank you.</p>			
20分	<p>【Activity】 ③ p.44</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ You can see / eat / buy / drink ~. などの既習表現も使って紹介する内容を考える。 ・ペアで紹介し合う。 <p>○Let's Read and Write ⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターを見て、知っている単語に印を付ける。 ・さらに自身のおすすめの国の内容に付け加えをして、ペアで紹介し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に引き続いて、これまでに書き写したワークシートや調べたことなども参考に、お勧めの国の内容を考えるよう言う。ワークシートに記したことは、自身の考えをまとめるものであり、決して読み原稿としては扱わないことに留意する必要がある。 ・ある程度できたら、ペアで紹介し合うよう言う。個別に支援する。 ◎お勧めの国について紹介することを整理し、伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ・こうせいがお勧めの国として紹介するブラジルについて書かれたワークシート (Unit 6-5~6-7) の中から音声で慣れ親しんだ単語や表現を見つけ、印をするように指示する。 ・この活動は、自分のお勧めの国紹介で付け加えたい情報を得ることをねらいとしている。得た情報から、自身のおすすめの国紹介に付け足したり、構成を考えたりし、ペアで紹介し合うよう言う。 ◎お勧めの国について紹介することを整理し、文字の音を推測しながら読んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉 	ワークシート (Unit 6-5~6-7)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 6—Lesson 6 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 6/8 時間
目 標 お勧めの国について紹介することを整理し、文字の音を推測しながら他者に伝える目的を持って書き写し、意味が分かる。
準 備 土産物や建造物の写真など (Small Talk 用)、児童用テキスト、ワークシート (Unit 6-3, 6-4, 6-8, 6-9)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 行きたい国にまつわる土産物や建造物</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童と挨拶をする。 紹介したい土産物や建造物等について話す。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 写真や絵葉書などを見せながら、行きたい国の土産物や建造物などの話をする。 	土産物や建造物の写真など
	<p>Small Talk の例</p> <p>T: I want to go to New Zealand someday. This is the postcard of New Zealand. You can see many beautiful mountains and lakes there. (絵葉書を示しながら) I want to go up the sky tower in Oakland. You can buy honey. Manuka honey from New Zealand is very good for your health.</p>		
3分	<p>【Let's Chant】 Where do you want to go? (オプシオン) p.43</p> <ul style="list-style-type: none"> 台詞を、自分の情報に置き換えチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態により、スピードやチャンツを選び言わせ、次第に発話への自信をもたせるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>You can see the Eiffel Tower. (A great tower.) You can eat a croissant. (A yummy croissant.) You can buy chocolate. (A nice gift.) Enjoy your trip and have a good time!</p> </div>	デジタル教材
8分	<p>【Activity】 ④ p.44</p> <ul style="list-style-type: none"> まとめた紹介内容を確認し、前時とは違う相手とペアになり、相手意識をもって人に伝えるための練習をしたり、ペアでアドバイスをしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアで、お勧めの国を紹介し合い、アドバイスをし合うよう伝える。 ある程度言えるようになれば、今度はワークシートをなるべく見ずに、顔をあげて話すように伝える。 	ワークシート (Unit 6-3, 6-4)
10分	<p>○Let's Read and Write ⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介したい国 (場所) の名物料理や飲み物についての文を、語順を意識しながら書き写す。 紹介したい国 (場所) の土産物や買えるものについての文を、語順を意識しながら書き写す。写真等を貼ってポスターを完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 例にならって、自分が伝えたい内容を、参考例 (ワークシート Unit 6-8にある Hikariの紹介文) を見て、語順を意識しながら丁寧にワークシート書くよう言う。 ただし、I want to see / eat / buy の後に4線が記されているが、英単語を書くのではなく、ここは日本語 (カタカナなど) で記させる。また、It's ~. は、ワークシート (Unit 6-9) 下にある Hint Box から語を選んで書き写させるようにする。たとえ、see / eat / buy の後に日本語で書くとしても語順を意識させることが大切である。よって、書写する際には丁寧に書くとともに、小さい声を出して読みながら、音と意味と文字を結び付けながら行うように伝える。 指導者が例を板書し、児童の気付きを促しつつ、語順にも注意を払うよう指導する。 	ワークシート (Unit 6-8, 6-9)

		<ul style="list-style-type: none"> ・またこの活動の目的は、紹介文の発表原稿作成ではなく、紹介する際に自分の考えをまとめることであることに留意する。 ◎お勧めの国について紹介することを整理し、文字の音を推測しながら他者に伝える目的をもって書き写している。 <p><行動観察・記述観察・振り返りカード点検></p>	
7分	<p>【Let's Watch and Think 5】 p.48</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Hikari と Kenta のお勧めの国の発表を聞き、内容を聞き取るとともに、自分の発表のイメージをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2人のスピーチを聞いて、5つの国のどこの話か考えさせる。 ・ 視聴する前に、国名を確認するとともに慣れ親しんだ文を目にすることで、これから視聴して得られる情報への興味・関心を高める。 ・ 映像視聴を通して、児童が発表のイメージをもてるようにする。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>No.1 : Hello. My name is Hikari. In this country, you can visit Ayutthaya. You can see the palace, too. You can eat tom yum kung. Do you like spicy soup? It's spicy but delicious. You can buy coconut oil. It's good. Thank you!</p> <p>No.2 : Hello. My name is Kenta. In this country, you can see the Neuschwanstein Castle. You can see a wonderful cathedral in Cologne, too. It's beautiful. You can eat sausages. I like sausages very much. You can buy nice scissors. They are great. Thank you.</p>			
9分	<p>○スピーチを工夫しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者のスピーチ (Small Talk : 行きたい国) をしっかり聞く。 ・ 自分のお勧めの国の紹介をペアで役割を交代しながら練習し、2か所の観光案内を共通理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手意識をもって、お勧めの国がしっかり伝えられるように指導者がモデルとなって、再びSmall Talkをする。 ・ 「メモを見ながら話す」「小さい声で話す」「何度も詰まって話す」などの例を実際に指導者が見せ、児童にIs it OK? と問いかけてみてもよい。その場合は、何をどう改善すべきかを児童に考えさせるとよい。 ・ ペアで発表を交互に行い、どのように工夫すればよいかアドバイスし合わせる。 	ワークシート (Unit 6-8, 6-9)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・ 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・ 挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 6—Lesson 7 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 7/8 時間
目 標 他者に配慮しながら、自分のお勧めの国について内容を整理し伝えようとする。
準 備 児童用テキスト, ワークシート (Unit 6-8, 6-9) , デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童と挨拶をする。	
5分	【Jingle】 Countries Jingle p.48 (p.78) ・ジングルを言う。 ・ジングルに出てくる国以外にどんな国があるかみんなで考える。 (オリンピックの出場行進などを参考に)	・児童の実態により、スピードやオプションを選んでジングルを言わせるようにする。 ・黒板にアルファベット小文字のカードをいくつか掲示して、児童がジングルで記憶している国名を言ったり、あるいは他にどんな国があるか問いかけたりすることで、児童が自分で調べるきっかけにもできる。ただし、児童がまだ十分に理解できない読みのルールが適応される国名もあるので、そこで詳しく説明するのではなく、英語には読み方のルールがあることを中学校で学習することを伝える。	デジタル教材 教師用カード (アルファベット小文字)
28分	○お勧めの国を紹介し合う。 ・ペアになり、紹介する側と聞く側に分かれて、互いのお勧めの国とその理由を伝え合う。 ・その時、どのように工夫をすれば相手に伝わりやすいかを考えながら伝え合う。	・前時までに練習してきたことを確認した上で、クラスのいろいろな友達とペアになり、互いにお勧めの国を紹介をさせる。 ・個別に支援する。 ・活動の途中で中間評価をして、よいモデルを学級全体で共有し、よりねらいに沿った活動になるようにする。 ◎他者に配慮しながら、自分が行きたい国について理由も含めて伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	ワークシート (Unit 6-8, 6-9)
7分	○Sounds and Letters ③ ・デジタル教材で、始まりの音が違う言葉(単語)を探して、発表する。	・3つの単語を音声だけで聞き、最初の音が何かを考えさせ、3つのうち違う音の単語が何かを考え、その単語がどれかを答えるよう言う。 ・文字を見て一緒に言いながら確認をする。 ・第3時で行った活動を繰り返し、What's the first letter? と最初の文字を確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> デジタル教材:「教材どうぐばこ」→「ツール」→「Hi, friends! Plus」→「クイズ7 始まりの音がちがうのはどれでしょう」 </div>	デジタル教材
3分	・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

5年 Unit 6—Lesson 8 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 8/8 時間
目 標 他者に配慮しながら、自分のお勧めの国について内容を整理し伝え合おうとする。
準 備 教師用カード (国旗), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 6-8, 6-9), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童と挨拶をする。	
5分	【Jingle】 Countries Jingle p.48 (p.78) ・ジングルを言う。 ・ペアで Countries Jingle シートを見て、指導者が言う国名を聞き、どのアルファベットの文字で始まるかを考え、国をさし示しながら言う。 ・ペアで問題を出し合う。	・児童の実態により、スピードやオプションを選んでジングルを1度言わせる。 ・児童用テキスト p.78 の Countries Jingle シートを開かせ、国名を言う。 <例> T: Japan. Ss: J. T: Very good. T: Korea. Ss: K. T: Good job ・ペアで問題を出し合うよう指示する。 ・文字と音については、単元を通して適宜評価する。	デジタル教材 児童用テキスト
20分	○お勧めの国を紹介し合う。 p.44	・前時の交流で知った新たな情報も加えて、学級全体でお勧めの国の紹介をし合わせる。クラスを紹介する側、それを聞く側の2グループに分け、各児童が興味のある国のブースに行ってお勧めのポイントを聞けるようにする。また、各ブースを回り得た情報や自身のお勧めの国も含めて、もっとも行きたい国を選んで、各児童が後で発表することも伝えておく。 ◎他者に配慮しながら、自分のお勧めの国を紹介したり、紹介を聞いて情報を聞き取ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>	ワークシート (Unit 6-8, 6-9)
10分	○行きたい国ランキングを投票で決める。 ・自分のお勧めの国も含めて、1番行きたい国を答えて、学級の行きたい国ランキングを決める。	・指導者は全員に向かって Where do you want to go? と問いかけ、挙手した児童に答えさせる。 ・答えた児童に全員で Why? と理由を尋ねて答えさせる。 ・答えた国のカードを黒板に掲示しながら、Who wants to go to ___? と問いかけて、その国を選んだ人数を黒板に記録する。 ・何度かこのやり取りを繰り返し、学級の人気ランキングをまとめる。 The No. 1 country is ___!	教師用カード(国旗)
5分	【STORY TIME】 p.49 ・絵本の読み聞かせを聞く。	・児童用テキスト p.49 の絵本ページの読み聞かせをする。 ・絵本を読み聞かせる際には、一方的に絵本の台詞を読むのではなく、児童と各ページにあるさまざまなイラストや話の筋についてやり取りしながら読むようにする。そうすることで、話の筋についての理解を助けるとともに、児童を絵本の世界に引き込むことができる。 ・高学年で扱っている絵本のページに記されている台詞は、やがて児童が読み聞かせを聞きながら絵本の台	デジタル教材 児童用テキスト

	<p>At lunch time マリア：I have a brother. He is a junior high school student. We sometimes play soccer together.</p>	<p>詞を指で追って聞いたり，自分で読むことに挑戦したりすることを想定し，短く単純なものにしている。よって，指導者が台詞以外の言葉を加えながらやり取りを行い，児童の想像を膨らませるようにすることが大切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者は，ジェスチャーを付け，表情豊かに読む。これらも児童にとっては，物語の筋を理解するうえで大切な情報源となる。デジタル教材を使って読み聞かせをしてもよい。デジタル教材を使って，あるいは指導者が読んで行う。 ・次のような内容と関連した質問を児童にすることで，内容の理解をより深めるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>T: Do you have any brothers / sisters? S1, you have a brother. Is he a junior high school student? Do you play soccer? Do you like soccer? What sports do you like? など</p> </div>	
2分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動及び単元全体を振り返り，振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年—Unit 7

単元名

Where is the treasure?

位置と場所

1. 単元目標

- ・物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句を書き写すことができる。(知識及び技能)
- ・道案内で、場所を尋ねたり答えたり、簡単な語句を推測しながら読んだりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- Where is the treasure? Go straight (for three blocks). Turn [right / left] (at the third corner). You can see it on your [right / left]. It's [on / in / under / by] (the desk).
- 身の回りの物 (cup, basket, bat, castanets, compasses, dice, glasses, globe, glove, map, mat, piggy bank, wall, whistle, yo-yo), 施設・建物 (fire station, gas station, police station, post office, hospital, supermarket, convenience store, department store, park), treasure, block, in, under, by, corner
[既出] 動作, 施設・建物 (library, school, park, station, bookstore), 身の回りの物, right, left, straight, cap

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【】, ○) 【】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>○Small Talk : 宝物 【Let's Watch and Think】 p.50, 51 ・映像資料を見て、いろいろな場所にある物を見つける。</p> <p>○コマンド・ゲーム ・指導者が言う通りに、言われた物を置く。</p> <p>○どこにあるかな。 【Let's Play 1】 ポインティング・ゲーム p.50, 51 ・ペアか個人で、指導者が言うものをさし示す。</p> <p>【Let's Chant】 Where is the treasure? (オプション) p.52</p> <p>○Let's Read and Write ① ・イラストが示す語の最初の小文字を選んで、4線上に書く。</p> <p>○絵本を読もう。 ・絵や文字を見ながら、読み聞かせを聞く。</p>	◎ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
2	<p>◆ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.50, 51 ・映像資料を見て、いろいろな場所にある物を見つける。</p> <p>【Let's Listen 1】 p.52 ・やり取りを聞いて、探し物がどこにあるかを考えて誌面イラストに印を付ける。</p>	

	<p>【Let's Chant】 Where is the treasure? (オプション) p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 <p>○コマンド・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コマンド・ゲームをする。 <p>指導者が言うのを聞いて、言われた物を言われた通りのところに置く。</p> <p>【Let's Play 2】 p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人がある物を選び、場所に関するヒントをもとに、他方はそれが何かを考えて答える。 <p>○Let's Read and Write ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストが示す語の最初の小文字を選んで、4線の上に書く。 	<p>◎ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆ある物の場所や物の位置関係を表す表現を、聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>○Small Talk : 指導者の家 (部屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 <p>【Let's Chant】 Where is the treasure? (オプション) p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 <p>○コマンド・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コマンド・ゲームをする。 ・ペアの相手に言われた物を言われた命令通りの場所に置く。 <p>【Let's Listen 2】 p.53</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、登場人物の部屋がどれかを記入する。 <p>【Let's Play 3】 p.53</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人が4つの中から部屋を選ぶ。物がある場所の説明を聞き、他方はそれがどの部屋かを答える。 <p>○Let's Read and Write ③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストが示す語の最初の小文字を選んで、4線の上に書く。 <p>○絵本を読もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵や文字を見ながら読み聞かせを聞く。 	<p>◎ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆建物の言い方や、道案内の表現を知り、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができるとともに、推測しながら読む。</p> <p>○Small Talk : 様々な施設</p> <p>○フェイント・ゲーム</p> <p>【Let's Listen 3】 p.54</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道案内の音声を聞いて、どこの建物に行くかを考えて発表する。 <p>○Let's Read and Write ④ (p. 54)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの文字を見つけ、その単語を書き、類推しながら読む。 <p>【Let's Chant】 Where is the treasure? p. 52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 	<p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を推測して読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆道案内の表現を聞いたり言ったり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができるとともに、推測しながら読む。</p> <p>【Let's Chant】 Where is the treasure? p. 52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 <p>○コマンド・ゲーム</p> <p>【Let's Listen 4】 ① p.56, 57</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道案内の音声を聞いて、鉛筆でなぞりながら進む。答えを確認して言ってみる。 	

	<p>○Let's Read and Write ⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4か所で見つけたものの最初の文字を、4線の上に書き写す。 <p>【Let's Play 4】 p.54</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面地図を見てペアで道案内をして、相手を目的地に案内する。 <p>○絵本を読もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵や文字を見ながら、読み聞かせを聞く。 	<p>◎音声で慣れ親しんだ簡単な語を書き写している。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎音声で慣れ親しんだ簡単な語を推測して読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
6	<p>◆ある物の場所を尋ねたり答えたり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができるとともに、推測しながら読む。</p> <p>○Small Talk : 校内の好きな場所</p> <p>【Let's Chant】 Where is the treasure? (オプション) p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを選んで言う。 <p>【Let's Listen 4】 ② p.56, 57</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道案内の音声を聞いて、鉛筆でなぞりながら進む。 <p>○Let's Read and Write ⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4か所で見つけたものの最初の文字を、4線の上に書き写す。 <p>【Activity】 p.56, 57</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストから宝物を1つ選び、ペアで Where is your treasure? と尋ね、道案内から宝物が何であったかを Your treasure is ~. と答える。 	<p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を推測して読んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎ある物の場所を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆ある物の場所を尋ねたり答えたりして伝え合うとともに、他者に配慮しながらある物やそれがあある場所について説明しようとする。</p> <p>【Let's Chant】 Where is the treasure? p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを選んで言う。 <p>○宝物を探そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで協力して、教室に隠された暗号カードを見つける。 	<p>◎ある物の場所を尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎他者に配慮しながら、ある物やそれがあある場所について説明している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができる。</p> <p>【Let's Chant】 Where is the treasure? p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを選んで言う。 <p>○Let's Read and Write ⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート (Unit 7-3) にアルファベットの文字を書き写し、単語を完成させる。 <p>○宝物が何かを解明し、自分の宝物を探そう。</p> <p>【STORY TIME】 p.55</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを聞く。 	<p>◎アルファベットの活字体の小文字を書いて単語を完成させている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎音声で慣れ親しんだ簡単な語を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>

5年 Unit 7—Lesson 1 単元名 Where is the treasure? 位置と場所 1/8時間

目 標 ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりすることができる。

準 備 宝物やその写真など (Small Talk 用), 児童用テキスト, 教師用カード (位置, 物), ワークシート (Unit 7-6), 消しゴムなど, デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物		
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ○Small Talk : 宝物 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 宝物について話す。顔の表情豊かにジェスチャーを付けて児童が理解できるように話す。 	宝物やその写真など		
<p>Small Talk の例</p> <p>T: Look at this. This is my treasure. My treasure. What is it? Can you guess what it is? A letter? Yes, that's right. This is a letter. A letter from who? Who gave it to me? A friend? My friend? Yes, that's right. From my friend. This is the letter from my friend, Chiharu. She was my best friend in elementary school. We were very good friends. Then she moved to Hokkaido with her family. We said goodbye. (別れるジェスチャーをしながら) I was very sad. (泣くジェスチャーをしながら) She gave me this letter. It's a very nice letter! It's very important to me. This is my treasure. What's your treasure?</p>					
8分	<p>【Let's Watch and Think】 p.50, 51</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像資料を見て、いろいろな場所にある物を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 視聴する前に、児童用テキスト p.50, 51 を開けさせ、机の上等にどのようなものがあるか発表させる。 その後、デジタル教材でQ 1～10を視聴する。 聞き取れたことや繰り返し出てきた表現などについて児童の答えやつぶやきを拾いながら、場所を表す語句や表現を確認する。また、ジェスチャーを交えるなどして、児童が内容を推測しやすいようにする。 	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (前置詞, 物)		
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> No.1 : A yo-yo. It's on the desk. No.2 : A pencil case. It's by the book. No.3 : A pencil. It's in the pencil case. No.4 : A clock. It's on the wall. No.5 : A watch. It's under the book. No.6 : A cup. It's by the scissors. No.7 : A glue stick. It's in the box. No.8 : A ruler. It's in the cup. </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> No.9 : Glasses. They are on the notebook. No.10 : Color pencils. They are under the calendar. 1. Where is my ruler? It's in the cup. 2. Where is my watch? It's under the book. 3. Where is my cup? It's by the scissors. 4. Where is my glue stick? It's in the box. </td> </tr> </table>				No.1 : A yo-yo. It's on the desk. No.2 : A pencil case. It's by the book. No.3 : A pencil. It's in the pencil case. No.4 : A clock. It's on the wall. No.5 : A watch. It's under the book. No.6 : A cup. It's by the scissors. No.7 : A glue stick. It's in the box. No.8 : A ruler. It's in the cup.	No.9 : Glasses. They are on the notebook. No.10 : Color pencils. They are under the calendar. 1. Where is my ruler? It's in the cup. 2. Where is my watch? It's under the book. 3. Where is my cup? It's by the scissors. 4. Where is my glue stick? It's in the box.
No.1 : A yo-yo. It's on the desk. No.2 : A pencil case. It's by the book. No.3 : A pencil. It's in the pencil case. No.4 : A clock. It's on the wall. No.5 : A watch. It's under the book. No.6 : A cup. It's by the scissors. No.7 : A glue stick. It's in the box. No.8 : A ruler. It's in the cup.	No.9 : Glasses. They are on the notebook. No.10 : Color pencils. They are under the calendar. 1. Where is my ruler? It's in the cup. 2. Where is my watch? It's under the book. 3. Where is my cup? It's by the scissors. 4. Where is my glue stick? It's in the box.				
5分	<p>○コマンド・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者が言う通りに、言われた物を置く。 	<ul style="list-style-type: none"> デモンストレーションをして、進め方を理解させるようにする。最初は児童が命令を聞き取りやすいように、場所を表す語句をゆっくりはっきり発音する。 ただ命令の場所に置くだけでなく、指導者に続いて発音し、それから動作をするように指示する。 	消しゴムなど		
<p>コマンド・ゲームの進め方</p> <p>T: Do you have an eraser? (指導者の消しゴムを見せ、それを机に置きながら話す。) Put it on your desk. S: 消しゴムを出し、机の上に置く。 T: On the desk. S: On the desk. T: On the pencil case. S: On the pencil case. (繰り返し言い、筆箱の上に消しゴムを置く。) T: In the pencil case. S: In the pencil case. (繰り返し言い、筆箱の中に消しゴムを置く。) T: By the pencil case. S: By the pencil case. (繰り返し言い、筆箱のそばに消しゴムを置く。) T: Under the pencil case. S: Under the pencil case. (繰り返し言い、筆箱の下に消しゴムを置く。)</p>					

5分	<p>○どこにあるかな。</p> <p>進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童に鉛筆、消しゴム、定規、スティックのり、筆箱、色鉛筆を見せ、その言い方を確認する。児童に目をつぶらせ、その間に指導者はそれらをポケットの中や机の中、ノートの下など身の回りのどこかに隠す。 ・児童に目を開けさせ、Where is my pencil? Please guess. と行って、ポケットをたたいたり、机の中をのぞいたりする。児童の回答やつぶやきを拾いながら位置の言い方を何度も聞いたり言ったりさせるようにする。 <p>T: Where is my pencil? Please guess. Listen to the sounds. (ポケットをたたく)</p> <p>S: Pocket?</p> <p>T: Yes, ...i....</p> <p>S: In (the pocket)!</p> <p>T: That's right. My pencil is in my pocket. Very good.</p>		
5分	<p>【Let's Play 1】ポインティン</p> <p>グ・ゲーム p.50, 51</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用テキスト p.50, 51 の写真を見ながら、指導者が言うものをさし示す。ペアか個人で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーションをして、進め方を理解させるようにする。 ・誌面にある物をその位置とともに言う。ねらいは、表現を何度も聞いたり繰り返し言ったりすることから、テンポよく行うようにする。 ・児童の実態に応じて、個人で行ってもよい。 <p>◎ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用テキスト
4分	<p>【Let's Chant】Where is the treasure? (オプション) p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れてきたらスピードを変えたり、物や場所を児童に選ばせたりして意欲を高める。 	デジタル教材
5分	<p>○Let's Read and Write ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8つのイラストの語を確認してから、その語の最初の小文字を5つの文字の中から選んで4線に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに音声で十分に慣れ親しんでいる、ワークシートにある8つのイラストの語を児童と確認する。その後、それらの語の最初の音のアルファベットの文字を5つの中から選び、4線にその文字を書かせる。その際、ワークシート上部にあるアルファベットの文字を参考にさせるとよい。ここのねらいは、単語の初頭音を聞き取らせるというよりは、アルファベットの小文字を書かせることであり、機械的に書かせるのではなく、単語の中の1文字として書かせるようにする。 ・8つの語の音声をデジタルで聞かせることも可能である。p.7, 13, 17, 23 のページ下のイラストをクリックすると音声流れる。 	デジタル教材 ワークシート (Unit 7-6)

5分	<p>○絵本を読もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で絵本を見ながら読み聞かせを聞く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「ツール」→「Hi, friends! Plus」→「絵本A Letter to ...」 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 絵本を読み聞かせる際には、一方的に絵本の台詞を読むのではなく、児童と各ページにあるさまざまなイラストや話の筋についてやり取りしながら読むようにする。そうすることで、絵本の筋についての理解を助けるとともに、児童を絵本の世界に引き込むことができる。 指導者は、ジェスチャーを付け、表情豊かに読む。これらも児童にとっては、物語の筋を理解するうえで大切な情報源となる。デジタル教材を使って読み聞かせをしてもよい。 絵本の内容は、動物たちが追いかけてっこをしている場面で、誰かが誰かを追いかける繰り返しである。ここで繰り返して出てくる表現から、児童が英語の語順に気付くことが予想されるが、語順への気付きは、6年生教材 We Can! 2 Unit 3 で扱っているため、ここでは児童の気付きを認める程度とする。それよりも、登場する動物の語の初頭音の文字を合わせると WORLD PEACE となることに気付かせたい。 また、児童の実態に応じて、途中で止めて数回に分けて読むなど児童の興味を引く読み方を工夫する。 	デジタル教材
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

	た物を言われた通りのところに置く。	<ul style="list-style-type: none"> ただ命令の場所に置くだけでなく、指導者の後に続いて一斉に言わせ、児童に物を置かせてから、指導者はその物を置いて答えを確認させる。 前回とは違うさまざまな物と場所を使って行う。 	置, 物)
<p>コマンド・ゲームの進め方 T: Where is the ruler? (指導者の定規を見せ、それを示しながら話す。) S: Where is the ruler? (定規を持ち、指導者の言うことを繰り返す。) T: It's on the pencil case. S: It's on the pencil case. (繰り返し言い、on the pencil case の意味を考えて筆箱の上に定規を置く。) *指導者の後について一斉に言うことに慣れてきたら、書画カメラに指導者の筆箱を写したり、実物を示したりしながら Where is the ruler? と質問をし、It's in the pencil case. と答えを児童に言わせるなど、尋ねたり答えたりする表現を児童の実態により、次第にレベルアップしながら進めるとよい。</p>			
7分	<p>【Let's Play 2】 p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで、1人がある物を選び、場所に関するヒントをもとに、他方はそれが何かを考えて答える。 <p>役割を交代して続ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 進め方の例を示す。 チャンツやコマンド・ゲームで言い慣れた表現を使って、実際にやり取りをすることをねらいとしている。 	児童用テキスト
<p>進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> 誌面 p.52 を使用し、ペアで行う。 ペアの1人が、誌面の部屋の中から欲しいものを1つ決める。ペアの他方は、それがどこにあるかを尋ねる。欲しいものを決めた方は、誌面をよく見て、そのものがある場所を答える。場所を尋ねた方は、それを聞いて、相手が決めた欲しいものが何かを考えて答える。 <p>A: 壁にかかったTシャツを選ぶ。 B: Where is it? A: It's on the wall. B: Is it a cap? A: No, it's not. It's not blue. It's white. B: O.K. It's a white T-shirt. A: That's right.</p> <ul style="list-style-type: none"> 役を交代して続ける。 			
		◎ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	<p>○Let's Read and Write ②</p> <ul style="list-style-type: none"> 8つのイラストの語を確認してから、その語の最初の小文字を5つの文字の中から選んでワークシート4線に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでに音声で十分に慣れ親しんでいる、ワークシートにある8つのイラストの語を児童と確認する。その後、最初の音のアルファベットの文字を5つの中から選び、4線にその文字を書く。その際、ワークシート上部にあるアルファベットの文字を参考にさせるとよい。ここのねらい、単語の初頭音を聞き取らせるというよりは、アルファベットの小文字を書かせることであり、機械的に書かせるのではなく、単語の中の1文字として書かせるようにする。 8つの語の音声をデジタルで聞かせることも可能である。p.37, 41, 49, 55 のページ下のイラストをクリックすると音声流れる。 	デジタル教材 ワークシート (Unit 7-7)
4分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 7-Lesson 3 単元名 Where is the treasure? 位置と場所 3/8時間

目 標 ある物の場所や物の位置関係を表す表現を、聞いたり言ったりすることができる。

準 備 指導者の家や部屋の写真など (Small Talk 用), 教師用カード (位置, 物), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 7-8), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
6分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 指導者の家 (部屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。 <p>※写真を映し出す際には, デジタル教材の「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 指導者の家 (部屋) について話す。 あらかじめ自分の家や部屋の写真を数点撮っておく。面白い置物や壁にかかっている絵, ペットなど on / in / under / by を使って場所を説明しながら, 児童が興味をもてるものがよい。 一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	指導者の家や部屋の写真など
	<p>Small Talk の例</p> <p>T: Ta-da! Where is this? Let's guess. (写真を見せる)</p> <p>S: 部屋? House?</p> <p>T: This is my house /room. What's this? I have a cat. Her name is Taiga. Where is Taiga?</p> <p>S: On the chair.</p> <p>T: That's right. Taiga is on the chair. What's this? It's under the desk.</p> <p>S: なにかな。Bag?</p> <p>T: Yes! It's my new bag. I like this bag!</p>		
4分	<p>【Let's Chant】 Where is the treasure? (オプション) p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れてきたらスピードを変えたり, 物や場所を児童に選ばせたりして意欲が高まるようにする。 <p>Where is the _____? It's on the desk. Where is the _____? It's on the desk. Where are the ____s? They are on / in / under / by ____. Where are the ____s? They are on / in / under / by ____.</p>	デジタル教材
7分	<p>○コマンド・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> コマンド・ゲームをする。 ペアで活動する。ペアの相手に言われた物を言われた命令通りの場所に置く。役割を交代しながら続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時, 前々時に行ったゲームを, 児童同士のペアで行わせる。 まず, 指導者と児童とで行い, 進め方を思い出させうえて, 児童同士で行わせる。 	身の回りの文具品など 教師用カード (位置, 物)
7分	<p>【Let's Listen 2】 p.53</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声聞いて, 登場人物の部屋がどれかを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ誌面で4種類の部屋の違いを確認する時間を取ってから, 音声聞かせるとよい。 <p>No.1: Hi, I'm Hana. This is my room. I have a cap on the wall. I have a bat on the chair. I have a bag on the desk. I have a book on the mat. No.2: Hi, I'm Kenta. This is my room. I have a cap on the mat. I have a bat under the desk. I have a bag on the chair. I have a book on the bed. No.3: Hi, I'm Laksh. This is my room. I have a cap by the mat. I have a bat under the bed. I have a bag under the desk. I have a book under the chair.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
7分	<p>【Let's Play 3】 p.53</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで活動する。1人が4つの中から部屋を選ぶ。物がある場所 	<ul style="list-style-type: none"> まず, 指導者と児童全員で行い, 進め方を理解させるようにする。 	児童用テキスト

	<p>の説明を聞き，他方はそれがどの部屋かを答える。</p>	<p>進め方 S1: (No.3の部屋を選ぶ) This is my room. I have a cap by the mat. I have a bat under the bed. I have a bag under the desk. I have a book under the chair. S2: No.3 (is your room). S1: That's right.</p>	
		<p>◎ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり，聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>○Let's Read and Write ③</p> <p>・ 8つのイラストの語をみんなで言ってから，その語の最初の小文字を5つの文字の中から選んでワークシートの4線に書く。</p>	<p>・ これまでに音声で十分に慣れ親しんでいる，ワークシートにある8つのイラストの語を児童と確認する。その後，最初の音のアルファベットの文字を5つの中から選び，4線にその文字を書く。その際，ワークシート上部にあるアルファベットの文字を参考にさせるとよい。ここのねらいは，単語の初頭音を聞き取らせるというよりは，アルファベットの小文字を書かせることであり，機械的に書かせるのではなく，単語の中の1文字として書かせるようにする。</p> <p>・ 8つの語の音声をデジタルで聞かせることも可能である。p.61, 63, 73のページ下のイラストをクリックすると音声流れる。</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 7-8)
5分	<p>○絵本を読もう。</p> <p>・ 絵や文字を見ながら読み聞かせを聞く。</p> <p>デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「ツール」→「Hi, friends! Plus」→「絵本A Letter to ...」</p>	<p>・ 絵本を読み聞かせる際には，一方的に絵本の台詞を読むのではなく，児童と各ページにあるさまざまなイラストや話の筋についてやり取りしながら読むようにする。そうすることで，絵本の筋についての理解を助けるとともに，児童を絵本の世界に引き込むことができる。</p> <p>・ 指導者は，ジェスチャーを付け，表情豊かに読む。これらも児童にとっては，物語の筋を理解するうえで大切な情報源となる。デジタル教材を使って読み聞かせをしてもよい。</p> <p>・ 時に質問をしたり，次の展開を児童と予想したり（思い出したり）しながら進め，児童の興味を引く読み方を工夫する。</p>	デジタル教材
4分	<p>・ 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・ 挨拶をする。</p>	<p>・ 本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・ 挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 7—Lesson 4 単元名 Where is the treasure? 位置と場所 4/8時間
目 標 建物の言い方や、道案内の表現を知り、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができるとともに、推測しながら読む。
準 備 教師用カード (建物, 方向), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 7-5), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
6分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 様々な施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 指導者が学校に来る際に前を通ったり、見かけた施設について話す。一方的に話すのではなく、児童に質問をし、児童を巻き込むように話す。また、この活動を通して、建物の言い方に出会わせ、本時の最後の活動につなげる。 	教師用カード (建物)
<p>Small Talk の例</p> <p>T : (黒板に簡単な家の絵を描く) This is my house. (黒板に学校の絵を描く) This is our school. From my house to school, I see a library. (家と学校の間には図書館のカードを掲示する) From the library to school, I see a fire station. (図書館と学校の間には消防署のカードを掲示する) (同様に、supermarket, post office, police station, gas station の絵カードを掲示する)</p> <p>T : Do you see a (library / fire station / supermarket / post office / police station / gas station) from your house to this school? (全体に尋ねた後、個別に数名の児童に尋ねる)</p> <p>S1: Yes.</p> <p>T : I see a library from my house to school. How about you, S1?</p>			
6分	<p>○フェイント・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> フェイント・ゲームをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 最初に左、右、直進の進み方について英語での言い方を、指導者の後に続いて一斉に言い、その後で実際に動くようにさせるとよい。 ゲームの進め方を示す。 何度かフェイントなしで一緒に行った後、フェイントも加えてゲームを行う。 	
<p>例 指導者と全児童が同じ方向を向いて行う。(左右前後を分かりやすくするため)</p> <p>T: Turn left. (言ってから左に身体を45度向ける) S: Turn left. (言ってから左に身体を45度向ける)</p> <p>T: Go straight. (言ってから1歩前に進む) S: Go straight. (言ってから1歩前に進む)</p> <p>T: Turn right. (フェイントをかけて左に身体を45度向ける)</p> <p>T: Turn right. (フェイントに惑わされず右に身体を45度向けた児童は正解)</p>			
17分	<p>【Let's Listen 3】 p.54</p> <ul style="list-style-type: none"> 道案内の音声を聞いて、どこの建物に行くかを考えて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 始める前に、地図を見て、どこにどんな建物があるのかなどを確認しておく。誌面上にある建物のイラストを見て、イラストからそれらが何かを推測させる。指導者と一緒に言わせる。デジタル教材を聞かせて言わせてもよい。 No.1からNo.4は簡単な道案内で進み方を理解し、自信を付けることをねらいとしている。しかし実際には道にドットはないため、No.5からは、より実際に即した言い方での道案内としている。どれくらい真っすぐ進むのかを for~block(s) で表し、更に少し進む場合には keep going という表現を使っている。No.5 は聞きながら繰り返し発音し、一緒に進むなど丁寧に指導する。 	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (建物・方向)

		<ul style="list-style-type: none"> ・答え合わせの際には、一時停止をしながら表現を指導者の後について一斉に言わせる。その都度一緒に進み、行き着く先を確認するようにし、言い方と進み方が分かるようにする。 ・ここでの解答が次の Let's Read and Write で重要になることから、行き着いた先の建物名についても児童としっかり確認をしておく。 	
<p>No.1 : Turn left. Go straight. You can see it on your right. (解答 : post office) No.2 : Turn right. Go straight. You can see it on your left. (解答 : department store) No.3 : Go straight. Go straight. Turn right. Go straight. You can see it on your left. (解答 : police station) No.4 : Go straight. Go straight. Turn left. Go straight. Go straight. You can see it on your right. (解答 : library) No.5 : Go straight for three blocks. Turn left. Go straight for one block. Keep going. You can see it on your right. (解答 : bookstore) No.6 : Go straight for one block. Turn right. Go straight. You can see it on your left. (解答 : fire station) No.7 : Go straight for two blocks. Turn left and go straight for one block. Keep going. You can see it on your right. (解答 : gas station) No.8 : Go straight for two blocks. Turn left. Go straight. You can see it on your right. (解答 : supermarket)</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> ・再度、建物の言い方を繰り返して聞かせ、ミッシング・ゲームなどをして、建物の言い方に慣れ親しませるとよい。 	
<p>ミッシング・ゲームの進め方 黒板に建物のカード8枚を掲示し、児童とその言い方を確認する。全てのカードを外し、その中から1枚カードを除く。取り除いたカード以外を再度黒板に掲示しながら、建物名を一緒に言う。最後に黒板にないカードを当てるゲーム。隠す数は1枚から始め4枚程度(実態に応じて)まで。児童に目を閉じさせてカードを隠して、なくなったカードの語を言わせる方法もある。</p>			
7分	<p>OLet's Read and Write ④ (p. 54) ・アルファベットの文字を見つけ、その単語を書き、類推しながら読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Let's Listen 3 で解答となった建物の言い方を順に、デジタル教材で聞かせる。ワークシートで、聞こえた建物名の下の語の中で空欄になっている箇所を、誌面 p.54 の建物イラストの下の語を見ながら書き写させる。 ・文字を書き写して完成した語を、児童自身が推測しながら読んでみるよう促す。その後、ペアで推測した読みを共有するとよい。どんな読みになりそうか、児童から出た意見を全員で共有し、指導者と一緒に読む。 	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 7-5)
<p>児童が書き写す文字 ① f: post office, a: police station, m: supermarket, i: library → family (l と y についてはワークシートに記載有) ② r, e: fire station, n: gas station, d, s: department store → friends (f と i についてはワークシートに記載有)</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> ◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉 ◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を推測して読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉 	
5分	<p>【Let's Chant】 Where is the treasure? p. 52 ・チャンツを言う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れてきたらスピードを変えたり、道案内を児童に選ばせたりして意欲が高まるようにする。 	デジタル教材

		<p>Where is the treasure? Where is the treasure? Go straight. (Echo: Go straight.) Turn left. (Echo: Turn left.) Turn left at the first corner. (Echo: Turn left at the first corner.) Go straight. (Echo: Go straight.) Turn right. (Echo: Turn right.) Turn right at the second corner. (Echo: Turn right at the second corner.) You can see it on your right. (Echo: You can see it on your right.) *Repeat What can you see? It's the treasure! Oh, yeeeh!</p>	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 7—Lesson 5 単元名 Where is the treasure? 位置と場所 5/8時間
目 標 道案内の表現を聞いたり言ったり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができるとともに、推測しながら読む。
準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 7-4)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
3分	【Let's Chant】 Where is the treasure? p.52 ・チャンツを言う。	・慣れてきたらスピードを変えたり、道案内を児童に選ばせたりして意欲が高まるようにする。 Where is the treasure? Where is the treasure? Go straight. (Echo: Go straight.) Turn left. (Echo: Turn left.) Turn left at the first corner. (Echo: Turn left at the first corner.) Go straight. (Echo: Go straight.) Turn right. (Echo: Turn right.) Turn right at the second corner. (Echo: Turn right at the second corner.) You can see it on your right. (Echo: You can see it on your right.) *Repeat What can you see? It's the treasure! Oh, yeeeh!	デジタル教材
5分	○コマンド・ゲーム (グループ) ・4人組などのグループで行う。	・フェイント・ゲームやチャンツで繰り返してきた道案内の表現を使って、ゲームを行うことで、実際に道案内の表現を何度も聞いたり言ったりして慣れ親しませることがねらいである。	
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> コマンド・ゲームの進め方 AとB: 方向や進み方を言う役 CとD: 命令に従って行動する役 A: Turn right. CD: Turn right. (繰り返し言ってから右に45度回る) B: Go straight. CD: Go straight. (繰り返し言ってから前に1歩進む) A: 命令 → CD: 従う → B: 命令 → CD: 従う、の順で繰り返す。 ・間違ったら交替や、2回ずつ命令したら交替などのルールで、役割を交替しながら繰り返す。慣れてきたら、スピードを上げ、正確に素早く動くようにしていく。 </div>		
10分	【Let's Listen 4】 ① p.56, 57 ・道案内の音声聞いて、鉛筆でなぞりながら進む。答えを確認して言う。	・誌面 p.56, 57 の地図を使って宝探しをすることを伝える。始める前に、地図の中にどのようなものがあるかを児童と確認するとよい。(fox, turtles, ice, ants, raccoon dog, fish, mouse, pheasant, rabbit, snake, treasure box, eggs, wild boar, many trees) ・道案内は4つのパートに分かれている。1つ目の treasure に行き着くと、そこからが次のスタート位置となる (始めの場所に戻らない)。そのため、全体を終えてから答え合わせをするのではなく、1問ずつ答えを確かめながら進むとよい。行き着く先のもを集めると treasure box にまた1つ宝物が増えることを楽しみにしながら、道案内を聞き取ることへの意欲を高めたい。	デジタル教材 児童用テキスト

5年 Unit 7—Lesson 6 単元名 Where is the treasure? 位置と場所 6/8時間
目 標 ある物の場所を尋ねたり答えたり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができるとともに、推測しながら読む。
準 備 校内地図など (Small Talk 用)、児童用テキスト、ワークシート (Unit 7-4)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
6分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 校内の好きな場所</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 校内の好きな場所について話をする。 一方的に話さず、児童に質問したりしながら児童を巻き込むようにする。 	校内地図など
	<p>Small Talk の例</p> <p>T: Where is your favorite place in the school? Where is it? Music room? Gym? Classroom?</p> <p>S: Ground!</p> <p>T: Oh, the playground? Who likes the playground the best? Raise your hands.</p> <p>OK. I'll take you to my favorite place. (校内地図で示したり、板書したりしながら教室からの行き方を指導者に続いて一緒に言うとうい。) Go straight. Turn right at the first corner. Go down. Go down. Turn right. (ジェスチャーを付け、児童の様子を見ながら文と文の間に間をおいて児童の理解を確かめながら) Where is it?</p> <p>S: Library!</p> <p>T: That's right! I like the library. I like reading books. Who likes the library the best?</p> <p>Raise your hands. Good. This is my favorite book. Look. (実物を見せる)</p>		
4分	<p>【Let's Chant】 Where is the treasure? p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れてきたらスピードを変えたり、道案内を選ばせたりして、児童の意欲を持続させるようにする。 	デジタル教材
	<p>Where is the treasure? Where is the treasure?</p> <p>Go straight. (Echo: Go straight.)</p> <p>Turn left. (Echo: Turn left.)</p> <p>Turn left at the first corner. (Echo: Turn left at the first corner.)</p> <p>Go straight. (Echo: Go straight.)</p> <p>Turn right. (Echo: Turn right.)</p> <p>Turn right at the second corner. (Echo: Turn right at the second corner.)</p> <p>You can see it on your right. (Echo: You can see it on your right.) *Repeat</p> <p>What can you see?</p> <p>It's the treasure!</p> <p>Oh, yeeeh!</p>		
10分	<p>【Let's Listen 4】 ②p.56, 57</p> <ul style="list-style-type: none"> 道案内の音声を聞いて、鉛筆でなぞりながら進む。 答えを確認して言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時と同様に、誌面 p.56, 57の地図を使って宝探しをすることを伝える。始める前に、地図の中にどのようなものがあるかを児童と確認する。(fox, ice, turtles, ants, raccoon dog, fish, mouse, rabbit, pheasant, snake, treasure box, eggs, wild boar, many trees) 道案内は4つのパートに分かれている。1つ目の treasure に行き着くと、そこからが次のスタート位置となる (はじめの場所に戻らない)。そのため、全体を終えてから答え合わせをするのではなく、1問ずつ答えを確かめながら進むとよい。行き着く先のもを集めると treasure box にまた1つ宝物が増えることを楽しみにしながら、道案内を聞き取ることへの意欲を高めたい。 答え合わせの際には、再度道案内を指導者の後に 	デジタル教材 児童用テキスト

		ついて一斉に言うよう促す。	
		<p>No.1: Go straight. Turn left at the third corner. Go straight for two blocks. Turn right. Go straight. Turn left at the first corner. Keep going. You can see it on your right. (tree)</p> <p>No.2: Go to the corner. Turn left. Go straight for one block. Turn right. Go straight for one block. Turn left. Keep going. You can see it on your left. (rabbit)</p> <p>No.3: Go straight. Turn right at the first corner. Keep going. You can see them on your left. They are in the grass. (ants)</p> <p>No.4: Go straight only a little bit. Turn right. Go straight for one block. Turn left. Keep going. You can see it on your left. It's in the box. (snake)</p> <p>No.1: It's a tree. Tree, T.</p> <p>No.2: It's a rabbit. Rabbit, R.</p> <p>No.3: They are ants. Ants, A.</p> <p>No.4: It's a snake. Snake, S.</p>	
10分	<p>OLet's Read and Write ⑥ (p.56, 57)</p> <p>・4か所で見つけたものの最初の文字を、デジタル教材の画面で確認して、ワークシート (Unit 7-4) の□に書く。その四文字を4線④に書き写す。これが1つの treasure になる。</p>	<p>・デジタル教材で、前活動の解答を再度聞き、4か所のゴールにある物を確認し、デジタル教材に現れたそれぞれの物の単語の初めの文字をワークシートの□に書くよう告げる。</p> <p>・□に書いた4文字を、その下の4線④に書くように言う。児童が本単元で何度も聞いたり言ったりして音声で十分に慣れている treasure という単語になる。treasure という単語は、読み方の規則からは難しいものであるが、これまでに音声で慣れ親しんでいるものであることから、児童が推測しながら読もうとする姿を応援したい。まず、児童にペアで読むことに挑戦させてみて、児童から出た意見を全員で共有しながら、指導者と一緒に読む。</p> <p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を推測して読んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート 児童用テキスト ワークシート (Unit 7-4)
12分	<p>【Activity】 p.56, 57</p> <p>・イラストから宝物を1つ選び、ペアで Where is your treasure? と尋ね、道案内から宝物が何であったかを Your treasure is ~. と答える。</p>	<p>・進め方の例を示す。</p> <p>・具体物無しでは道案内を聞いても上手く進めない児童には、消しゴムなどをコマにして道案内に従って進めさせるとよい。</p> <p>・次時の道案内に向けて、他者に配慮する具体について、例えばジェスチャーを付ける、相手の言葉を繰り返して確認する、大切なところは繰り返すなど、共有しておくとい。</p>	児童用テキスト
		<p>S1: 自分の treasure を決める。(うさぎ)</p> <p>S1: Go straight. Turn left at the second corner.</p> <p>S1: Go straight for one block. Keep going.</p> <p>S1: You can see it on your right.</p> <p>S1: That's right! (役割を交代して続ける。)</p> <p>S2: Where is your treasure?</p> <p>S2: Go straight. Turn left at the second corner.</p> <p>S2: Go straight for one block. Keep going.</p> <p>S2: I can see it on my right. Your treasure. / It is a rabbit.</p>	
		◎ある物の場所を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
3分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 7-Lesson 7 単元名	Where is the treasure?	位置と場所	7/8時間
目 標	ある物の場所を尋ねたり答えたりして伝え合うとともに、他者に配慮しながらある物やそれがあある場所について説明しようとする。		
準 備	ワークシート (教室地図 No.1 児童用, 教室地図 No.2 児童用, 暗号カード各種, 不完全暗号シート: Unit 7 指導案に添付), デジタル教材, 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
5分	【Let's Chant】 Where is the treasure? p.52 ・チャンツを選んで言う。	・児童の実態により、スピードやオプションを選ぶ。 Where is the treasure? Where is the treasure? Go straight. (Echo: Go straight.) Turn left. (Echo: Turn left.) Turn left at the first corner. (Echo: Turn left at the first corner.) Go straight. (Echo: Go straight.) Turn right. (Echo: Turn right.) Turn right at the second corner. (Echo: Turn right at the second corner.) You can see it on your right. (Echo: You can see it on your right.) *Repeat What can you see? It's the treasure! Oh, yeeeh!	デジタル教材
35分	○宝物を探そう。 ・ペアで協力して、教室に隠された暗号カードを見つける。1人が道案内、もう1人がその指示に従ってカードを探す。役割を交代して進める。	・本単元指導案に添付の「暗号カード」を事前に切り離して数枚ずつ用意しておき、「教室地図」に従って、暗号カードを隠す。 ・ペアになり、1人が道案内、もう1人がカードを探す人になって、必要な暗号カードを時間内にできるだけ見つけるよう言う。たくさん見つけたほうが、あとで暗号が解きやすいことも伝え、児童の意欲を高めるようにする。 ・活動を途中で止め、中間評価を入れ、よい事例をみんなの前で発表し、相手にきちんと伝えるためには、互いにどうするのが良いかを確認してから、後半を始めるとよい。そうすることで後半の活動がよりねらいに沿ったものになる。 ※ワークシート Unit 7-2 が暗号コード正解である。	ワークシート 教室地図 No. 1 児童用 教室地図 No.2 児童用 暗号カード各種 (ペアの数分, 事前に切り離しておく) 不完全暗号シート (ペアに1枚)
	進め方・ルール ・ペア (No.1と No.2) で活動する。No.1児童は、「室の地図 No.1児童用」を見ることができ、動くことができない。No.2児童は「室の地図 No.2児童用」を見ることができないが、動くことができる。ペアで協力して、地図を見られる方は道案内をし、動ける方は道案内を聞いて暗号カードを見つける宝探しをする。地図は互いに見せ合ってはいけない。前半時間終了までは同じ役割で沢山の暗号カードを見つける。後半時間は役割を交代する。 ・地図を見て道案内をする方は、他方が実際に案内をした場所に行きついたか確認をし、自分が道案内をした以外の場所の暗号カードは見つけても取ってはいけないルールを守らせる役目も担う。		
		◎ある物の場所を尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ◎他者に配慮しながら、ある物やそれがあある場所について説明している。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
3分	・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

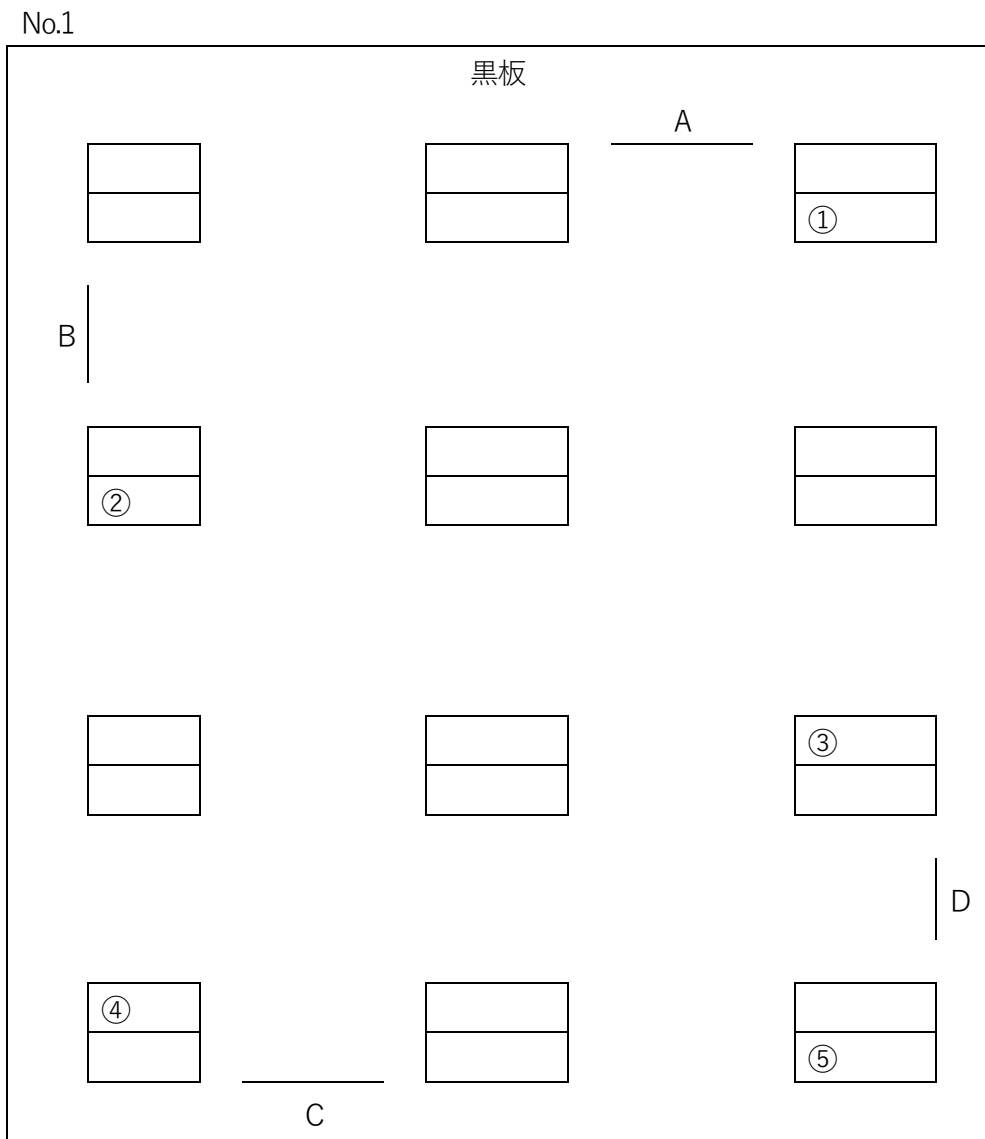
5年 Unit 7—Lesson 8 単元名 Where is the treasure? 位置と場所 8/8時間
目 標 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができる。
準 備 ワークシート (教室地図 No.1 児童用, 教室地図 No.2 児童用, 暗号カード各種, 不完全暗号シート: Unit 7 指導案に添付, 7-1, 7-3), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

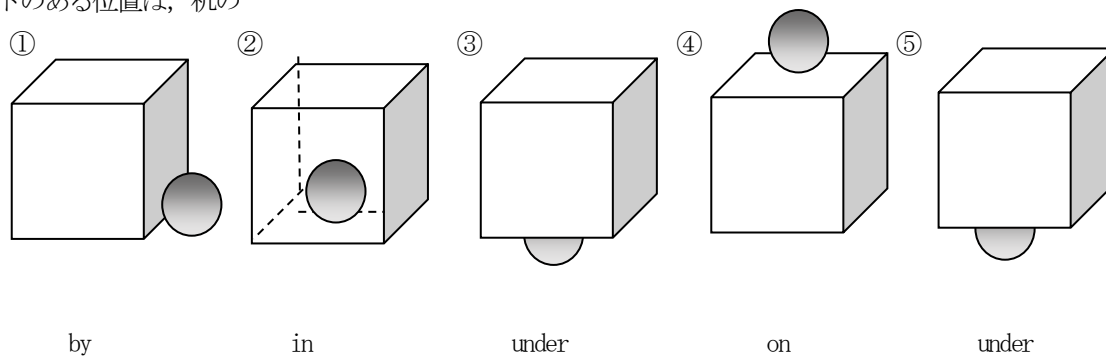
時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。	
5分	【Let's Chant】 Where is the treasure? p.52 ・チャンツを言う。	・児童の実態により, スピードやオプションを選ぶ。 Where is the treasure? Where is the treasure? Go straight. (Echo: Go straight.) Turn left. (Echo: Turn left.) Turn left at the first corner. (Echo: Turn left at the first corner.) Go straight. (Echo: Go straight.) Turn right. (Echo: Turn right.) Turn right at the second corner. (Echo: Turn right at the second corner.) You can see it on your right. (Echo: You can see it on your right.) *Repeat What can you see? It's the treasure! Oh, yeeeh!	デジタル教材
27分	○Let's Read and Write ⑦ ・ワークシート (Unit 7-3) にアルファベットの文字を書き写し, 単語を完成させる。	・進め方の例を示す。 ・前時の活動で見つけた暗号カードの情報を, 「不完全暗号シート」に記入し, 暗号シートを完成する。暗号シートを見ながら, ワークシートの4線にアルファベットの文字を丁寧に書き写すように言う。 ・学級の人数によっては, 暗号カードをペアで見つけたものだけでなく, グループで共有するなどのルールを追加してもよい。 ◎アルファベットの活字体の小文字を書いて単語を完成させている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	ワークシート (Unit 7-3) 不完全暗号シート 前時に見つけた暗号カード
	○宝物が何かを解明し, 自分の宝物を探そう。 ・ワークシートの宝箱の中に前活動で見つけた宝物 (単語) を書き写し, その単語をペアで協力して読んでみる。 ・宝箱の中に集めたもののうち, 自分の宝物と思えるものを3つ選択し, ワークシートの4線に書き写して, その3つを班の中で交流する。	・宝箱の中に集めたもののうち, 自分の宝物と思えるものを3つ選択して丁寧にワークシートの4線に書き写すよう促す。 ・書き写した文字でできた単語は, 読み方の規則からは難しいものであるが, これまでに音声で慣れ親しんでいるものである。児童が推測しながら読むとする姿を応援したい。 ・選んで書き写した自分の宝物を, 班の友達と交流するよう言う。 ◎音声で慣れ親しんだ簡単な語を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	ワークシート (Unit 7-1)
7分	【STORY TIME】 p.55 ・絵本の読み聞かせを聞く。 On our way home マリア : Where is the park? かず : Go straight and turn right. We can teach Maria about our town.	・児童用テキスト p.55の絵本ページの読み聞かせを, デジタル教材を使って, あるいは指導者が読んで行う。 ・絵本を読み聞かせる際には, 一方的に絵本の台詞を読むのではなく, 児童と各ページにあるさまざまなイラストや話の筋についてやり取りしながら読むようにする。そうすることで, 話の筋についての理解を助けるとともに, 児童を絵本の世界に引き込むことができ	デジタル教材 児童用テキスト

		<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高学年で扱っている絵本のページに記されている台詞は、やがて児童が読み聞かせを聞きながら絵本の台詞を指で追って聞いたり、自分で読むことに挑戦したりすることを想定し、短く単純なものにしている。よって、指導者が台詞以外の言葉を加えながらやり取りを行い、児童の想像を膨らませるようにすることが大切である。 ・指導者は、ジェスチャーを付け、表情豊かに読む。これらも児童にとっては、物語の筋を理解するうえで大切な情報源となる。 	
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動及び本単元を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

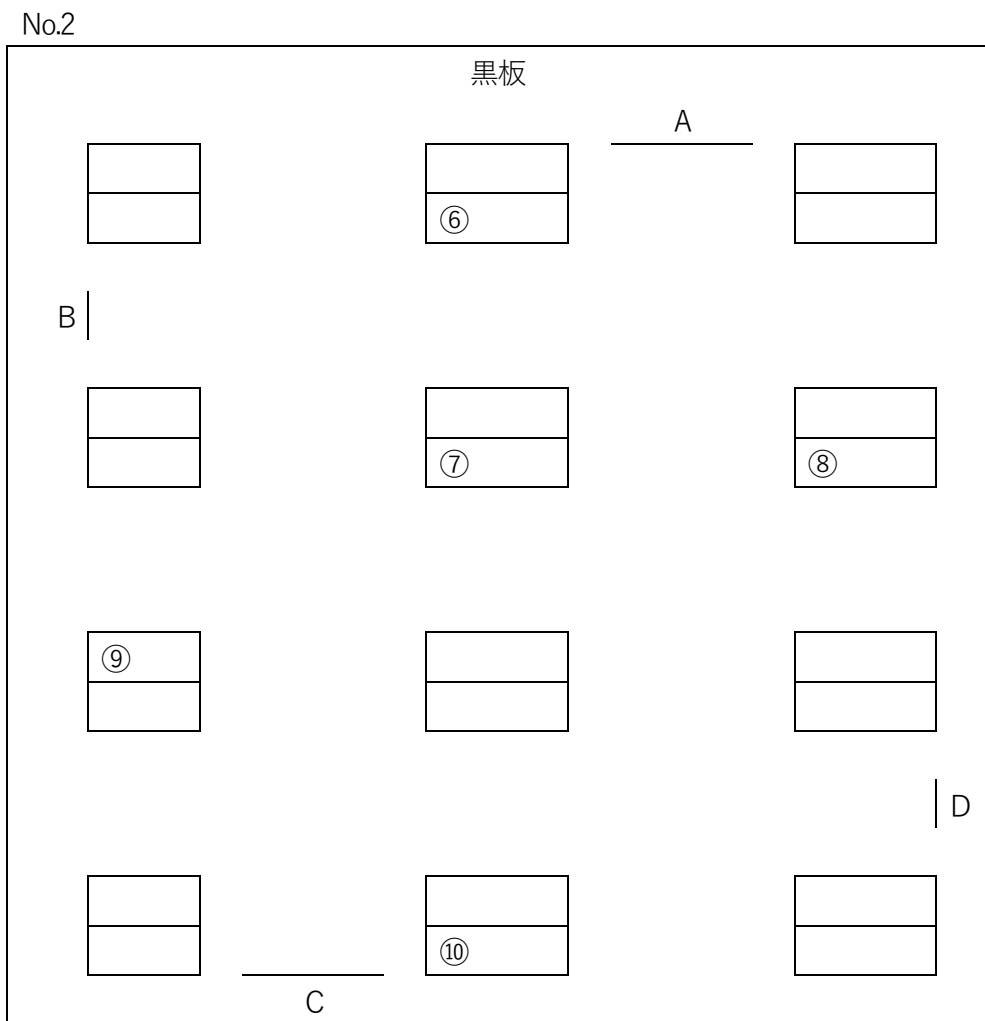
教室地図 No.1 児童用



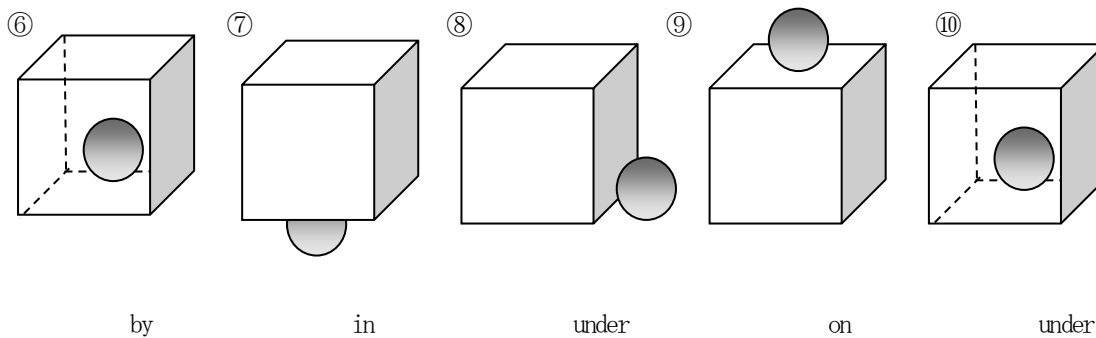
暗号カードのある位置は、机の



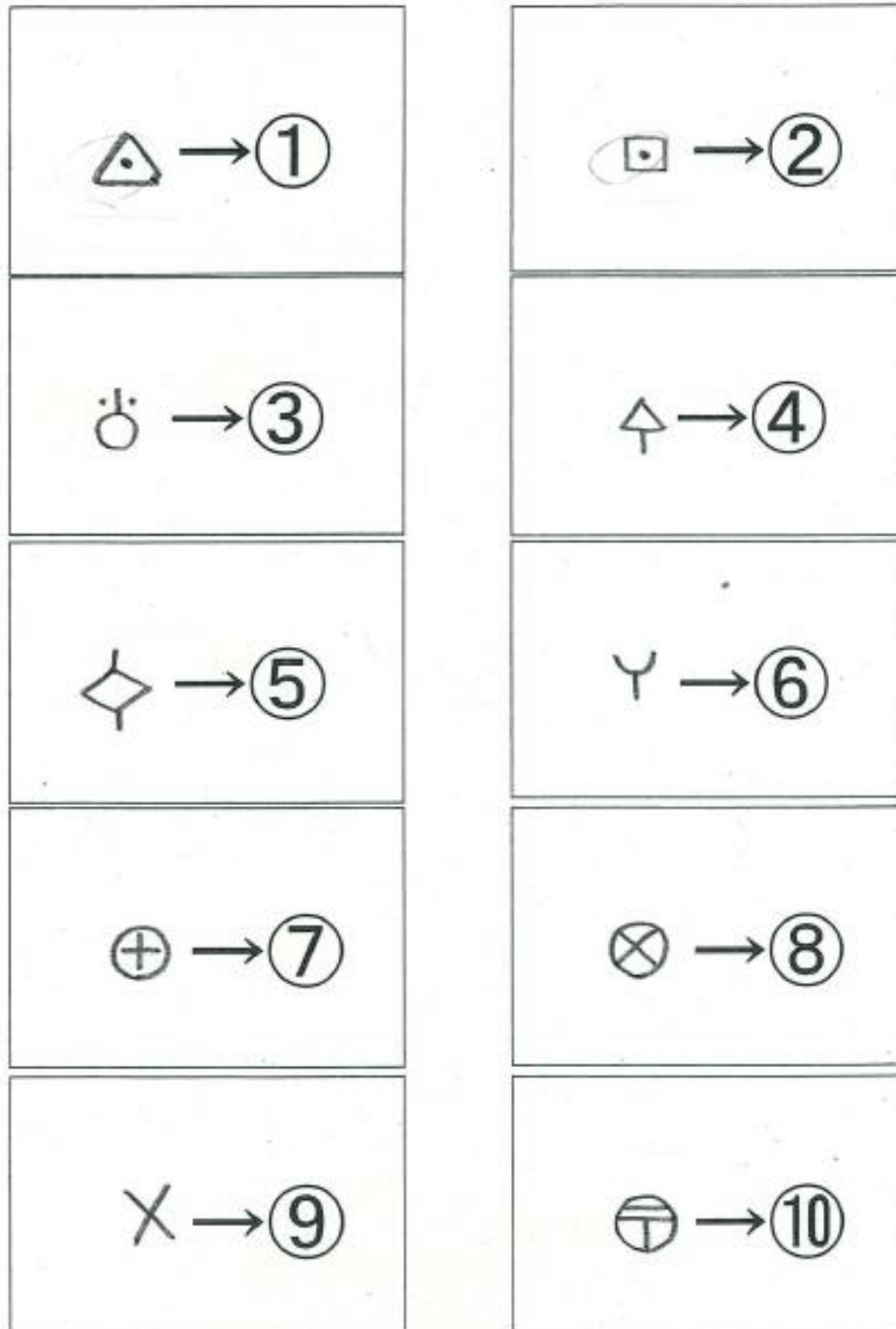
教室地図 No.2 児童用



暗号カードのある位置は、机の



暗号カード (ペア数分コピーし、カードを切り離し、教室地図通りに隠す)



不完全暗号シート (各ペアに1枚)

文	①	田	金	②	田	金	③	开	④	𠂔	山	⑤
g	s	w	c	m	o	y	a	k	i	q	v	d
⑥	Λ	Q	⑦	〇	⑧	∴	𠂔	⑨	𠂔	⚙	⑩	∴
l	b	u	r	t	f	j	n	e	z	h	p	z

1. 単元目標

- ・家族の呼称や，丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりすることができる。また，簡単な語句を書き写すことができる。（知識及び技能）
- ・丁寧に注文を尋ねたり答えたりして，自分の考えを伝え合ったり，簡単な語句を推測しながら読んだりする。（思考力，判断力，表現力等）
- ・他者に配慮しながら，丁寧に注文を尋ねたり答えたり，メニューについてまとまりのある話を聞いたり，感想を伝え合ったりしようとする。（学びに向かう力，人間性等）

2. 言語材料

- What would you like? I'd like (spaghetti). It's for (my brother). This is for (my brother). How much? It's (970 yen). Here you are. Thank you.
 - 飲食物 (curry and rice, French fries, fried chicken, grilled fish, radish, broccoli, mineral water, parfait, bread, drink, soda pop, green tea, beefsteak, rice, yogurt), 家族 (father, mother, sister, brother, grandfather, grandmother), busy, enjoy, would, special, healthy, menu, meal, restaurant, dessert, main, side, 数 (seventy, eighty, ninety, hundred), vest, wolf
- [既出] 果物・野菜，飲食物，状態・気持ち，数 (1~60)

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば，日常生活に関する身近で簡単な事柄について，具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ア 基本的な表現を用いて指示，依頼をしたり，それらに応じたりすることができるようにする。

4. 単元計画（8時間）

時	目標（◆）と主な活動（□，○）【 】＝誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆家族の呼称や，丁寧に注文を尋ねたり答えたりする表現が分かる。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.58, 59 ③⑤⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の様々な名物料理に関する映像資料を視聴し，世界には様々な食生活があることを知る。 ・聞き取れたことを発表する。 <p>【Let's Watch and Think 2】 p.60</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が料理を注文する場面を見て，食べ物や家族の言い方について知る。 <p>【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79)</p> <p>○ポインティング・ゲーム(食べ物)</p> <p>【Let's Listen 1】 p.61</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて，こうせいの両親が何を選んだかを聞き取り，人物と食べ物を線で結ぶ。 ・Let's Watch and Think 2 で視聴した場面での表現との違いについて，分かったことや気付いたことを発表する。 <p>【Let's Chant】 What would you like? p.61</p> <p>○Sounds and Letters ① (p)</p>	◎家族の呼称や丁寧に注文する表現が分かり，線で結んでいる。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検>
2	<p>◆丁寧に注文を尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>○Small Talk：好きな食べ物</p>	

	<p>・指導者の話を，反応を示したり，質問について考えたり答えたりしながら聞く。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.58, 59 ①②</p> <p>・世界の様々な名物料理について映像資料を視聴し，世界には様々な食生活があることを知る。</p> <p>○レストランで注文しよう。</p> <p>・指導者の質問に対して，欲しいものを言う。(こうせいと Chef の場面：Dessert)</p> <p>【Let's Chant】 What would you like? p.61</p> <p>○注文しよう。</p> <p>・指導者の質問に対して，欲しいものを言う。(こうせいの両親と Chef の場面：Soup, Salad)</p> <p>・ペアで，Chef と客になって，児童用テキスト p.60, 61 のレストラン場面で注文を尋ねたり答えたりする。</p> <p>【Let's Listen 2】 p.60</p> <p>・音声を聞いて，こうせいの祖母が注文したものを聞き取り，Main dish, Side dish, Dessert のそれぞれの枠に記入する。</p> <p>・値段の会話で聞き取れた語を発表する。値段の尋ね方や 100 以上の数字の言い方を知る。</p>	<p>◎丁寧に注文を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
3	<p>◆値段を尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79)</p> <p>【Let's Chant】 What would you like? p.61</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.58, 59 ④⑥</p> <p>・世界の様々な名物料理について映像資料を視聴し，世界には様々な食生活があることを知る。</p> <p>・指導者の質問に答え，食べ物に関する感想の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>【Let's Listen 2】 p.60</p> <p>・前回聞いたこうせいの祖母のレストランでのやり取りを再度聞く。聞き取った値段を枠内に記入する。</p> <p>○Buzz Game</p> <p>○注文しよう。</p> <p>・ペアで，Chef, レジ係と客になって，児童用テキスト p.64, 65 のレストラン場面で注文を尋ねたり値段を尋ねたり，それに答えたりする。</p> <p>○Sounds and Letters ② (s)</p>	<p>◎値段を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりできる。</p> <p>○Small Talk : 飲みたいもの</p> <p>・指導者の話を，反応を示したり，質問について考えたり答えたりしながら聞く。</p> <p>【Let's Chant】 What would you like? p.61</p> <p>【Let's Listen 3】 p.61</p> <p>・音声を聞いて登場人物の注文したものを聞き取り，その料理の値段も聞き取って記入する。</p> <p>○Buzz Game</p> <p>・数の言い方でゲームをする。</p> <p>○ペアで注文し合おう。</p> <p>・ペアになり，1人がレストランスタッフ，もう1人が客になって，互いに欲しい食べ物を注文したり，値段を尋ねたりする。</p> <p>○デスティニー・ゲーム</p> <p>○Sounds and Letters ③ (b)</p>	<p>◎注文に丁寧に答えているのを聞いたり，値段を聞き取って記入したりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎丁寧な表現で注文や値段を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆丁寧な表現で注文や値段を尋ねたり答えたりする。</p>	

	<p>◆音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分かり、書き写すことができる。</p> <p>【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79) 【Let's Chant】 What would you like? p.61 ○先生の作ったメニューセットを知ろう。 ・指導者が紹介するメニューセットの話聞いて誰のためにどうしてそのようなメニューを作ったのかを聞き取る。 ○店ごとに集まり、メニューの値段を考えたり、客と店員に分かれて注文したりする。 ・グループの中で、ペアで、注文や値段を尋ねたり答えたりして、児童用カードを渡す。 【Let's Listen 4】 p.62 ・だれのためにどんなメニューを考えたのかを聞き取り、線で結ぶ。 ○Let's Read and Write ① ・誰のためのセットにするか決め、家族の呼称をワークシートに、児童用カードに記された単語を見ながら書く。 ○ワードサーチ ・隠された食べ物の名前を探す。 ・自分でワードサーチを作る。</p>	<p>◎丁寧な表現で注文や値段を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎家族の呼称の単語の意味が分かり、書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
6	<p>◆他者に配慮しながら、丁寧に注文したり受けたりしようとする。</p> <p>○Small Talk：宅配ピザの注文の仕方 ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79) 【Let's Chant】 What would you like? p.61 【Let's Listen 5】 p.62 ・Let's Listen 4のメニューを再度聞き、その値段を聞き取って記入する。 【Activity】 p.64 ・グループで客と店員に役割分担をして、注文や値段を尋ねたり答えたりして、必要な食べ物をそろえる。</p>	<p>◎他者に配慮しながら、丁寧な表現を使って注文したり受けたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆他者に配慮しながら、丁寧な表現を使って注文をしたり受けたりしようとする。</p> <p>◆音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを推測して読み、書き写すことができる。</p> <p>【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79) 【Let's Chant】 What would you like? p.61 【Activity】 p.64 ・前時に続き、グループで客と店員に役割分担をして、注文や値段を尋ねたり答えたりして、必要な食べ物をそろえる。 ○Let's Read and Write ② ・英語のメニューを見て、情報を読み取り、注文した料理（メインディッシュ・サイドディッシュ・デザート・ドリンク）の単語を選択して書く。 ・誰のためのどんなメニューにするのかネーミングを考える。</p>	<p>◎他者に配慮しながら、丁寧な表現を使って注文したり受けたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎メニュー表の料理名を推測して読んでいる。注文した料理を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆他者に配慮しながら、メニューについてまとまりのある話を聞いたり、感想を伝え合ったりしようとする。</p> <p>【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79) 【Let's Chant】 What would you like? p.61 【Let's Listen 4】 p.62 ・再度、登場人物が注文した料理を確認し、それは誰のためにどんな理由で取りそろえたメニューなのかを話している音声聞く。 ○自分の考えたスペシャルメニューについて発表する。 ・グループになり、誰のためのどんなメニューなのかを発表し合う。 ・グループの中から代表発表者を決める。代表発表者は、全員の前で発表し、ほかの児童は感想を言ったり質問をしたりする。 【STORY TIME】 p.63 ・絵本の読み聞かせを聞いたり、読んだりする。</p>	<p>◎他者に配慮しながら、メニューについて相手の話を聞き、質問したり、感想を伝えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

5年 Unit 8—Lesson 1 単元名 What would you like? 料理・値段 1/8時間

目 標 家族の呼称や、丁寧に注文を尋ねたり答えたりする表現が分かる。

準 備 児童用テキスト、教師用カード（飲食物、家族、大文字・小文字）、ワークシート（Unit 8-4）デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
15分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>【Let's Watch and Think 1】 p.58,59 ③⑤⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の様々な名物料理に関する映像資料を視聴し、世界には様々な食生活があることを知る。 ・聞き取れたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・あらかじめ誌面を見る時間を取り、どんな国や料理があるかを確認してから、視聴するとよい。 ・①～⑦の7種類の映像のうち、児童にあまりなじみがない、また、知ってはいるが新たな発見があるようなものとして、③ Kebab: Turkey, ⑤ Curry: India, ⑦ Escargot: France を視聴させる。こうすることで、本単元の題材である料理、食事に興味・関心をもたせるようにする。 ・聞き取れた内容を共有する。すべての意味を理解させる必要はない。ここでは、本単元の題材である食事や食べ物に興味をもたせることがねらいである。自分たちとは異なる食文化に興味をもち、例えばカタツムリを食べることを否定するのではなく、世界から見れば、タコを食すことが意外と思う国もあることなど、それぞれの国によって違いがあり、食文化が成り立っていることが感じられるとよい。 	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>③ “Kebab” is roasted chicken, lamb or beef. In Turkey it’s called “doner kebab.” They slice the meat and eat with pita bread. You can make kebab sandwiches.</p> <p>⑤ Curry is a very popular food around the world. Curry and nan originally come from India. In India they use so many spices. They have special flavors. You can eat many kinds of curry. For example, vegetable, chicken, beef or seafood.</p> <p>⑦ In France people enjoy eating “escargot” or snails. They are cooked with butter and herbs. It’s delicious and very popular. Do you want to try it?</p>		
	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.60</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物が料理を注文する場面を見て、食べ物や家族の言い方について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴する際には、途中で区切らず流し、概要を捉えられるようにする。 ・外国語活動で学習した I want ~. の表現を思い出せるようにし、児童の発表から意味を共有する。 ・児童と一緒に聞き取れたことや繰り返して出てきた表現などについて確認し、食べ物や家族を表す語句を絵カードで提示し、後に続いて一緒に言うよう促す。 	教師用カード（飲食物、家族）
	<p>こうせい：Wow, nice sweets! Cake, ice cream, fruits, parfait, and <i>daifuku</i>. They look so yummy. I want ... fruits and a parfait. Ice cream for my grandmother and grandfather.</p>		
		<ul style="list-style-type: none"> ・誌面にあるもの以外で、英語で知っている食べ物の言い方を発表させ、次のジングルにつなげる。 	
4分	<p>【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Foods Jingle を聞く。聞き取れた食べ物を発表する。 ・音に注意しながら文字の名称を言 	<ul style="list-style-type: none"> ・Foods Jingle を聞くことを告げ、どのような食べ物が聞こえたかを聞き取るよう促す。デジタル教材を視聴させる際、最初は、画面を見せずに、音声のみを聞かせる。 	デジタル教材 児童用テキスト

	う。 ・そのほかの部分で言えるところは一緒に言う。	デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種別」→「チャンネル・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Foods」	
3分	○ポイント・ゲーム(食べ物) ・ペアで、1冊の児童用テキストを中央に置いて行う。指導者が発音する食べ物を児童用テキスト誌面から探して指さす。	・本活動のねらいは、食べ物を何度も聞いたり繰り返し言ったりすることであることから、テンポよく言うようにする。 ・互いに支援し合えるようにペアで行うが、児童の実態によって、グループや個人で行うこともできる。	教師用カード(食べ物) 児童用テキスト
8分	【Let's Listen 1】 p.61 ・音声を聞いて、こうせいの両親が何を選んだかを聞き取り、人物と食べ物を線で結ぶ。 ・Let's Watch and Think 2で視聴した場面での表現との違いについて、分かったことや気付いたことを発表する。	・最初に音声を聞かせる際に、「何をしているところか」をまず聞き取るよう指示する。音声は途中で区切らず聞かせ、概要を捉えられるようにする。 ・どのような場面で何をしているところかを考えることで、Let's Watch and Think 2で視聴した場面との違いや、英語にも場面に応じた丁寧な言い方があることに気付くようにし、気付いたことなどを発表するよう促す。 ・次に、どんなも食べ物を注文しているか、誰が、誰のために、という視点で聞き、誌面に線を引くように言う。 ・児童と一緒に聞き取れたことや繰り返し出てきた表現などについて確認する。 ・Let's Watch and Think 2で聞こえた人物も含めて、誌面に出てくる登場人物を整理しながら、聞き取った家族の呼称の言い方を言うよう促す。 This is Kousei's ...? Mother, that's right. This is Kousei's grand...? Grandmother, very good. ・家族の呼称を何度も言い、どの児童にも分からせるようにする。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(食べ物, 家族)
	シェフ : Hello, what would you like? 母 : Hello. Ummm シェフ : Corn soup, potato soup, carrot soup and <i>miso</i> soup. The potato soup is cold, not hot. What would you like? 母 : I see. Everything looks so delicious. I'd like carrot soup for me and corn soup for my mother and my father. シェフ : OK. Carrot soup for you. Corn soup for your mother and father. Here you are. 母 : Thank you very much. 父 : I love vegetables. I want lettuce, carrots, and corn. I want Italian dressing on my salad.		
		◎家族の呼称や丁寧に注文する表現が分かり、線で結んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	

5分	<p>【Let's Chant】 What would you like? p.61</p> <p>・チャンツの言える部分だけを言う。</p>	<p>・まず児童と一緒に聞きリズムや音を確認してから、ゆっくりバージョンから始めるようにする。</p>	デジタル教材
<p>What would you like? What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like grilled fish. I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for me, please.</p> <p>How about your father? How about your father? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like beefsteak. I'd like beefsteak. I'd like beefsteak for my father, please.</p> <p>How about your mother? How about your mother? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? Umm ..., I'd like fruits. I'd like fruits for my mother, please.</p>			
5分	<p>○Sounds and Letters ① (p)</p> <p>・示されたアルファベットの文字カードを見てみんなでその名称と音を確認し、どんな食べ物があるかを考え、発表する。</p> <p>P, P, /p/p/ _____</p>	<p>・アルファベットの文字カードを示し、その名称と音を確認し、アルファベットの文字の音で始まる食べ物にどのようなものがあるかを考えるよう促す。</p> <p>P, P, /p/p/ _____</p> <p>例: pizza, parfait, popcorn, pudding, pineapple, pie</p>	デジタル教材 教師用カード (大文字・小文字) ワークシート (Unit 8・4)
5分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 8—Lesson 2 単元名 What would you like? 料理・値段 2/8時間

目 標 丁寧に注文を尋ねたり答えたりすることができる。

準 備 好きな食べ物の写真やイラストなど (Small Talk 用), 児童用テキスト, 児童用カード (飲食物), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価<方法>	準備物
15分	<p>・挨拶をする。</p> <p>○Small Talk : 好きな食べ物</p> <p>・指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。</p> <p>Small Talk の例</p> <p>T: I like pizza. What food do you like?</p> <p>I like pizza very much. I like cheese very much. Pizza is very delicious.</p> <p>Do you like pizza? Yes? Good.</p> <p>What kind of pizza do you like? Seafood pizza? Mushroom pizza? Margherita?</p> <p>I especially like 'quattro formaggi'. It's very delicious.</p> <p>The topping has four kinds of cheese and honey. Mm... yummy!</p> <p>Do you want to try it?</p>	<p>・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・好きな食べ物について話す。一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。</p>	好きな食べ物の写真やイラストなど
	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.58, 59 ①②</p> <p>・世界の様々な名物料理について映像資料を視聴し, 世界には様々な食生活があることを知る。</p>	<p>・①～⑦の7種類の映像のうち, 前時に視聴しなかった①②の2種類を視聴させる。①Fish and Chips: Australia, ②Kimchi, Kimbap: Korea は, 児童の日常生活でも耳にしたり, 食べたりしたことがある食べ物である。食べ物など様々な文化も国境を越えていることを感じ取らせたい。</p> <p>・聞き取れた内容を共有する。すべての意味を理解させる必要はない。ここでは, 本単元の題材である食事, 食べ物に興味をもたせるとともに, それぞれの国によって違いがあり, 食文化が成り立っていることが感じられるとよい。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
		<p>① They are fish and chips. It's deep fried fish with fried potatoes. You eat them with salt, vinegar or lemon juice.</p> <p>② "Kimchi" is Korean pickled Chinese cabbage. It's red. It's spicy and hot. "Kimbap" is like Japanese <i>norimaki</i>. You roll rice, vegetables and some meat with seaweed.</p>	
20分	<p>○レストランで注文しよう。</p> <p>・指導者の質問に対して, 欲しいものを言う。(こうせいと Chef の場面: Dessert)</p> <p>【Let's Chant】 What would you like? p.61</p> <p>・言えるところから言う。</p>	<p>・デジタル教材で Let's Watch and Think 1 のレストランの場面 (映像ではなく, 誌面のイラスト) を画面に映し出す。レストラン場面であり, 自身が Chef で児童が客という設定であること告げて, 全体に What would you like? と尋ねた後, 数名の児童に尋ね, 前時の学習内容を思い出させる。児童の答えに応じて, 画面の食べ物をクリックし, 発音を聞かせる。I'd like ~. と答えるよう促す。</p> <p>・児童が思い出したところで, チャンツを一緒に言う。チャンツを通して, レストランの場面での注文を尋ねたり注文をしたりする際の表現を何度も聞かせたり言わせたりすることがねらい。</p>	デジタル教材 児童用テキスト デジタル教材

	<p>What would you like? What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like grilled fish. I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for me, please.</p> <p>How about your father? How about your father? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like beefsteak. I'd like beefsteak. I'd like beefsteak for my father, please.</p> <p>How about your mother? How about your mother? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? Umm ..., I'd like fruits. I'd like fruits for my mother, please.</p>		
	<p>○注文しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質問に対して、欲しいものを言う。(こうせいの両親と Chef の場面 : Soup, Salad) ・ペアで、Chef と客になって、児童用テキスト p.60, 61 のレストラン場面で注文を尋ねたり答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で Let's Listen 1 のレストランの場面を画面に大きく映し出す。レストランの場面であり、自身が Chef で児童が客という設定であることを告げて、全体に What would you like? と尋ねた後、数名の児童に尋ね、児童の答えに応じて、画面の食べ物をクリックし、発音を聞かせる。 ・慣れてきたら、他の児童も一緒に尋ねるよう促す。 ・ペアで、Chef と客になって、Dessert, Drink, Soup, Salad それぞれに欲しいものを尋ねたり、答えたりするよう指示する。 <p>◎丁寧に注文を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	<p>児童用テキスト デジタル教材 児童用カード (飲食物)</p>
7分	<p>【Let's Listen 2】 p.60</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声聞いて、こうせいの祖母が注文したものを聞き取り、Main dish, Side dish, Dessert のそれぞれの枠に記入する。 ・値段の会話で聞き取れた語を発表する。値段の尋ね方や 100 以上の数字の言い方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴する前に、どんなものを注文しそうかを予想させることで、聞きたい気持ちを高めるようにする。 ・デジタル教材の音声では、祖母とウェイター及びレジ係の会話を聞くが、最初は枠に注文した食べ物のみを記入させる。注文した食べ物をみんなで確認した後、再度聞かせる。その際には、値段のやり取りに注意して聞くよう言う。 ・値段の会話で聞き取れた語を尋ね、値段の尋ね方、値段の言い方を確認する。 	<p>デジタル教材 児童用テキスト</p>
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p>

5年 Unit 8—Lesson 3 単元名 What would you like? 料理・値段 3/8時間

目 標 値段を尋ねたり答えたりすることができる。

準 備 児童用テキスト、教師用カード（食べ物、家族、数字、大文字・小文字）、料理の写真など、ワークシート（Unit 8-3, 8-5, 8-8）、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
8分	<p>・挨拶をする。</p> <p>[Jingle] Foods Jingle p.59 (p.79)</p> <p>・ジングルを言う。</p> <p>・ワークシートに聞こえた最初の小文字を書く。（5文字）</p> <p>デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Foods」</p>	<p>・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・映像を見ながら、ジングルをみんなで2、3回言う。</p> <p>・ジングルを思い出して、ワークシートにある食べ物の最初の小文字を書くように促す。ワークシート下の食べ物の絵・アルファベットの文字の部分は折り曲げて、見ずに文字を書かせることも考えられる。また、右の4線には、児童の実態に応じて、5種類の小文字を複数書いたり、左の食べ物の単語を書き写したりさせるとよい。</p>	<p>デジタル教材 教師用カード（飲食物） ワークシート （Unit 8-8）</p>
	<p>[Let's Chant] What would you like? p.61</p> <p>・チャンツを言う。</p>	<p>・児童の実態に応じて、スピードを選ぶ。</p> <p>・食べ物の名前や家族を児童自身が選ぶと、繰り返す際の動機付けとなる。</p>	<p>デジタル教材 教師用カード（食べ物、家族）</p>
	<p>What would you like? What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like grilled fish. I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for me, please.</p> <p>How about your father? How about your father? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like beefsteak. I'd like beefsteak. I'd like beefsteak for my father, please.</p> <p>How about your mother? How about your mother? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? Umm ..., I'd like fruits. I'd like fruits for my mother, please.</p>		
5分	<p>[Let's Watch and Think 1] p.58, 59 ④⑥</p> <p>・世界の様々な名物料理について映像資料を視聴し、世界には様々な食生活があることを知る。</p> <p>・指導者の質問に答え、食べ物に関する感想の言い方に慣れ親しむ。</p>	<p>・①～⑦の7種類の映像のうち、これまでに視聴しなかった④⑥の2種類を視聴させる。④Fruits juice: Hawaii, ⑥Pirozhki: Russia は、児童の日常生活でも耳にしたか、食べたことがある食べ物である。</p> <p>・ただ視聴するのではなく、指導者は、It's delicious / yummy / healthy. などと食べ物の感想を入れる。子供がよく食べている料理の絵カードや写真を見せ、Do you like ~? It's delicious / yummy / healthy? などと問いかけ、食べ物に関する感想の表現の仕方に慣れさせるようにする。また、It's delicious / yummy / healthy. と自ら言うよう促す。</p>	<p>教師用カード（飲食物） 料理の写真など</p>
	<p>④ You can eat many tropical fruits in Hawaii. You can enjoy pineapple juice, guava and mango juice, too. They are fresh and good for your health.</p> <p>⑥ "Pirozhki" is from Russia. It's a kind of fried bread. It has meat and vegetables inside. Look at this Russian stew. It's called "borscht" or red soup. They put cabbage, sausages and red beets in it.</p>		
	<p>*写真を映し出す際には、デジタル教材の「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。</p>		

7分	<p>【Let's Listen 2】 p.60</p> <p>・前回聞いたこうせいの祖母のレストランでのやり取りを再度聞く。聞き取った、値段を枠内に記入する。</p>	<p>・前回この活動では、注文したものを聞き取り、値段については、触れるだけであった。今回は、値段を聞き取り、枠に記入するよう告げる。</p> <p>・値段の聞き方、答え方を確認する。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>ウェイター：Hello, what would you like? You can order a main dish, a side dish and a dessert. What would you like for your main dish?</p> <p>祖母：Ummm, I'd like fried chicken and an omelet on the side. I'd like fruit for dessert.</p> <p>ウェイター：OK, fried chicken, an omelet and fruit.</p> <p>祖母：How much is this?</p> <p>レジ係：The fried chicken is 400 yen. The omelet is 300 yen. The fruit is 280 yen. 980 yen, please.</p> <p>祖母：OK, here you are.</p> <p>レジ係：Thank you.</p>			
7分	<p>○Buzz Game</p> <p>・グループでワークシートを見ながら活動する。</p>	<p>・ゲームの前に、これまでに学習した数字（1～60）の言い方をもとに、それらに続く数（70, 80, 90, 100, 110～）の言い方を類推するよう促し、児童の発表により確認する。指導者の後について一緒に言う。特に100以降の数については丁寧に指導をする。</p> <p>・進め方の例を示す。</p> <p>・このゲームのねらいは、数の言い方に慣れさせることである。児童の実態により、数字の一覧表を準備すると、支援の必要な児童もゲームがしやすい。</p>	教師用カード（数字） ワークシート （Unit 8-3）
<p>Buzz Game の進め方</p> <p>・グループで数字を言って行く。1人が言えるのは、1～3つの連続した数字。Buzz Number を言った人が負ける。次は Buzz Number を言った人から始める。まずは、60 から 200 で全グループ行う。</p> <p>例：S1: 60, 70, 80 S2: 90, 100 S3: 110, 120, 130 S4: 140, 150, 160 S1: 170, 180 190, S2: 200 (Buzz!)</p> <p>・2回目のスタートは、Buzz になった人から始める。</p>			
10分	<p>○注文しよう。</p> <p>・ペアで、Chef, レジ係と客になって、児童用テキスト p.64, 65 のレストラン場面で注文を尋ねたり値段を尋ねたり、それに答えたりする。</p>	<p>・児童用テキスト p.64, 65 のメニュー表にある料理の値段を児童に尋ね、学級でそれぞれの料理に値段を付ける。値段の尋ね方を十分聞かせ、児童に値段を言わせることがねらいである。</p> <p>・前時とは違う人とペアになり、注文を尋ねたり値段を尋ねたり、それに答えたりするよう言う。</p> <p>◎値段を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用テキスト
5分	<p>○Sounds and Letters ② (s)</p> <p>・示されたアルファベットの文字カードを見てみんなでその2種類の読み方、名称と音を確認し、どんな食べ物があるかを考える。</p> <p>S, S, /s/ s/ _____</p>	<p>・アルファベットの文字カードを示し、その読み方を一緒に確認し、その音で始まる食べ物を尋ねる。</p> <p>S, S, /s/ s/ _____</p> <p>例: sausage, salad, spaghetti, sandwich, strawberry, soup</p>	デジタル教材 教師用カード（大文字・小文字） ワークシート （Unit 8-5）
3分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 8—Lesson 4 単元名 What would you like? 料理・値段 4/8時間

目 標 丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりできる。

準 備 飲みたい物やその写真 (Small Talk 用), 児童用テキスト, 教師用カード (飲食物, 家族), 児童用カード (飲食物), ワークシート (Unit 8-3, 8-6), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ○Small Talk：飲みたい物 <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 指導者の飲みたい物について話す。一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	飲みたい物やその写真, 教師用カード (飲食物)
Small Talk の例 T : What would you like to drink? Coffee, orange juice, apple juice, or tea? What would you like? How about you, S1? S1: I'd like apple juice. T : Oh, you'd like apple juice. Good. How about you, S2? S2: Water. T : OK. You'd like a glass of water. T : (自分を指さしながら) Me, I'd like juice. I like juice very much. What kind of juice would you like? Apple juice? Orange juice? Grape juice? (果物の絵カードを示す) like peach juice. I like peaches very much. It's delicious.			
3分	【Let's Chant】 What would you like? p.61 <ul style="list-style-type: none"> チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態に応じて、スピードを選ぶ。 食べ物や家族の呼称を児童自身が選び、カラオケで実施することで、児童のやる気を喚起することも考えられる。 	デジタル教材
What would you like? What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like grilled fish. I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for me, please. How about your father? How about your father? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like beefsteak. I'd like beefsteak. I'd like beefsteak for my father, please. How about your mother? How about your mother? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? Umm ..., I'd like fruits. I'd like fruits for my mother, please.			
8分	【Let's Listen 3】 p.61 <ul style="list-style-type: none"> 音声聞いて登場人物の注文したものを聞き取り、その料理の値段も聞き取って記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の祖母の注文を確認した後、祖父がどのようなものを注文しそうかを予想したり、その値段を予想したりしてから視聴することで、聞きたい気持ちを高めてから視聴するとよい。 会話形式で丁寧な言い方で料理を注文したり、レジでお金を払ったりする映像資料を視聴し、具体的な情報を聞き取ることがねらい。また、値段の尋ね方、答え方を確認する。 	デジタル教材 教師用カード (飲食物, 家族) 児童用テキスト
ウェイター : What would you like for your main dish? 祖父 : I'd like a beefsteak and salad on the side. I'd like <i>daiifuku</i> for dessert. ウェイター : OK, a beefsteak, salad and <i>daiifuku</i> . 祖父 : Thank you. 祖父 : How much is this? レジ係 : The beefsteak is 600 yen. The salad is 250 yen. The <i>daiifuku</i> is 120 yen. 970 yen, please. 祖父 : OK, here you are. レジ係 : Thank you.			

		◎注文に丁寧に答えているのを聞いたり、値段を聞き取って記入したりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
5分	○ Buzz Game ・数の言い方を思い出し、指導者の後について繰り返し言う。グループでゲームをする。	・前時に行ったゲームをする。その前に、数の言い方を全員で確認する。(1~60, 70, 80, 90, 100, 110 ~ 990)	ワークシート (Unit 8-3)
<p>Buzz Game の進め方</p> <p>・グループで数字を言って行く。1人が言えるのは、1~3つの連続した数字。Buzz Number を言った人が負ける。次は Buzz Number を言った人から始める。まずは、60から200で全グループ行う。</p> <p>例：60-200</p> <p>S1: 60, 70, 80 S2: 90, 100 S3: 110, 120, 130 S4: 140, 150, 160 S1: 170, 180 190, S2: 200 (Buzz!)</p> <p>2回目のスタートは、Buzz になった人から始める。</p>			
16分	○ ペアで注文し合おう。 ・ペアになり、1人がレストランスタッフ、もう1人が客になって、互いに欲しい食べ物を注文したり、値段を尋ねたりする。誌面 p.64, 65 のメニュー表を見ながら行う。注文に応じて児童用カード (飲食物) を客に渡す。 ○ デスティニー・ゲーム ・グループでデスティニー・ゲームを行う。	・第2, 3時と違う人とペアになり、p.64, 65 のメニュー表を見ながら欲しい食べ物を注文し、値段を言い合うよう指示する。 ・違うペアで複数回同様に行わせる。児童の発話の状況を観察し、次の活動につなげる。 ◎丁寧に表現で注文や値段を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ・デスティニー・ゲームの進め方の例を示し、グループで行わせる。指導者の注文を聞いて、It's ~. で感想を言うように促す。	児童用テキスト 児童用カード (飲食物)
<p>デスティニー・ゲームの進め方</p> <p>3~4人のグループになる。食べ物カードをシャッフルし、各自同数になるように配布し、裏返して机の上に置く。</p> <p>Ss: What would you like?</p> <p>T: I'd like pizza. (食べ物を言う。)</p> <p>S1, 2, 3 (pizza のカードを持っている児童) : You'd like pizza. (カードを出す) <u>It's delicious / yummy / nice / good.</u> (下線部分は自分で考えて言う。)</p> <p>T: How much?</p> <p>S1: 650 yen, please. / S2: 700 yen, please. / S3: 800 yen, please. (自分で考えて適当と思う値段を答える。)</p> <p>T: OK. Here you are. (お金を支払うジェスチャーをする)</p> <p>S1: Thank you.</p> <p>T: (One, two. / Ready go. と声をかけたり、カスタネットやタンバリンを2度鳴らすなどして合図を出す。)</p> <p>S123: What would you like?</p> <p>T: I'd like ... (食べ物を言う。) (同様に続ける。)</p>			
5分	○ Sounds and Letters ③ (b) ・示されたアルファベットの文字カードを見てみんなでその名前読みと音を確認し、どんな食べ物があるか考える。 B, B/b/, /b/ _____	・アルファベットの文字カードを示し、その名称読みと音と一緒に確認し、どんな食べ物があるか考え発表するよう促す。 〈例〉 bed, book, bat, bag, boots, bear など	ワークシート (Unit 8-6)
3分	・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

5年 Unit 8—Lesson 5 単元名 What would you like? 料理・値段 5/8時間
目 標 丁寧な表現で注文や値段を尋ねたり答えたりする。 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分かり、書き写すことができる。
準 備 児童用テキスト、教師用カード（食べ物：egg, donut, jam, fish, salad）、児童用カード（食べ物、家族）、ワークシート（Unit 8-1, 8-7）、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79) ・Foods Jingle を聞く。 ・音に注意しながら文字の名称を言う。 ・ジングルをみんなで言ったあと、ペアで1つのチャート（児童用テキスト巻末）を使って交代で言う。 【Let's Chant】 What would you like? p.61 ・チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・音に注意しながら文字の名称を言う。 ・ジングルをみんなで言ったあと、ペアで1つのチャート（児童用テキスト巻末）を使って交代で言わせるとよい。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>デジタル教材は 「教材どうぐばこ」→「素材種別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Foods」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態により、スピードを選ぶ。 ・食べ物や家族の呼称を児童自身に選ばせ、カラオケで実施することで、児童のやる気を喚起することも考えられる。 	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード（飲食物） デジタル教材
	<p>What would you like? What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like grilled fish. I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for me, please.</p> <p>How about your father? How about your father? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like beefsteak. I'd like beefsteak. I'd like beefsteak for my father, please.</p> <p>How about your mother? How about your mother? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? Umm ..., I'd like fruits. I'd like fruits for my mother, please.</p>		
17分	<ul style="list-style-type: none"> ○先生の作ったメニューセットを知ろう。 ・指導者が紹介するメニューセットの話を聞いて、誰のためにどうしてそのようなメニューを作ったのかを聞き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者は、あらかじめ自身の家族などの身の回りの誰かのためにメニューを考えておく。代表児童をChef 役とレジ係役にし、メニューをみんなの前で作り、そのようなメニューにした理由も伝える。 ・この活動のねらいは、児童に単元終末の活動の見通しをもたせることである。 	教師用カード（飲食物）
	<p>やり取りの例</p> <p>S1: What would you like? T : I'd like grilled fish, rice, salad and miso soup for my brother. S1: Ok, grilled fish, rice, salad and miso soup. Here you are. What would you like? T : I'd like</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ○店ごとに集まり、メニューの値段を考えたり、客と店員に分かれて注文したりする。 ・客のつもりになって、指導者の質問に答えたり、値段を尋ねたりす 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元終末の活動に向けて、グループで準備をするよう言う。 ・次時の活動で料理を取りに行くことへの意欲を高めるために、児童用テキスト p.64 のように、クロス模様を工夫したり、料理をのせるお盆や皿、コー 	児童用テキスト 児童用カード（飲食物）

5年 Unit 8—Lesson 6 単元名 What would you like? 料理・値段 6/8時間

目 標 他者に配慮しながら、丁寧に注文したり受けたりしようとする。

準 備 児童用テキスト、教師用カード(飲食物)、児童用カード(飲食物)、ワークシート (Unit 8-2)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
13分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>○Small Talk : 宅配ピザの注文の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 <p>Small Talk の例</p> <p>T : Do you like pizza? S1: Yes!! I like pizza. S2: So so. T : When you order a pizza delivery, you can use this phrase. What would you like? I'd like ~ . (ピザ屋の様な感じで電話を受ける役をする) (Ring, Ring!) What would you like to order? T : (1人2役又は T2 と役割分担して注文をする) I'd like a large pizza with mushrooms, onions and bacon. You say pizza size and topping. Let's try! Any volunteers? ○○-san, please. T : What would you like to order? S : I'd like a large size pizza with onions and chicken. Thank you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	教師用カード (飲食物)
	<p>【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Foods Jingle を聞く。 ・音に注意しながら文字の名称を言う。 ・ジングルをみんなで言ったあと、ペアで1つのチャート (児童用テキスト巻末) を使って交代で言う。 <p>【Let's Chant】 What would you like? p.61</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音に注意しながら文字の名称を言うよう促す。 ・ジングルをみんなで言ったあと、ペアで1つのチャート (児童用テキスト巻末) を使って交代で言う。今回はじめに言った方と順番を変える。 <p>デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Foods」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態により、スピードを選ぶ。 ・食べ物や家族の呼称を児童自身に選ばせ、カラオケで実施することで、児童の意欲を高めることも考えられる。 	デジタル教材 児童用テキスト デジタル教材
	<p>What would you like? What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like grilled fish. I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for me, please.</p> <p>How about your father? How about your father? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like beefsteak. I'd like beefsteak. I'd like beefsteak for my father, please.</p> <p>How about your mother? How about your mother? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? Umm ..., I'd like fruits. I'd like fruits for my mother, please.</p>		
9分	<p>【Let's Listen 5】 p.62</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Listen 4 のメニューを再度聞き取り、その値段を聞き取って記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最後の活動のモデルとなる値段のやり取りまでを再度聞く。ここでの活動を、この後の店ごとに集まった際に生かせるように、声掛けをしておく。 ・ Happy Menu については、音声は無いが、指導者が値段を決めて言い、聞き取らせて書かせるとよい。 	デジタル教材

	<p>はな : The happy meal is 690 yen. The healthy meal is 860 yen. The power-up meal is 930 yen. The <i>bento</i> meal is 780 yen.</p>	<p>残りの Happy Menu についても指導者が金額を言って聞き取らせ、記入させるとよい。</p>	
20分	<p>【Activity】 p.64</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の準備をする。 ・グループで客と店員に役割分担をして、注文や値段を尋ねたり答えたりして、必要な食べ物をそろえる。 <p>やり取りの例 (Main dish コーナー)</p> <p>店員: What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? 客 : I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for my grandfather, please. 店員: You'd like grilled fish. It's very delicious and healthy. 客 : How much is it? 店員: Grilled fish is 850 yen. 850 yen, please. 客 : Here you are. 店員: Thank you very much. Please enjoy.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の場を設定する。 ・今回と次回を合わせて、メニューをそろえるよう告げる。 ・前半の役割のポジションにつき、準備を促す。 ・途中で活動を止め、好事例をみんなの前で紹介し、 <p>◎他者に配慮しながら、丁寧な表現を使って注文したり受けたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	<p>児童用カード (飲食物)</p> <p>ワークシート (Unit 8-2)</p>
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p>

5年 Unit 8—Lesson 7 単元名	What would you like?	料理・値段	7/8時間
目 標	他者に配慮しながら、丁寧な表現を使って注文をしたり受けたりしようとする。 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを推測して読み、書き写すことができる。		
準 備	児童用テキスト、児童用カード(飲食物)、ワークシート (Unit 8-1, 8-2)、店の看板 (Main / Side / Dessert / Drink)、デジタル教材、振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
7分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79) Foods Jingle を聞く。 音に注意しながら文字の名称を言う。 ジングルをみんなで言ったあと、ペアで1つのチャート (p.79) を使って交代で言う。 【Let's Chant】 What would you like? p.61 チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 音に注意しながら文字の名称を言う。 ジングルをみんなで言ったあと、ペアで1つのチャート (p.79) を使って交代で言う。前回とはペアを変える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Foods」 </div> <ul style="list-style-type: none"> 児童の実態により、スピードや言う内容を選ぶ。 値段の言い方についても併せて復習する。 	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>What would you like? What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like grilled fish. I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for me, please.</p> <p>How about your father? How about your father? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like beefsteak. I'd like beefsteak. I'd like beefsteak for my father, please.</p> <p>How about your mother? How about your mother? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? Umm ..., I'd like fruits. I'd like fruits for my mother, please.</p>		
15分	<ul style="list-style-type: none"> 【Activity】 p.64 活動の準備をする。 前半の活動を行う。 よいコミュニケーションについて、具体的に共通理解し、後半の活動のめあてをもつ。 役割を交代して後半の活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回到続き、活動の場を設定する。 評価の視点や、目指すべき姿を共有する。 前半の役割のポジションにつき、準備を促す。 中間評価をし、よいコミュニケーションについて、具体的に共通理解し、後半の活動を行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> やり取りの例 (Dessert コーナー) 店員: What would you like? Ice cream, fruits, parfait, cake, <i>daiiku</i>. 客 : I'd like fruits and cake. I'd like fruits and cake for my grandfather, please. 店員: You'd like fruits and cake. Very delicious and healthy. 客 : How much is it? 店員: 500 yen for fruits. Cake is 200 yen, please. 客 : Here you are. 店員: Thank you very much. Please enjoy. </div> <p>◎他者に配慮しながら、丁寧な表現を使って注文したり受けたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 8-2) 児童用カード (飲食物) 店の看板 (Main / Side / Dessert / Drink)
20分	<ul style="list-style-type: none"> OLet's Read and Write ② 英語のメニューを見て、情報を読み取り、注文した料理 (メインディッシュ・サイドディッシュ・デザート・ドリンク) の単語を選択して書く。 誰のためのどんなメニューにするのかネーミングを考え、料理や飲み物を置く皿やコースターの絵をワークシートに描く。 	<ul style="list-style-type: none"> 誌面 p.66, 67 のメニューを見て、丁寧に書き写すよう言う。 メニューの名前の例を示す。 p.64 や指導者の例を参考に、セット名を考え、書くよう促す。日本語をまじえてもよい。 <p>◎メニュー表の料理名を推測して読んでいる。注文した料理を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 8-1, 8-2) 児童用テキスト

3分	・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード
----	--------------------------------------	---------------------------------	---------

5年 Unit 8—Lesson 8 単元名 What would you like? 料理・値段 8/8時間

目 標 他者に配慮しながら、メニューについてまとまりのある話を聞いたり、感想を伝え合ったりしようとする。

準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 8-2)、デジタル教材、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
7分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 【Jingle】 Foods Jingle p.59 (p.79) ・ Foods Jingle を聞く。 ・音に注意しながら文字の名称を言う。 ・全員で言ったあと、ペアで1つのチャート (p.79) を使って交代で言う。 【Let's Chant】 What would you like? p.61 ・チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・音に注意しながら文字の名称を言う。 ・ジングルをみんなで言ったあと、ペアで1つのチャート (p.79) を使って交代で言う。前回はじめに言った方と順番を変える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Foods」 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態により、スピードや言う内容を選ぶ。 	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>What would you like? What would you like? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like grilled fish. I'd like grilled fish. I'd like grilled fish for me, please.</p> <p>How about your father? How about your father? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? I'd like beefsteak. I'd like beefsteak. I'd like beefsteak for my father, please.</p> <p>How about your mother? How about your mother? Grilled fish, fried chicken or beefsteak? Umm ..., I'd like fruits. I'd like fruits for my mother, please.</p>		
7分	<ul style="list-style-type: none"> 【Let's Listen 4】 p.62 ・再度、登場人物が注文した料理を確認し、それは誰のためにどんな理由で取りそろえたメニューなのかを話している音声を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この音声を再度聞くことにより、この後自分が誰のためにどんな理由で取りそろえたメニューなのかを話す時の参考にできるとよい。 	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>ウェイター：What would you like? はな：I'd like milk, a beefsteak, French fries, salad, yogurt and bread. This meal is for my brother. He is always very hungry. He is a basketball player. This is perfect for my brother. 答え (It's the power-up meal.)</p> <p>ウェイター：What would you like? はな：I'd like a rice ball, <i>daifuku</i>, fried chicken and <i>gyoza</i>. This is for my sister. <i>Daifuku</i> is my sister's favorite sweet. Fried chicken and <i>gyoza</i> are delicious, too. This is a good meal for my sister. 答え (It's the <i>bento</i> meal.)</p> <p>ウェイター：What would you like? はな：I'd like grilled fish, <i>miso</i> soup, fruits, rice, green tea and salad. This is a good meal for my mother. She is busy. She is sometimes tired. Fruits and salad have lots of vitamins. 答え (It's the healthy meal.)</p>		

23分	<p>○自分の考えたスペシャルメニューについて発表する。</p> <p>・グループになり、誰のためのどんなメニューなのか発表し合う。</p>	<p>・どんな順で発表するのかなどについて、進め方を示す。</p> <p>・発表や感想、質問の際に大切にしたいことや、ルールについて共通理解してから始める。</p>	ワークシート (Unit 8-2)
<p>児童の発表例</p> <p>S1: This menu is for my father. Beefsteak, salad, miso soup, fruits and mineral water. He is always very busy and tired. This is a good menu for my father. Fruits and salad have a lots of vitamins. Beefsteak and <i>miso</i> soup, he can get power. Healthy power up menu. It's 2,640yen.</p> <p>S2: I like beefsteak. It's delicious. S1: Me, too. I like beefsteak.</p> <p>S2: It's a good menu for your father. How old is he? S1: Thank you. He is 45 years old.</p> <p>S3: Fruits and salad are very good. A good healthy menu. What fruits do you like? I like strawberries.</p> <p>S1: I like strawberries, too. I like peaches the best. Thank you.</p>			
<p>・グループの中から代表発表者を決める。代表発表者は、全員の前で発表し、ほかの児童は感想を言ったり質問をしたりする。</p>		<p>・学級の実態に応じた形式で実施するとよい。発表者に指導者自ら感想を言ったり質問をしたりする。また、発表者の内容を受けて、他の児童に質問をしたりする。</p> <p>◎他者に配慮しながら、メニューについて相手の話を聞き、質問したり、感想を伝えたりしている。</p> <p>〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>【STORY TIME】 p.63</p> <p>・絵本の読み聞かせを聞いたり、読んだりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Later in the afternoon....</p> <p>Maria: Hi, Kazu!</p> <p style="padding-left: 20px;">Let's play soccer together.</p> <p>We have a great time, but....</p> <p>Kazu :</p> </div>	<p>・絵本を読み聞かせる際には、一方的に絵本の台詞を読むのではなく、児童と各ページにあるさまざまなイラストや話の筋についてやり取りしながら読むようにする。そうすることで、話の筋についての理解を助けるとともに、児童を絵本の世界に引き込むことができる。</p> <p>・高学年で扱っている絵本のページに記されている台詞は、やがて児童が読み聞かせを聞きながら絵本の台詞を指で追って聞いたり、自分で読むことに挑戦したりすることを想定し、短く単純なものにしている。よって、指導者が台詞以外の言葉を加えながらやり取りを行い、児童の想像を膨らませることが大切である。</p> <p>・指導者は、ジェスチャーを付け、表情豊かに読む。これらも児童にとっては、話の筋を理解する上で大切な情報源となる。デジタル教材を使って読み聞かせをしてもよい。デジタル教材を使って、あるいは指導者が読んで行う。</p> <p>・Kazuの複雑な気持ちが、but....と表れている。このbut以下を児童と考えたり、MariaとKazuの役に分かれて、Mariaの台詞を読んだ後、児童と考えたKazuの台詞を言うなどの活動も考えられる。</p> <p>・児童を絵本の世界に引き込みながら読み聞かせをしたり、文字を追いながら読ませたりするとよい。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
3分	<p>・本時の活動及び本単元を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年－Unit 9

単元名

Who is your hero?

あこがれの人

1. 単元目標

- 得意なことについて、聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句や表現を書き写すことができる。(知識及び技能)
- あこがれたり尊敬したりする人について、自分の考えや気持ちを含めて伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- 他者に配慮しながら、自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- Who is your hero? This is my hero. [He / She] is good at (playing tennis). [He / She] is a good (tennis player). [He / She] can (cook well). [He / She] is [kind / cool / great / strong / gentle / active / brave / funny].
- hero, flute, family, 状態・気持ち (active, cool, fantastic, friendly, gentle, kind, brave, funny, strong, tough), fox, yak, zebra, zoo
- [既出] 状態・気持ち, 動作, スポーツ, 日課, 職業, 家族

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】, ○) 【 】【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆得意なことの表現の仕方が分かる。</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.66, 67</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像資料を視聴し、自分にとってのヒーロー/ヒロインについて話すのを聞き、分かったことを発表する。 <p>【Let's Listen 1】 p.68</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物が、何が得意かを聞いて、線で結ぶ。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアになり、得意かどうかを尋ね合う。 <p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> Jingle を聞き、単語の最初のアルファベットの音を考えながら、4線上に小文字を書く。(a～e) 	◎得意なことの表し方が分かり、線で結んでいる。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検>
2	<p>◆第3者のできることを含めた話を聞いて分かるとともに、できることを尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>○Small Talk: 校内の先生</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.66, 67 後半</p> <ul style="list-style-type: none"> 後半の映像を視聴し、分かったことを誌面に書く。 <p>○デスティニー・ゲーム</p> <p>【Let's Play 1】 p.71</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで誌面イラストをヒントに質問をして、相手のことを知る。 	◎第3者ができることなどの話を聞いて内容が分かり、聞き取ったことを書いている。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検> ◎できることを尋ねたり答えたりしている。<行動観察・振り返りカード点検>

	<p>○Let's Read and Write ・文を書き写したり，例を参考に英文を完成させたりする。</p> <p>○Sounds and Letters ・Jingle を聞き，単語の最初のアルファベットの音を考えながら，4線上に小文字を書く。(f~j)</p>	
3	<p>◆第3者のできることや得意なことを聞いたり言ったりできる。</p> <p>【Let's Listen 2】 p.68 ・音声を聞いて，登場人物と，得意なことやできることのイラストを線で結ぶ。</p> <p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67 ○どの先生のことかを考えて答えよう。 ・指導者の話を聞き，だれのことかを考えて当てる。</p> <p>【Let's Play 2】 p.71 ・前時に Let's Play 1 で友達にインタビューして分かったことを，別の友達と伝え合う。</p> <p>○Let's Read and Write ・あこがれる人が得意なことを選んで4線に書き写す。ペアの人を相手に，文を声に出して読む(発音する)。</p> <p>○Sounds and Letters ・Jingle を聞き，単語の最初のアルファベットの音を考えながら，4線上に小文字を書く。(k~o)</p>	<p>◎第3者についてできることや得意なことを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎第3者についてできることや得意なことを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・ワークシート分析〉</p>
4	<p>◆自分や第3者についてできることや得意なことなどについて聞いたり言ったりできる。</p> <p>○Small Talk : 校内の先生 【Let's Chant】 Who is your hero? p.67 【Let's Listen 3】 p.69 ・音声を聞いて，聞き取ったことを記入する。</p> <p>【Activity 1】 p.69 ・自分ができること，得意なことを含めてペアで伝え合い，その内容を誌面に記入する。 ・誌面に記入したペアの相手のことについて，別の友達と伝え合う。</p> <p>○Let's Read and Write ・あこがれの人がどんな人かを選んで書き写す。ペアの人を相手に，文を声に出して読む。</p> <p>○Sounds and Letters ・Jingle を聞き，単語の最初のアルファベットの音を考えながら，4線上に小文字を書く。(p~t)</p>	<p>◎できることや得意なことについて聞いたり言ったりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎第3者についてできることや得意なことを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆自分や第3者についてできることや得意なことなどについて聞いたり言ったりできる。</p> <p>○Small Talk : 好きな有名人 【Let's Chant】 Who is your hero? p.67 【Let's Listen 4】 p.70 ・先生の大切な人やあこがれの人について聞き，分かったことを書く。</p> <p>【Activity 1】 p.69 ・前時とは別のペアを相手に，自分が出来ること，得意なことを含めて伝え合い，その内容を誌面に記入する。 ・誌面に記入したペアの相手のことについて，別の友達と伝え合う。</p> <p>【Let's Listen 5】 p.70</p>	<p>◎できることや得意なことについて聞いたり言ったりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎第3者についてできることや得意なことを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉</p>

	<p>・登場人物の紹介を聞き、分かったことをメモに取り、発表する。</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>・紹介したい人のことを、例を参考にしながら書く。ペアの人を相手に、文を声に出して読む。</p> <p>○Sounds and Letters</p> <p>・Jingle を聞き、単語の最初のアルファベットの音を考えながら、4線上に小文字を書く。(u~z)</p>	
6	<p>◆あこがれの人の話を聞き、その人のできることや得意なことなどが分かる。</p> <p>◆自分のあこがれの人ができることや得意なことについて、語順に注意しながら今まで書いたものを書き写す。</p> <p>○Small Talk：家族や友達</p> <p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <p>【Activity 2】 p.72</p> <p>・登場人物が自分のヒーローを紹介する音声を聞き、内容を理解する。指導者の質問に答える形で、理解した内容を確認する。</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>・前時までに書いたワークシートをもとにスピーチ内容を見直し、話す文の順番を替えたり新しい文を加えた上で、書き写す(清書する)。</p> <p>【STORY TIME】 Unit 1~3</p> <p>・読み聞かせを聞く。</p>	<p>◎あこがれの人の話を聞き、できることや得意なことなど、どのような人かが分かっている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎音声で十分に慣れ親しんだ基本的な表現を、相手に伝える目的をもち語順に注意しながら書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆自分のあこがれの人について、できることや得意なことについて、自分の意見を含めて伝える。</p> <p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <p>○誰のことかを考えて答える。</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>・デジタル教材で映し出された英文を、音声が続いて読む。清書した英文をペアで読み合う。</p> <p>【Activity 2】 p.72</p> <p>・ペアで、家族や友達など、自分のヒーローを紹介し合う。</p> <p>【STORY TIME】 Unit 4~6</p> <p>・文字を目で追いながら読み聞かせを聞き、絵などを参考に推測できる単語は一緒に読む。</p>	<p>◎自分のあこがれの人について、できることや得意なことについて、自分の意見を含めて伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆他者に配慮しながら、自分のあこがれの人について、自分の意見を含めて伝えようとする。</p> <p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <p>【Activity 2】 p.72</p> <p>・自分のヒーローを紹介する。聞いている児童は、聞き取れたことをメモしたり、話者のどんな点がよかったかを記入したりする。</p> <p>【STORY TIME】 Unit 7~9</p> <p>・読み聞かせに合わせて、台詞や繰り返し音声で慣れ親しんだ文を一緒に読む。</p>	<p>◎他者に配慮しながら、自分のあこがれの人について、自分の意見を含めて伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

◎文字と音については単元を通して適宜評価する。アルファベットの文字の読み方には、名称のほかにも音があることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉

5年 Unit 9—Lesson 1 単元名 Who is your hero? あこがれの人 1/8 時間

目 標 得意なことの表現の仕方が分かる。

準 備 教師用カード (動作), 児童用テキスト, 児童用カード(動作), ワークシート (Unit 9-6), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
25分	<p>・挨拶をする。</p> <p>[Let's Watch and Think] p.66, 67</p> <p>・雑誌の表紙から連想した登場人物にとってのヒーローについて話している映像資料を視聴し、分かったことを誌面に書く。</p> <p>・できることや得意なことの表し方に気付き、単元終末の活動への見通しをもつ。</p> <p>・2回程度繰り返し聞いた後、答えを確認する。</p> <p>・指導者や映像資料でヒーローの紹介を聞いたり、視聴したりし、単元最後に紹介したいヒーローを考える。</p>	<p>・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・視聴の前に、児童と一緒に誌面にある雑誌の表紙を見ながら質問する。</p> <p>What do you see in the picture?</p> <p>・雑誌 <i>Computers, Sports, Cooking Book</i> の3種類の映像を視聴して聞き取れたことや繰り返し出てきた表現などについて、児童に質問して確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>T: Who is Saki's hero? Ms. ...? She is a ...? She can ...? She is ...? She is good at playing the ...? She can ...? She is ...?</p> </div> <p>・既習の <i>can</i> に加えて、何度も <i>good at ~</i> という言葉が出てくることに気付かせ、学級の児童の例などを挙げながら、それが「得意である」という意味であることを捉えさせるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>What can you hear? Good at? S1 is good at S2 is good at I'm good at ... S3, are you good at ... ?</p> </div> <p>・児童が聞き取った言葉を、なるべく文のレベルで確認する。What can you hear? Music? Yes, he is good at music.</p> <p>・児童が本単元の終末での活動の見通しをもてるようにする。また、最後に紹介したい自分のヒーローを次時まで決めておくように告げる。</p>	<p>デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (動作) 児童用カード (動作)</p>
	<p>・指導者の質問に答える。 Yes, I am. No, I'm not.</p>	<p>・5人のヒーロー紹介で出てきた、得意なことも含めた様々なことについて、その絵カードを見せながら児童に得意かどうかを尋ねる。</p> <p>・児童の答えに応じて、児童の答えを <i>You are good at ~</i> で繰り返す。この活動のねらいは、児童に <i>You are good at ~. Are you good at ~? Yes, I am. / No, I'm not.</i> の表現を何度も聞かせたり言わせたりすることである。</p>	

		Are you good at music / playing the recorder / cooking / swimming / playing baseball / singing? You are good at ~. Great. You aren't good at ~. That's OK.	
	<p>【Let's Listen 1】 p.68</p> <p>・デジタル教材で音声聞いて、誌面の登場人物と動作の絵とを線で結ぶ。</p> <p>○Let's Talk</p> <p>・Let's Listen 2にある8種類の動作について、ペアで得意かどうかを尋ね合う。</p>	<p>・答えの確認をした後、誌面にある動作について児童数名に Are you good at ~? と問いかけ、この表現の使い方を理解させるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 先生 : Satoshi, are you good at playing the piano? さとし : No, I'm not. I'm good at cooking. 先生 : That's good.</p> <p>2. 先生 : Laksh, are you good at swimming? ラクシュ : Yes, I am. I'm good at doing judo. 先生 : Wow, fantastic.</p> <p>3. 先生 : John, are you good at playing volleyball? ジョン : Yes, I am. I'm also good at swimming and cooking.</p> </div> <p>◎得意なことの表し方が分かり、線で結んでいる。 〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>・ペア同士で、8種類の動作について相手が得意かどうか予想を立てた上で、尋ね合わせる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
12分	<p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.</p> <p>This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.</p> </div>	<p>・まずチャンツを聞かせ、どのような音が聞こえたか発表させる。</p> <p>・聞こえた語を児童と確認してから、一緒にチャンツを言う。ゆっくりバージョンから始めるようにする。</p>	デジタル教材
5分	<p>○Sounds and Letters</p> <p>・p.74,75の Sounds and Lettersを開き、ジングルを1通り聞く。</p> <p>・同じ言葉で始まる単語2つを見て、最初のアルファベットの音を考えながらワークシートの4線の上に書く。</p>	<p>・デジタル教材で Alphabet Jingle を聞かせる。(aからzまで)</p> <p>・最初の音に注目させ、デジタル教材でしっかり音を聞いてから最初のアルファベットの小文字を書くよう指示する。(aからeで始まる単語)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Alphabet」</p> </div>	デジタル教材 ワークシート (Unit 9-6)
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・本単元最後に紹介したい自分のヒーローを次時まで決めておくことを確認する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 9—Lesson 2 単元名 Who is your hero? あこがれの人 2/8時間

目 標 第3者のできることを含めた話を聞いて分かるとともに、できることを尋ねたり答えたりすることができる。

準 備 校内の先生の写真など (Small Talk 用), 教師用カード (動作), 児童用テキスト, 児童用カード (動作), ワークシート (Unit 9-1, 9-2, 9-7), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk: 校内の先生</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を, 反応を示したり質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	校内の先生の写真など ※写真を映し出す際には, デジタル教材の「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。
<p>Small Talk の例</p> <p>Itani <i>sensei</i> is a nice teacher. She is good at music. Are you good at music? She can play the piano well. She can sing well, too. She is good at <i>Enka</i>. She can play basketball well. She is good at shooting. Can you play basketball? She is kind to you and me. She is a nice teacher.</p>			
10分	<p>[Let's Watch and Think] p.66, 67</p> <ul style="list-style-type: none"> 前回の後半の映像資料を視聴し, 分かったことを誌面に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時と同様にデジタル教材で映像全体を視聴させる。 その後, 後半 (Fashion Magazine, Animals) のみを再度視聴させる。 	デジタル教材 児童用テキスト
<ul style="list-style-type: none"> My brother is good at computer programming. He is good at music, too. He can make songs on his computer. He is cool. He is my hero. My hero is my teacher, Ms. Tanaka. She can run a full marathon. She is tough. She is good at playing the recorder. She can sing well, too. She is great. My father is good at cooking. He can cook <i>gyoza</i> very well. He is very strong and gentle. I love my father. He is my hero. Wow, beautiful! She is very tall. My sister is tall, too. She is a good basketball player. She can play basketball very well. She is active and kind. She is my hero. Cute dogs! My dog Ken is very cute, too. I always take a walk with Ken. He is a good runner. He can run very fast and he can catch the Frisbee well. He is small and brave. He is my hero. 		<ul style="list-style-type: none"> 視聴後, 内容を確認しながら児童に問いかける。 <p>Can you play basketball?</p> <p>Do you have any pets? What pet do you have?</p> <p>What's his / her name? Can ○○ run fast?</p> <p>◎第3者ができることなどの話を聞いて内容が分かり, 聞き取ったことを書いている。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	
5分	○デスティニー・ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> 進め方の例を示す。 	教師用カード (動作) 児童用カード (動作)
<p>デスティニー・ゲームの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ペア対抗で行う。ペアで, 児童用カード (Unit 5 動作 play soccer から cook までの 16 枚) を準備し, 各自その中から自分に該当するものを 5 枚ずつ選んで手元に持つ。 教師用カードで, 全員で動作の表現を確認した後, 指導者はその中から 1 枚カードを選んで, Can you play soccer? と問いかける。同じカードを手元にもっている児童は, Yes, I can. I can play soccer. / No, I can't. I can't play soccer. と答えてカードを出す。指導者は質問したカードを黒板に掲示していく。 手持ちのカードが早くなくなった児童が勝ち。なくなれば隣の児童とチームになって協力して進める。 			

12分	<p>【Let's Play 1】 p.71</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストをヒントにできるだけたくさん質問をし、相手のことを知る。 相手の答えが Yes, I can. の場合は続けて質問できる。No, I can't. の場合は、質問者を交代する。あるいは、3つずつ交代で質問する方法で行う。 尋ねて知った、ペアの相手ができることを発表する。He/She can~. 	<ul style="list-style-type: none"> 相手のことをよりよく知るために互いに質問することを伝える。 黒板に教師用カードを掲示し表現を確認する。 Can you ~? という質問に対して、相手が No, I can't. と答えたら、質問者を交代するよう言う。制限時間内にできるだけたくさん質問して、相手のできることを見つけるよう言う。 ◎できることを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 数名の児童に、相手のペアができることできないことを紹介させる。 	児童用テキスト
5分	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で音声を繰り返し聞いて、続いて読む(発音する)。 単元終末で紹介したいあこがれの人を決め、文を書き写したり、例を参考に、その人ができることを1つ選んで英文を完成させたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、This is my hero. She is my sister. She can play the flute well. の音声を繰り返し聞かせ、音声について読む(発音する)よう言う。 ワークシートにある例文を参考に、シート下にあるワードリストから語を選んで文を完成させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 書き写す文例：He/She is (my sister). She/He can (play the flute) well. </div>	デジタル教材 ワークシート (Unit 9-1, 9-2)
5分	<p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> p.74,75の Sounds and Letters を開き、ジングルを1通り聞く。 同じ文字で始まる単語2つを見て、最初のアルファベットの音を考えながらワークシートの4線の上に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で Alphabet Jingle を聞かせる。(aからzまで) 最初の音に注目させ、デジタルでしっかり音を聞いてから最初のアルファベットの小文字を書くよう指示する。(fからjで始まる単語) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Alphabet」 </div>	デジタル教材 ワークシート (Unit 9-7)
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 9—Lesson 3 単元名 Who is your hero? あこがれの人 3/8 時間

目 標 第3者のできることや得意なことを聞いたり言ったりできる。

準 備 校内の先生を紹介するために使用する写真や教師用カード（動作）、児童用テキスト、ワークシート（Unit 9-1, 9-2, 9-3, 9-8）、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Listen 2】 p.68</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴し、登場人物の家族と、彼らができること、得意なことのイラストとを線で結ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 デジタル教材を視聴する前に、ひかりの兄や妹、祖父、犬について、Who is he (she)?と児童に尋ね、brother / sister / grandfather / dog という語彙を確認しておく。 得意なことは1つとは限らないが、まずは1つ聞き取るようにさせる。2回目にはさらに集中して聞かせ、聞き取れる語を増やしていくようにする。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>This is my brother. He is good at <i>kendo</i>. He is good at cooking. He is kind to me. I like my brother. This is my sister. She is good at singing. She can run fast. She is nice to me. I like my sister. This is my grandfather. He is good at <i>kendo</i>. He can cook well. He is kind to me. I like my grandfather. This is my pet. He is a dog. He can run fast. He can jump high. He is very gentle. I like my dog.</p>			
10分	<p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声に合わせてリズムよく言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態に応じて、速さを変えたり担当するパートを変えたりするなどのバリエーションを付け、何度も聞いたり言ったりさせる。 	デジタル教材
<p>This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.</p>		<p>This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.</p>	
<p>○どの先生のことかを考えて答えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を聞き、誰のことかを考えて答える。 		<ul style="list-style-type: none"> チャンツを言った流れで、校内の先生について、できることやできないこと、得意なことを含めて紹介し、それが誰のことかを尋ねる。その際、Unit 5で児童が校内の先生にインタビューして得た結果をもとにするよ。 (各児童のテキスト誌面には、インタビュー結果が記されている。) 	校内の先生を紹介するために使用する写真や教師用カード（動作）
<p>T: Who is he? He can do <i>kendo</i> well. He can play soccer well. He is good at sports. He is good at cooking, too. Who is he?</p>			
10分	<p>【Let's Play 2】 p.71</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に友達にインタビューして分かったことを、別の友達と伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時にインタビューして友達について分かったことを、He / She can ~. He / She is good at ~. を使って、別の友達に伝えるよう言う。 ◎第3者についてできることや得意なことを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 	児童用テキスト
7分	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴し、音声に続いて4文を読む（発音する）。 自分のあこがれの人が得意なこと 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、第2時 Let's Read and Write で視聴した3文に加えて、She is good at playing the piano, too. を視聴し、音声に続いて読む（発音する）よう伝える。 	デジタル教材 ワークシート（Unit 9-3）

	<p>を、ワークシートの動作のイラストから1つ選んで、4線に書き写し、文を完成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2時に完成させた文も加えて、ペアを相手に、4文を声に出して読む（発音する）。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">書き写す文例： She / He is good at (playing the piano).</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時までに仕上げたワークシートを参考に、ペアで自分のあこがれの人の情報を聞いたり、言ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの動作のイラストから、自分のあこがれの人が得意なことで紹介したいことを1つ選んで○を付け、その語句を4線に書き写して、文を完成させる。 <ul style="list-style-type: none"> 第1時からの3枚のワークシートをもとにペアであこがれる人の情報を伝え合うように指示する。 ◎第3者についてできることや得意なことを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・ワークシート分析〉 	ワークシート (Unit 9-1~9-3)
5分	<p>OSounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童用テキスト p.74, 75 の Sounds and Letters を開き、ジングルを1通り聞く。 同じ文字で始まる単語2つを見て、最初のアルファベットの音を考えながらワークシートの4線上に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で Alphabet Jingle を聞かせる。(a から z まで) 最初の音に注目させ、デジタル教材でしっかり音を聞いてから最初のアルファベットの小文字を書くよう指示する。(k から o で始まる単語) <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Alphabet」</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 9-8)
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 9—Lesson 4 単元名 Who is your hero? あこがれの人 4/8 時間

目 標 自分や第3者についてできることや得意なことなどについて聞いたり言ったりできる。

準 備 校内の先生の写真など (Small Talk 用), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 9-1 ~ 9-4, 9-9), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
7分	<p>・挨拶をする。</p> <p>○Small Talk：校内の先生</p> <p>・指導者の話を、反応を示したり質問について考えたり答えたりしながら聞く。</p> <p>Small Talk の例 Ms. Tanaka is our principal. She is nice. She can speak Chinese. Can you speak Chinese? She can cook well. She is good at cooking Chinese food. She can play table tennis, too. Can you play table tennis? She is active and friendly. She is kind to me and you. She is a nice principal.</p> <p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <p>・音声に合わせてリズムよく言う。</p>	<p>・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。</p> <p>・児童の実態により、スピードを選び一緒にチャンツを言う。</p>	<p>校内の先生の写真など</p> <p>※写真を映し出す際には、デジタル教材の「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。</p> <p>デジタル教材</p>
		<p>This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.</p> <p>This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.</p>	
10分	<p>【Let's Listen 3】 p.69</p> <p>・それぞれの選手ができそうなこと、得意そうなことを予想し、指導者の問いかけに続けて言う。</p> <p>She can play soccer / run fast. He can play tennis. She can play table tennis.</p> <p>・デジタル教材を視聴し、聞き取ったことを誌面に記入する。</p> <p>・答えを確認し、言えるところは指導者と一緒に言ってみる。</p>	<p>・児童用テキストの写真にあるスポーツ選手が誰かを確認し、それぞれがどのようなことができたり、得意だったりするかを予想させ、デジタル教材を視聴させる。</p> <p>Kawasumi Nahomi, ... She can ...? She can play ...? She is good at ...?</p> <p>・答え合わせの際には、答えの確認だけでなく、音声に続けて指導者と一緒に言うよう促す。</p>	<p>デジタル教材 児童用テキスト</p>
		<p>1. This is Kawasumi Nahomi. She is a soccer player. She can run fast. She is good at speaking Korean. She is cool. She is my hero.</p> <p>2. This is Kunieda Shingo. He is a wheelchair tennis player. He won a gold medal at the London Paralympics and a bronze medal at the Rio Paralympics. He can play wheelchair tennis very well. He is fantastic. He is my hero.</p> <p>3. This is Ishikawa Kasumi. She is a table tennis player. She was a bronze medalist at the Rio Olympics. She can play table tennis very well. She is great. She is my hero.</p>	

15分	<p>【Activity 1】 p.69</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の得意なことやできること、性格などを児童用テキスト p.71 のチャートを参考に考える。 次に、ペア(1人目)とその情報を伝え合い、互いにその内容を誌面に記入する。 p.71 のチャートを参考に、その友達に対する自分の思いも加えて、別の友達と伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のできることや得意なことを考えさせ、次に他者へ意識を向け伝え合うよう指示する。 ペアでやり取りをしてメモを取らせる。 <p>〈例〉 I am good at swimming. I can swim fast. I can play baseball. I am very active.</p> <p>◎できることや得意なことについて聞いたり言ったりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞いた情報をもとに、自分の思いも加えて、別の友達に伝えるよう言う。 <p>◎第3者についてできることや得意なことを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト
5分	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> あこがれの人がどんな人かをワークシート (Unit 9-4) のワードリストから1つ選んでシートに書き写し、英文を完成させる。 考えた文を声に出して読む。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">読む文例 : She is (cool).</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1時から本時までに書き溜めたワークシートを参考に、自分のあこがれの人の情報を友達と伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> あこがれの人を表す語を選択肢の中から選び、書き写すように指示する。 第1時からの4枚のワークシートをもとに、ペアであこがれの人の情報を伝え合うように指示する。 	ワークシート (Unit 9-1 ~ 9-4)
5分	<p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> p.74,75 の Sounds and Letters を開き、ジングルを1通り聞く。 同じ言葉で始まる単語2つを見て、最初のアルファベットの音を考えながらワークシートの4線の上に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で Alphabet Jingle を聞かせる。(a から z まで) 最初の音に注目させ、デジタルでしっかり音を聞いてから最初のアルファベットの小文字を書くよう指示する。(p から t で始まる単語) <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">デジタル教材 : 「教材どうぐばこ」 → 「素材種類別」 → 「チャンツ・ソング・ジングル」 → 「リスト」 → 「ジングル」 → 「Alphabet」</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 9-9)
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 9—Lesson 5 単元名 Who is your hero? あこがれの人 5/8 時間

目 標 自分や第三者についてできることや得意なことなどについて聞いたり言ったりできる。

準 備 好きな有名人や大切な人・あこがれの人の写真など (Small Talk, Let's Listen 用), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 9-5, 9-10), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物		
7分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 好きな有名人</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 好きな有名人について話す。 一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	好きな有名人の写真など		
	<p>Small Talk の例</p> <p>Today, I have a picture of someone. (写真を手に児童に話しかけるが, 写真は見せない。) He is a comedian. Do you know the word “comedian”? I give you three hints. Hint No1. He is from Kansai. He is from Nara. Hint No2. He is good at playing soccer. He likes soccer very much. Do you know who he is? Any ideas? (児童に問いかけるが, ここでも正解は言わないで続ける。) Hint No3. His name means some kind of fish. Who is he? The answer is ... (写真を見せながら) 明石家さんまさん。He is funny and great. I always watch him on TV and enjoy his talk.</p>				
	<p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声に合わせてリズムよく言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態に合わせて, 音源の速さを選んだり, パートに分け言わせたり, 指導者が手拍子をして言わせたりするなど, バリエーションを付けることで楽しく活動に取り組みさせる。 			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone. </td> <td style="width: 50%;"> This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me. </td> </tr> </table>		This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.	This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.	
This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.	This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.				
		<ul style="list-style-type: none"> Unit 5 のチャンツ (オプション: He can run fast. She can sing well.) をここで使うこともできる。 			
10分	<p>【Let's Listen 4】 p.70</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生の大切な人, あこがれの人についての発表を聞く。分かったことを誌面に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真や絵カードなどを使って, 指導者の大切な人やあこがれの人についてスピーチをする。 児童にとって, 単元最後のスピーチのモデルになるよう, ジェスチャーやアイコンタクトなども意識し, 話す内容も整理したスピーチを心掛ける。 	大切な人やあこがれの人 の写真など 児童用テキスト デジタル教材		
	<p>スピーチの例</p> <p>Who is your hero? This is my hero. (写真を見せる) Do you know him? Maybe not. (写真を黒板に掲示しその写真を示しながら) He is Kunio. He is my grandfather. He is a doctor. He is 85 years old. He can play the <i>Shakuhachi</i>, Japanese flute very well. He is a great player. He is good at skiing. He is kind to everyone. He is great. I like my grandfather very much.</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> 書き取った内容をもとに, 指導者の話の内容を指導者の後に続けて文の形で言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 答え合わせでは, 単語だけでなく児童を補助しながら文で確認をするとよい。 			

	<p>T: My hero is ...? T: He can play ...? T: He is good at ...? T: He is ...?</p>	<p>Ss: Kunio Ss: He can play the <i>Shakuhachi</i>. Ss: He is good at skiing. Ss: He is kind. He is great.</p>	
8分	<p>【Activity 1】 p.69 ・自分のできること、得意なことを、ペア(2人目)と伝え合い、互いにその内容を誌面に記入する。</p> <p>・児童用テキスト p.71 のチャートを参考に、その友達に対する自分の思いも加えて、別の友達と2人目のことについて伝え合う。</p>	<p>・前時に取り組んだ Activity 1 の後半をすることを告げる。自分のできることや得意なことを前時とは違う相手と伝え合い、メモを取らせる。</p> <p>例 I am good at swimming. I can swim fast. I can play baseball. I am very active.</p> <p>◎できることや得意なことについて聞いたり言ったりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>・聞いた情報をもとに、別の友達に自分の思いも加えて、別の友達に伝えるよう言う。</p> <p>・聞いた情報をもとに、自分の思いも加えて、別の友達に伝えるよう言う。</p> <p>◎第3者についてできることや得意なことを聞いたり言ったりしている。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用テキスト
5分	<p>【Let's Listen 5】 p.70 ・登場人物が自分にとってのヒーローを紹介する音声を聞いて、分かったことをメモに取り、発表する。</p>	<p>・通して聞いた後、Hana の話について分かったことを誌面に記入させる。</p> <p>・答え合わせでは、単語ではなくできるだけ文で言うように促す。</p>	児童用テキスト デジタル教材
<p>はな : This is my hero. He is Fujita Sho. He is my brother. He is sixteen. He can play basketball very well. He is good at dribbling. He can run fast. He is kind to me. He is my hero. かず : This is my hero. She is Maria. She is my friend. She is from Brazil. She can play soccer very well. She is good at math. She can speak English and Portuguese. She is very gentle. She is my hero.</p>			
5分	<p>○Let's Read and Write ・紹介したい人のことを、例を参考にしながら書く。書いたものを声に出して読んでみる。 ・今までに書いたものをもとに、友達に自分のあこがれの人について話を聞いてもらい、意見をもらう。</p> <p>書く文例 : (She) is my hero.</p>	<p>・例文に書かれた語句以外の言葉を使いたいと希望する児童もいると考えられる。その場合は、児童の自由な発想を受け止め、自主的な学習につなげたり、指導者が一緒に調べたりすることも考えられる。</p> <p>・補助の必要な児童の手助けをする。</p>	ワークシート (Unit 9-5)
5分	<p>○Sounds and Letters ・児童用テキスト p.74,75 の Sounds and Letters を開き、ジングルを1通り聞く。 ・同じ文字で始まる単語2つを見て、最初のアルファベットの音を考えながらワークシートの4線の上に書く。</p>	<p>・デジタル教材で Alphabet Jingle を聞かせる。(a から z まで) ・最初の音に注目させ、デジタル教材でしっかり音を聞いてから最初のアルファベットの小文字を書くよう指示する。(u から z で始まる単語)</p> <p>デジタル教材 : 「教材どうぐばこ」 → 「素材種類別」 → 「チャンツ・ソング・ジングル」 → 「リスト」 → 「ジングル」 → 「Alphabet」</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 9-10)
5分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 9—Lesson 6 単元名 Who is your hero? あこがれの人 6/8 時間

目 標 あこがれの人の話を聞き、その人のできることや得意なことなどが分かる。

自分のあこがれの人ができることや得意なことについて、語順に注意しながら今まで書いたものを書き写す。

準 備 家族や友達などの写真 (Small Talk 用)、児童用テキスト、ワークシート (Unit 9-1 ~ 9-5, 9-11, 4 線)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物										
8分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 家族や友達など</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 <p>Small Talk の例</p> <p>This is my pet, Taiga. Not a tiger, but she is a cat. (写真を見せながら)</p> <p>She can jump high. (写真を見せながら) She can run fast.</p> <p>She is very cute. (写真を見せながら)</p> <p>She is good at catching cicadas. (写真を見せ、捕まえるジェスチャーをしながら)</p> <p>I like Taiga very much.</p> <p>Do you have any pets? What animal do you like?</p> <p>[Let's Chant] Who is your hero?</p> <p>p.67</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声に合わせてリズムよく言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">This is my hero. He is Kosei.</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;">This is my hero. She is Kayo.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">He is my friend. He is twelve.</td> <td style="padding: 2px;">She is my sister. She is fifteen.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">He can play basketball.</td> <td style="padding: 2px;">She can play the flute.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">He can run fast.</td> <td style="padding: 2px;">She can swim well.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">He is cool and nice to everyone.</td> <td style="padding: 2px;">She is so funny and kind to me.</td> </tr> </table> </div>	This is my hero. He is Kosei.	This is my hero. She is Kayo.	He is my friend. He is twelve.	She is my sister. She is fifteen.	He can play basketball.	She can play the flute.	He can run fast.	She can swim well.	He is cool and nice to everyone.	She is so funny and kind to me.	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 家族や友達などについて話す。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 <p>児童の実態に合わせて、音源の速さを選んだり、パートに分け言わせたり、指導者が手拍子をして言わせたりするなど、バリエーションを付けることで楽しく活動に取り組みさせる。</p> <p>Unit 5 のチャンツ (オプション : He can run fast. She can sing well.) をここで使うこともできる。</p>	家族や友達などの写真 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ※写真を映し出す際には、デジタル教材の「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。 </div> デジタル教材
This is my hero. He is Kosei.	This is my hero. She is Kayo.												
He is my friend. He is twelve.	She is my sister. She is fifteen.												
He can play basketball.	She can play the flute.												
He can run fast.	She can swim well.												
He is cool and nice to everyone.	She is so funny and kind to me.												
7分	<p>[Activity 2] p.72</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物が自分のヒーローを紹介する音声聞いて、内容を理解する。 指導者の質問に答えながら、理解した内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 誌面や画面を見せずに、デジタル教材で音声のみを聞かせる。 内容について確認するための質問をする。 <p>Who is Yumi's hero?</p> <p>She is ...? She is Yumi's ...?</p> <p>How old is she? She is ...?</p> <p>What can she do? She can play ...?</p> <p>She is ...?</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute well. She is a great flute player. She is good at playing the piano, too. She is cool. She is kind to me. She is my hero.</p> </div> <p>◎あこがれの人の話を聞き、できることや得意なことなど、どのような人が分かっている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材										

20分	<p>OLet's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> 前活動のスピーチなどを参考にして、今まで書いたワークシートをもとに自分のあこがれのの人についてのスピーチ内容を見直し、話す文の順番を替えたり、新しい文を加えたりする。 これまで書き写してきたものを、相手に伝える目的をもち語順を意識しながら清書する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前活動 Activity 2 のスピーチや児童用テキスト p.72 を参考にして、今までワークシートに書き写してきたものをもとに、スピーチ内容を見直すよう伝える。 見直しが終わったら、相手に伝える目的をもって今まで書き写してきたものをもとに清書させる。その際、児童自身が書き写してきた文と Activity 2 (p.72) に記載のスピーチ英文を見比べて、文中のどこが置き換わっているのかに注目させることで、語順を意識させるようにする。 <p>◎音声で十分に慣れ親しんだ基本的な表現を、相手に伝える目的をもち語順に注意しながら書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (9-1~9-5, 4線)
7分	<p>【STORY TIME】 Unit 1~3</p> <ul style="list-style-type: none"> 質問に答えたり、指導者について文を発音したり (読んだり) しながら指導者の読み聞かせを聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(Unit 1) Hi, my name is Kazu. I like cats and dogs. I like soccer and baseball.</p> <p>(Unit 2) Maria: Hi, everyone! Kazu : I'm eleven years old. My birthday is April 18th. It's a special day today. We have a new student.</p> <p>(Unit 3) Maria: Hello. Kazu : It's Monday today. Our first class is Japanese. Maria: Can you teach me Japanese? Kazu : Sure!</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、各単元末にある STORY TIME 一覧表を映し、Unit 1 から Unit 3 を1ページずつ読み聞かせを行う。デジタル教材の音声を聞かせてもよいし、指導者自身が読み聞かせを行ってもよい。 音声には、何度も聞き慣れた表現が出てくるので、児童の反応を見て、途中で質問を交えて児童の発話を促しながら読むようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 20px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>T: What's his name? How old is he? When is his birthday? What's her name?</p> </div>	デジタル教材 (STORY TIME 一覧, Unit 1~3) ワークシート (Unit 9-11) 児童用テキスト
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 9—Lesson 7 単元名 Who is your hero? あこがれの人 7/8 時間

目 標 自分のあこがれの人について、できることや得意なことについて、自分の意見を含めて伝える。

準 備 児童用テキスト、教師用カード（動作、状態・気持ち）、ワークシート（Unit 9-12、前時に清書したスピーチ文）、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物		
6分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声に合わせてリズムよく言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 児童の実態に合わせて、音源の速さを選んだり、パートに分け言わせたり、指導者が手拍子をして言わせたりするなど、バリエーションを付けることで楽しく活動に取り組ませる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;">This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.</td> </tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> Unit 5 のチャンツ（オプション：He can run fast. She can sing well.）をここで使うこともできる。 	This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.	This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.	デジタル教材
This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.	This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.				
6分	<ul style="list-style-type: none"> ○誰のことかを考えて答える。 児童用テキスト p.71 Let's Play のチャートや、指導者の示す絵カードを見ながら、該当する先生や友達を答える。 状態や気持ちを表す語彙を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> チャートに出てくる動作のカードを黒板に掲示しながら語彙の確認をする。 状態や気持ちを表す8つの形容詞について、Who is friendly?と聞いて当てはまる児童や先生を考えさせたり、校内の先生について○○sensei is …?と問いかけて当てはまる語を考えさせたりして、口慣らしを十分にさせる。 	教師用カード（動作、状態・気持ち）		
8分	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で映し出された英文を、音声が続いて読む。 ペアで、前時に清書したスピーチ文をそれぞれ読み合う。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、p.72 の誌面を映し出し1文ずつ音声を聞かせ、音声が続いて読む（発音する）ように伝える。 前時に清書したスピーチ文（ワークシート）をペアで読み合いさせる。 	デジタル教材 ワークシート（前時に清書したスピーチ文）		
15分	<p>【Activity 2】 p.72</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで、家族や友達など、自分のヒーローを紹介し合う。 違う相手とペアになって紹介し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute well. She is a great flute player. She is good at playing the piano, too. She is cool. She is kind to me. She is my hero.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 前時に清書したワークシートを参考にしながら、ペアで自分のあこがれの人について伝え合わせる。 ペアで伝え合った後、相手に伝えるためにはどんな工夫をするとよいかを考えさせた上で、違う相手とペアになって再度伝え合わせる。 ◎自分のあこがれの人について、できることや得意なことについて、自分の意見を含めて伝える。〈行動観察・振り返りカード点検〉 	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート（前時に清書したスピーチ文）		

7分	<p>【STORY TIME】 Unit 4~6</p> <p>・文字を目で追いながら読み聞かせを聞き、絵などを参考に読み方が推測できる単語は、一緒に読んでみる。</p> <p>(Unit 4) Maria: Do you have your math textbook? Kazu: Yes, I do. Here you are. Maria: Thank you, Kazu.</p> <p>(Unit 5) Kazu: Do you like math? Maria: Yes. I like math very much. Maria can do math very well.</p> <p>(Unit 6) At lunch time.... Maria: I have a brother. He is a junior high school student. We sometimes play soccer together.</p>	<p>・デジタル教材で、各単元末にある STORY TIME 一覧を映し、Unit 4 から Unit 6 を1ページずつ読み聞かせを行う。デジタル教材の音声を聞かせてもよいし、指導者自身が読み聞かせを行ってもよい。</p> <p>・指導者が読む際には、できるだけ感情を込めたり、ジェスチャーなどを付けたりしながら、児童への質問を交えて読み聞かせを行うようにする。</p> <p>・絵をさして What is this? と尋ねるなど児童と英語でやり取りするようにする。</p> <p>・台詞の部分で児童が類推して読めそうなところは One, two. と促して一緒に読ませるようにする。</p>	<p>デジタル教材 (STORY TIME 一覧, Unit 4~6) ワークシート (Unit 9-12) 児童用テキスト</p>
3分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

5年 Unit 9—Lesson 8 単元名 Who is your hero? あこがれの人 8/8時間

目 標 他者に配慮しながら、自分のあこがれての人について、自分の意見を含めて伝えようとする。

準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 9-1～9-5, 9-11～9-13), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物		
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 Who is your hero? p.67</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声に合わせてリズムよく言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;">This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.</td> </tr> </table> </div>	This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.	This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 単元の総仕上げの意味も込め、バリエーションを加えて、児童と一緒に楽しくリズムにのってチャンツを言う。 	デジタル教材
This is my hero. He is Kosei. He is my friend. He is twelve. He can play basketball. He can run fast. He is cool and nice to everyone.	This is my hero. She is Kayo. She is my sister. She is fifteen. She can play the flute. She can swim well. She is so funny and kind to me.				
25分	<p>【Activity 2】 p.72</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のヒーローを紹介する。聞いている児童は、誌面に聞き取れたことをメモしたり、話者のどんな点がよかったかを記入したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表の仕方は、全員の前で1人ずつ発表する方法や、5～6名のグループ内で1人ずつ発表する方法など、クラスの実態に合わせて工夫をするよい。 評価の視点や、目指すべき姿を事前に児童と共有しておく。 聞いている児童は、ワークシートに聞き取れたことをできるだけ記入するよう促す。 途中で一旦活動を止めて、中間評価を行う。よいスピーチについて、具体的に児童と共通理解し、後半のスピーチを行う。 <p>◎他者に配慮しながら、自分のあこがれの人について、自分の意見を含めて伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 9-1～9-5) 児童用テキスト		
10分	<p>【STORY TIME】 Unit 7～9</p> <ul style="list-style-type: none"> 台詞や繰り返し音声で慣れ親しんだ文と一緒に読むようにする。 ペアで協力して、STORY TIMEのページを読むことに挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、各単元末にある STORY TIME 一覧を映し、Unit 7から Unit 9 を1ページずつ読み聞かせを行う。デジタル教材の音声を聞かせてもよいし、指導者自身が読み聞かせを行ってもよい。 指導者が読む際には、できるだけ感情を込めたり、ジェスチャーなどを付けたりしながら、児童への質問を交えて読み聞かせを行うようにする。 絵をさして What's this? と尋ねるなど児童と英語でやり取りするようにする。 台詞の部分で児童が類推して読めそうなところは One, two. と促して一緒に読ませるようにする。 読むことを拙速に求めるのではなく、よく耳にした表現を頼りに、絵からの情報や、語の最初の文字の音から単語の読み方を類推しながら「少しでも読める」といった体験をさせるようにする。 読めたことを大いに褒めて、達成感をもたせるようにする。 	デジタル教材 (STORY TIME 一覧, Unit 7～9) 児童用テキスト ワークシート (Unit 9-11～9-13)		
	<p>(Unit 7) On our way home.... Maria: Where is the park? Kazu: Go straight and turn right. We can teach Maria about our town.</p> <p>(Unit 8) Later in the afternoon.... Maria: Hi, Kazu! Let's play soccer together. We have a great time, but....</p> <p>(Unit 9) I can teach Maria Japanese. Maria: Thank you, Kazu Kazu: You're welcome, Maria. I want to speak English more. We are good friends.</p>				
5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動及び本単元を振り返る。振り返りカードに記入する。 ワークシート (Unit 1-2: パス 	<ul style="list-style-type: none"> 本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。 パスポート表紙に記名をさせ、これを表紙にし 	振り返りカード ワークシート (Unit		

	ポート) の姓と名の部分に自分の名前を書き, ワークシートをまとめて綴じる。 ・挨拶をする。	てこれまでのワークシートをまとめて綴じる。 ・挨拶をする。	1-2)
--	---------------------------------------------------	----------------------------------	------